ユーザーガイド

Amazon WorkSpaces

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon WorkSpaces: ユーザーガイド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、お客様に混乱を招く可能性が高い方法、または Amazon の評判もしくは信用を損なう方法で、Amazon が所有しない製品またはサービスと関連付けて使用することはできません。Amazon が所有しない商標はすべてそれぞれの所有者に所属します。所有者は必ずしも Amazon との提携や関連があるわけではありません。また、Amazon 支援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

開始方法 1
- ユーザープロファイルを入力する 1
- クライアントを選択する 2
- クライアントのバージョンを確認する 2
- ストリーミングプロトコルを確認する 3
- ネットワーク要件を確認する 3
- 認証情報の保存 4
- (オプション) パスワードの変更 4

プロトコルタイプ別のサポートされている機能 6
- WorkSpaces でサポートされている DCV 機能 6
- WorkSpaces でサポートされている PCoIP 機能 10

クライアント 15
- Android/Chromebook 15
  - 要件 16
  - セットアップとインストール 17
  - WorkSpace に接続します。 18
  - ジェスチャー 19
  - サイドバーメニュー 20
  - キーボード 21
  - トラックパッドモード 21
  - ディスプレイのサポート 22
  - 切断 23
  - クリップボードのサポート 23
  - リリースノート 24
- iPad 31
  - 要件 32
  - セットアップとインストール 32
  - WorkSpace に接続します。 33
  - ジェスチャー 33
  - 放射状メニュー 34
  - キーボードとコマンドのショートカット 36
  - マウスモード 36
  - Swiftpoint GT、ProPoint、PadPoint のいずれかのマウス 37
  - 切断 37

クリップボードのサポート ... 38
リリースノート ... 38
Linux ... 43
要件 ... 44
セットアップとインストール ... 44
WorkSpace への接続 ... 45
ログイン情報の管理 ... 46
クライアントビュー ... 47
クライアントの言語 ... 47
ディスプレイのサポート ... 48
プロキシサーバー ... 50
コマンドショートカット ... 51
クリップボードのリダイレクト ... 52
切断 ... 52
リリースノート ... 54
macOS ... 60
要件 ... 61
セットアップとインストール ... 61
クライアントのバージョンを確認する ... 62
WorkSpace に接続します。 ... 62
ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ) ... 63
クライアントビュー ... 64
クライアントの言語 ... 64
ディスプレイのサポート ... 65
プロキシサーバー ... 67
コマンドショートカット ... 68
Windows ロゴキーまたはコマンドキーを再マッピングする ... 68
切断 ... 69
クリップボードのサポート ... 69
診断ログのアップロード ... 70
リリースノート ... 71
WorkSpaces PCoIP ゼロクライアント ... 85
要件 ... 85
WorkSpace に接続します。 ... 85
ゼロクライアントから切断する ... 86
Web Access ... 86

ウェブサイト ... 87
要件 ... 87
クライアントビュー ... 88
プロキシサーバー ... 89
DCV 用に設定された WorkSpaces の機能 ... 89
診断ログのアップロードを有効にする ... 91
Windows ... 91
要件 ... 92
セットアップとインストール ... 92
クライアントのバージョンを確認する ... 96
WorkSpace に接続します。 ... 96
ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ) ... 97
クライアントビュー ... 98
クライアントの言語 ... 98
ディスプレイのサポート ... 98
プロキシサーバー ... 100
コマンドショートカット ... 102
切断 ... 102
クリップボードのサポート ... 103
ハードウェアアクセラレーションを管理する ... 103
診断ログのアップロード ... 108
リリースノート ... 109
WorkSpace の再起動 ... 130
WorkSpace の再構築 ... 131
WorkSpace のディスクサイズを増やす ... 133
コンピューティングタイプの変更 ... 135
実行モードの切り替え ... 137
周辺機器のサポート ... 138
監視 ... 138
キーボードとマウス ... 139
オーディオヘッドセット ... 139
プリンター ... 139
スキャナ、USB ドライブ、およびその他のストレージデバイス ... 140
ウェブカメラおよびその他のビデオデバイス ... 140
スマートカード ... 141
ハードウェアセキュリティキー ... 142

U2F 認証用に YubiKey を WorkSpace にリダイレクトするには 142
WebAuthn 認証 143
ファイル転送の使用 144
高 DPI ディスプレイの有効化 146
概要 146
制限 147
Android で高 DPI モードを有効にする 147
Windows、macOS、または Linux で高 DPI モードを有効にする 148
Windows WorkSpace で表示スケールの設定を調整する 149
Linux WorkSpace で表示スケールの設定を調整する 150
認証 151
スマートカード認証 151
スマートカードを使用して WorkSpace にログインする 152
Chrome または Firefox の Windows WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中) 153
Chrome または Firefox の Linux WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中) 153
WebAuthn 認証 155
Amazon Connect オーディオ最適化 156
WorkSpace と Amazon Connect の問い合わせコントロールパネル (CCP) にログインします . 156
言語とキーボードの設定 158
PCoIP プロトコルを使用する WorkSpaces 158
DCV プロトコルを使用する WorkSpaces 159
USB リダイレクト 164
要件 164
サポート対象の USB デバイス 165
サポート対象の USB デバイス 165
ローカル USB デバイスを WorkSpace に接続する 166
USB デバイスを WorkSpace から切断する 166
USB リダイレクトドライバーを再インストールまたはアップグレードする 167
印刷 168
ローカルプリンター 168
その他の印刷方法 169
トラブルシューティング 170
Amazon WorkSpaces 登録コードが記載されたメールが届かない 171

ログインすると、Windows クライアントアプリケーションに空白のページのみが表示され、WorkSpace に接続できません。 171
WorkSpaces クライアントからネットワークエラーが返されますが、デバイスの他のネットワーク対応アプリケーションは使用できます。 172
Windows WorkSpace へのログインに数分かかることがあります。 173
ログインしようとすると、Amazon WorkSpaces Windows クライアントが「ログインページを準備しています」画面で停止します。 173
ログインしようとすると、次のエラーメッセージが表示されます。「ネットワークがありません。ネットワーク接続が失われました ネットワーク接続を確認するか、管理者に問い合わせてください。」 173
Amazon WorkSpaces Windowsクライアントアプリケーションのログインページが非常に小さく表示されます。 174
「WorkSpace Status: Unhealthy。We were unable to connect you to your WorkSpace。Please try again in a few minutes.」というメッセージが表示される。 174
セッションを閉じただけで、ログオフしていないのに、Windows WorkSpace からログオフされることがあります。 175
パスワードを忘れてリセットしようとしましたが、リセットリンクが記載された E メールが届きませんでした。 175
WorkSpace からインターネットに接続できません。 175
サードパーティのセキュリティソフトウェアパッケージをインストールした後、WorkSpace に接続できません。 175
WorkSpace に接続すると、「ネットワーク接続は低速です」という警告が表示されます。 ... 176
クライアントアプリケーションで「無効な証明書」エラーが表示されました。これはどういう意味ですか? 176
ウェブアクセスを使用して Windows WorkSpace に接続しようとすると問題が発生します。 . 176
「デバイスは登録サービスに接続できません。ネットワーク設定を確認してください」というエラーが表示されます。 177
クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、クライアントを最新バージョンに更新できません。 177
WorkSpace でヘッドセットが動作しません。 177
Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできません。 178
入力した文字が間違えて表示されます。例えば、引用符 (' や ") を入力すると \ や | と表示されます。 179
WorkSpaces クライアントアプリケーションが Mac 上で実行されません 179
Mac で作業しているときに Windows WorkSpaces で Windows ロゴキーを使用できません。 180

Mac で WorkSpace がぼやけて見えます。 180
コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました 180
画面がちらついている、正しく更新されない、またはマウスが正しい場所をクリックしない . 181
Windows 用 WorkSpaces クライアントで、既にインストールされているバージョンに更新するようプロンプトが表示される 181
WorkSpaces Windows クライアントの [デバイス] の下にビデオ入力デバイスが表示されない 183
..... clxxxiv

WorkSpace の開始方法

管理者が WorkSpace を作成すると、招待メールが届きます。WorkSpace の使用を開始するには、次のタスクを完了してください。

タスク

- ユーザープロファイルを入力する
- クライアントを選択する
- クライアントのバージョンを確認する
- ストリーミングプロトコルを確認する
- ネットワーク要件を確認する
- 認証情報の保存
- (オプション) パスワードの変更

ユーザープロファイルを入力する

管理者が WorkSpace を作成したら、7 日以内にユーザープロファイルを入力する必要があります。そうしないと、招待の有効期限が切れます。招待の有効期限が切れた場合は、管理者に別の招待を依頼してください。

ユーザープロファイルを入力するには

1. 招待メールでリンクを開きます。
2. パスワードを入力します。パスワードは大文字と小文字が区別され、8〜64 文字の長さにする必要があります。パスワードには、次の各カテゴリから少なくとも 1 文字を含める必要があります。
   - 英小文字 (a ~ z)
   - 英大文字 (A ~ Z)
   - 番号 (0〜9)
   - アルファベット以外の文字 (~!@#$%^&*_-+=`|\(){}[]:;"'<>,.?/)
3. [ユーザーの更新] を選択します。

WorkSpaces のパスワードはいつでも変更できます。詳細については、「(オプション) パスワードの変更」を参照してください。

クライアントを選択する

WorkSpace に接続するには、サポートされているデバイスまたはウェブブラウザでクライアントアプリケーションを使用します。 クライアントアプリケーションを実行するには、Windows または Linux PC、Mac、iPad、Kindle、Chromebook、Android タブレットまたはスマートフォンが必要です。WorkSpaces ウェブアクセスを実行するには、Windows PC または Mac で Chrome や Firefox ウェブブラウザを実行しているか、Linux PC で Firefox ブラウザを実行している必要があります。

> **Note**
>
> Ubuntu、Rocky Linux、Red Hat Enterprise Linux WorkSpaces は現在、Windows クライアントアプリケーションと Web Access をサポートしています。

WorkSpace への接続の詳細については、次のクライアントドキュメントを参照してください。

- Android クライアントアプリケーション
- iPad クライアントアプリケーション
- Linux クライアントアプリケーション
- macOS クライアントアプリケーション
- PCoIP ゼロクライアント
- Web Access
- Windows クライアントアプリケーション

クライアントのバージョンを確認する

使用している WorkSpaces クライアントのバージョンを確認するには、[Amazon WorkSpaces]、[About Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces について) を選択するか、右上の歯車アイコンをクリックして [About Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces について) を選択します。

ストリーミングプロトコルを確認する

デバイスまたは機能のサポートは、WorkSpace が使用しているストリーミングプロトコル (PCoIP または DCV) によって異なります。macOS および Windows クライアントアプリケーションの 3.0 以降のバージョンでは、[Support] (サポート)、[About My WorkSpace] (WorkSpace について) を選択すると、WorkSpace が使用しているプロトコルを確認できます。iPad、Android、および Linux クライアントアプリケーションは、現在 PCoIP プロトコルのみをサポートしています。

ネットワーク要件を確認する

WorkSpace で優れたエクスペリエンスを確保するには、クライアントデバイスがネットワーク要件を満たしていることを確認します。

3.0 以上のクライアントのネットワーク要件を確認するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。クライアントを初めて開いた場合は、招待メールで受け取った登録コードを入力するよう求められます。
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
Windows または Linux クライアント	クライアントアプリケーションの右上にある [Network (ネットワーク)] アイコン を選択します。
macOS クライアント	[Connections (接続)]、[Network (ネットワーク)] の順に選択します。

   クライアントアプリケーションによって、ネットワーク接続、ポート、ラウンドトリップ時間がテストされ、これらのテストの結果がレポートされます。
3. [Network (ネットワーク)] ダイアログボックスを閉じて、サインインページに戻ります。

1.0 以上および 2.0 以上のクライアントのネットワーク要件を確認するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。クライアントを初めて開いた場合は、招待メールで受け取った登録コードを入力するよう求められます。
2. クライアントアプリケーションの右下隅にある [Network (ネットワーク)] を選択します。クライアントアプリケーションによって、ネットワーク接続、ポート、ラウンドトリップ時間がテストされ、これらのテストの結果がレポートされます。
3. [Dismiss] を選択してサインインページに戻ります。

認証情報の保存

サインイン認証情報を安全に保存するかどうかを選択できます。保存すると、クライアントアプリケーションの実行中は、認証情報を再入力せずに WorkSpace に再接続できます。認証情報は RAM にのみ安全にキャッシュされます。この機能は、いつでも無効にし、再び有効にすることができます。

3.0 以降のクライアントで認証情報を保存するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。
2. クライアントのログイン画面で、必要に応じて [ログイン状態を保つ] チェックボックスをオンまたはオフにして、このオプションを有効または無効にします。

1.0 以降および 2.0 以降のクライアントで認証情報を保存するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。
2. クライアントのログイン画面で、歯車アイコン (Windows) または [オプション] メニュー (macOS) を選択し、[詳細設定] を選択します。
3. 必要に応じて、[このアカウントを記憶する] チェックボックスをオンまたはオフにして、このオプションを有効または無効にします。

(オプション) パスワードの変更

WorkSpaces のログインパスワードはいつでも変更できます。

パスワードを変更するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。
2. クライアントのログイン画面で、[サインイン] ボタンの下にある [パスワードを忘れた場合] を選択します。

> **Note**
>
> [パスワードを忘れた場合] がログイン画面に表示されていない場合は、パスワードのリセットについて WorkSpaces 管理者に連絡し、サポートを依頼してください。
> パスワードを忘れた場合? は、 AWS GovCloud (米国西部) リージョンでは使用できません。

3. ユーザー名を入力し、イメージに表示される文字を入力します。
4. [パスワードの回復] を選択します。
5. パスワードリセットリンクが記載された E メールが送信されます。E メールに記載されている手順に従って、パスワードを変更します。パスワードは大文字と小文字が区別され、8〜64 文字の長さにする必要があります。パスワードには、次の各カテゴリから少なくとも 1 文字を含める必要があります。

   - 英小文字 (a ~ z)
   - 英大文字 (A ~ Z)
   - 番号 (0〜9)
   - 英数字以外の文字(~!@#$%^&*_-+=`|\(){}[]:;"'<>,.?/)

   空白、キャリッジリターン、タブ、改行、null 文字など、印刷不可能な Unicode 文字が含まれていないことを確認してください。

> **Note**
>
> エラーが発生した場合は、 AWS Managed Microsoft AD 管理者にお問い合わせください。

WorkSpaces でサポートされているプロトコルタイプ別の機能

WorkSpaces では DCV および PCoIP プロトコルが使用されています。プロトコルごとに、さまざまな WorkSpaces 機能とクライアントがサポートされています。DCV WorkSpaces では、Android および iPad クライアントはサポートされていません。

内容

- WorkSpaces でサポートされている DCV 機能
- WorkSpaces でサポートされている PCoIP 機能

WorkSpaces でサポートされている DCV 機能

次の表は、DCV WorkSpaces クライアントでサポートされる機能を比較したものです。

> **Note**
>
> 現在、DCV WorkSpaces では、Android および iPad クライアントはサポートされていません。

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
WorkSpaces Pools のサポート	✓	✓	✗	✓	クライアントバージョン 5.20.0 以降。
クライアントアクセス制限	✓	✓	✓	✓	デバイスのアクセスコントロール
USB リダイレクト	✗	✗	✗	✗	

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
音声入力	✓	✓	✓	✓	Amazon Linux DCV WorkSpaces ではサポートされていませんが、Ubuntu WorkSpaces ではサポートされています。詳細については、「Ubuntu WorkSpaces の管理」、「Rocky Linux WorkSpaces の管理」、「Red Hat Enterprise Linux WorkSpaces の管理」を参照してください。
ビデオ入力	✓	✓	✓	✓	Amazon Linux 2 DCV WorkSpaces および Red Hat Enterprise Linux WorkSpaces ではサポートされていませんが、Ubuntu および Rocky Linux WorkSpaces ではサポートされています。詳細については、「Ubuntu WorkSpaces の管理」および「Rocky Linux WorkSpaces の管理」を参照してください。
ストレージのリダイレクト	✗	✗	✗	✗	

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
ローカルプリンターのリダイレクト	✓	✓	✓	✗	WorkSpaces から印刷する
クリップボードのリダイレクト	✓	✓	✓	✓	iPad と Android でのコピーと貼り付けは、テキストと HTML コンテンツのみをサポートしています。
HIPAA/PCI への準拠	✓	✓	✓	✓	コンプライアンスとセキュリティに関するよくある質問
Active Directory 認証	✓	✓	✓	✓	WorkSpaces のディレクトリを管理する
SAML 2.0	✓	✓	✓	✓	
証明書ベースの認証	✓	✓	✓	✓	
多要素認証 (MFA)	✓	✓	✓	✓	コンプライアンスとセキュリティに関するよくある質問
スマートカード (CAC および PIV リーダー)	✓	✓	✗	✗	WorkSpaces クライアントでのスマートカードのサポート

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
アクセスコントロール用の証明書	✓	✓	✓	✗	制限を設定する
保管中の暗号化	✓	✓	✓	✓	暗号化に関するよくある質問
クライアントのカスタマイズが可能	✓	✓	✓	✓	WorkSpaces ブランドのカスタマイズ
WebAuthn のサポート	✓	✓	✓	✗	WorkSpaces クライアントの WebAuthn 認証
モニターのサポート	Windows ディスプレイのサポート	macOS ディスプレイのサポート	Linux ディスプレイのサポート	Web Access クライアントビュー	
ファイル転送のサポート	✓	✗	✓	✓	WorkSpaces クライアントアプリケーションでのファイル転送のサポート 個人用および Windows WorkSpaces でのみ使用できます。プールされた WorkSpaces と Linux WorkSpaces では使用できません。

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
アイドル切断タイムアウト	✓	✓	✓	✓	DCV のアイドル切断タイムアウトを設定する Linux WorkSpaces ではサポートされていません。
AWS Global Accelerator (AGA) のサポート	✓	✓	✓	✓	Windows および Mac クライアントバージョン 5.23.0 以降。Linux クライアントバージョン 2024.7 以降。

WorkSpaces でサポートされている PCoIP 機能

次の表は、PCoIP WorkSpaces クライアントでサポートされる機能を比較したものです。

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
クライアントアクセス制限	✓	✓	✓	✓	✓	✓	デバイスのアクセスコントロール
USB リダイレクト	利用可能 (例外あり)	✗	✗	該当なし	✗	該当なし	WorkSpaces は Windows クライアントの YubiKey リダイレクトのみをサポートしています。サポートされているデバイス

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
							のリストについては、「WorkSpaces クライアント周辺機器のサポート」を参照してください。YubiKey リダイレクトの詳細については、「ハードウェアセキュリティキー」を参照してください。
音声入力	✓	✓	✓	✓	✗	✓	
ビデオ入力	✗	✗	✗	✗	✗	✗	WorkSpaces は DCV でのみビデオ入力をサポートしています。
ストレージのリダイレクト	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
ローカルプリンターのリダイレクト	✓	✓	✗	✗	✗	✗	WorkSpaces から印刷する

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
クリップボードのリダイレクト	✓	✓	✗	利用可能 (例外あり)	✓	利用可能 (例外あり)	iPad と Android でのコピーと貼り付けは、テキストと HTML コンテンツのみをサポートしています。
HIPAA/PCI への準拠	✓	✓	✓	✓	✓	✓	コンプライアンスとセキュリティに関するよくある質問
Active Directory 認証	✓	✓	✓	✓	✓	✓	WorkSpaces のディレクトリを管理する
SAML 2.0	✓	✓	✓	✗	✗	✗	
証明書ベースの認証	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
多要素認証 (MFA)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	コンプライアンスとセキュリティに関するよくある質問

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
スマートカード (CAC および PIV リーダー)	✗	✗	✗	✗	✗	✗	WorkSpaces クライアントでのスマートカードのサポート
アクセスコントロール用の証明書	✓	✓	✗	✗	✗	✓	制限を設定する
保管中の暗号化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	暗号化に関するよくある質問
クライアントのカスタマイズが可能	✓	✓	✓	✓	✓	✓	WorkSpaces ブランドのカスタマイズ
YubiKey のサポート	✓	✗	✗	✗	✗	✗	YubiKey U2F の USB リダイレクトを有効にする

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
モニターのサポート	Windows ディスプレイのサポート	macOS ディスプレイのサポート	Linux ディスプレイのサポート	該当なし	Web Access クライアントビュー	Android クライアントビュー	

WorkSpaces クライアント

WorkSpace に接続するには、サポートされているデバイスまたはウェブブラウザでクライアントアプリケーションを使用します。WorkSpace の使用を開始するには、「WorkSpace の開始方法」を参照してください。

> **Important**
>
> WorkSpaces Pools は、macOS、Web Access、および Windows クライアントアプリケーションバージョン 5.20.0 以降でのみサポートされています。

クライアント

- WorkSpaces Android クライアントアプリケーション
- WorkSpaces iPad クライアントアプリケーション
- WorkSpaces Linux クライアントアプリケーション
- WorkSpaces macOS クライアントアプリケーション
- WorkSpaces PCoIP ゼロクライアント
- WorkSpaces Web Access
- WorkSpaces Windows クライアントアプリケーション

WorkSpaces Android クライアントアプリケーション

WorkSpaces Android クライアントアプリケーションの使用を開始する際に、以下の情報が役立ちます。

内容

- 要件
- セットアップとインストール
- WorkSpace に接続します。
- ジェスチャー
- サイドバーメニュー
- キーボード
- トラックパッドモード

- ディスプレイのサポート
- 切断
- クリップボードのサポート
- リリースノート

要件

Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションには、次のものが必要です。

- 2012 年より後にリリースされた Amazon Fire タブレット (Fire OS 4.0 以降)
- Android タブレットとスマートフォン (Android OS 4.4 以降)。クライアントアプリケーションは、Android バージョン 4.4 以降のほとんどのデバイスで動作しますが、一部のデバイスとは互換性がない場合があります。

> **Note**
>
> 2.4.15 より後のバージョンの Android クライアントアプリケーションには、Android OS 9 以降のデバイスが必要です。
> 5.0.0 より後のバージョンの Android クライアントアプリケーションには、Android OS 13 以降のデバイスが必要です。

- Android アプリケーションのインストールをサポートする Chromebook。2019 年以降にリリースされた Chromebook は、Android アプリケーションのインストールをサポートしています。ただし、2019 より前にリリースされた Chromebook の中には、Android アプリケーションのインストールをサポートしていないものがあります。

  Chromebook がサポートしている場合は、Android クライアントアプリケーションを使用することをお勧めします。Chromebook が Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションと互換性があるかどうか、Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションを必要とするかどうかを確認するには、2019 より前にリリースされた Chromebook のインストール手順を参照してください。
- 実行中の 64 ビットアプリケーションをサポートするデバイス。

> **Note**
>
> - WorkSpaces Android クライアントアプリケーションは、DCV では使用できません。

- WorkSpace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションのバージョン 2.4.19 以降を使用する必要があります。

セットアップとインストール

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには、以下の手順を実行します。

(2019 年より前にリリースされた Chromebook 以外のデバイスの場合) クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. デバイスで、https://clients.amazonworkspaces.com/ を開き、デバイス用のリンク (Android/Chromebook または Fire タブレット) を選択します。
2. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
3. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションのアイコンがデバイスのデスクトップの 1 つに表示されていることを確認します。

(2019 年より前にリリースされた Chromebook の場合) クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. Chromebook が Android アプリケーションをサポートしているかどうかを確認するために、Android アプリをサポートしている Chrome OS システムのリストでステータスを確認します。
2. Chromebook のステータスに応じて、次のいずれかの操作を行います。
   - Chromebook のステータスが [Stable Channel] としてマークされている場合は、次の操作を行います。
     1. 「Chromebook に Android アプリをインストールする」の手順に従って、Chromebook に Android アプリケーションをインストールできるようにします。

> **Note**
>
> 場合によっては、Chromebook に Android アプリケーションをインストールする作業を WorkSpaces 管理者が担当しなければならないことがありま

す。Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできない場合は、WorkSpaces 管理者に連絡してサポートを依頼してください。

2. Chromebook で https://clients.amazonworkspaces.com/ を開き、[Android/Chromebook] を選択します。
3. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
4. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションのアイコンがデバイスのデスクトップの 1 つに表示されていることを確認します。

- Chromebook のステータスが [Planned] としてマークされているか、Chromebook がリストに表示されていない場合は、次の操作を行います。
  1. Chromebook が Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションの要件を満たしているかどうかを確認します。
     - WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションを使用するには、Chrome OS バージョン 45 以降の Chromebook が必要です。クライアントアプリケーションは、バージョン 45 以降のほとんどの Chromebook で動作しますが、一部のデバイスとは互換性がない場合があります。デバイスに問題がある場合は、WorkSpaces フォーラムで問題を報告できます。
     - Chromebook の Chrome OS バージョンを確認するには、アカウントの画像が表示されているステータス領域に移動します。[設定]、[Chrome OS について] の順に選択します。
  2. Chromebook で Chrome OS バージョン 45 以降が実行されている場合は、Chrome ウェブストアで Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションへのリンクを開きます。
  3. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
  4. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションのアイコンが Chromebook の検索で表示されることを確認します。

WorkSpace に接続します。

WorkSpace に接続するには、次の手順を実行します。

WorkSpace に接続するには

1. デバイスで、Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションを開きます。

2. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して接続先の WorkSpace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動してログイン画面で [新しい登録コードを入力] をタップします。
3. サインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) をタップします。WorkSpaces 管理者が組織の WorkSpaces の多要素認証を有効にしている場合、ログインを完了するにはパスコードが求められます。パスコードを取得する方法については、お客様の WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
4. WorkSpaces 管理者が [Remember Me] (このアカウントを記憶する) 機能を無効にしていない場合、それ以降 WorkSpace に簡単に接続できるように、お客様の認証情報を安全に保存しておくかどうかを確認するメッセージが表示されます。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

   クライアントアプリケーションを WorkSpace に接続すると、WorkSpace デスクトップが表示されます。

ジェスチャー

WorkSpaces Android クライアントアプリケーションでは、次のジェスチャーがサポートされています。

シングルタップ

Windows でのシングルクリックに相当します。

ダブルタップ

Windows でのダブルクリックに相当します。

2 本指シングルタップ

Windows での右クリックに相当します。

2 本指ダブルタップ

画面上のキーボード表示を切り替えます。キーボードがデバイスに接続されている場合は、代わりに一連のキーボードショートカットが表示されます。

左からのスワイプ

サイドバーメニューを表示します。詳細については、「サイドバーメニュー」を参照してください

2 本指スクロール

上下 (垂直) にスクロールします。

2 本指ピンチ

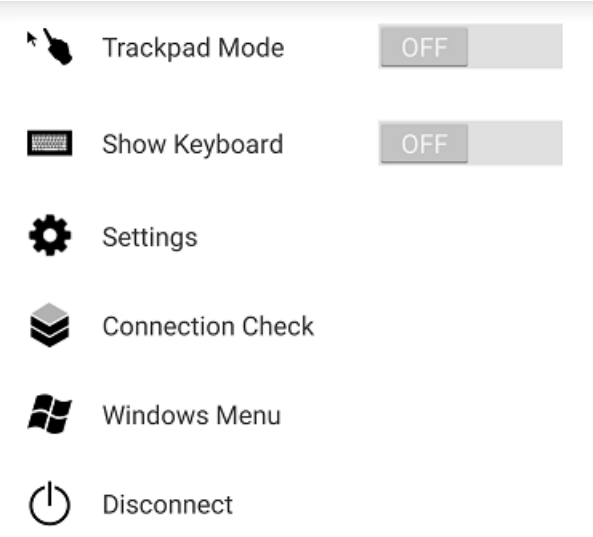
表示をズームイン/ズームアウトします。

2 本指パン

ズームイン時にデスクトップをパンします。

サイドバーメニュー

サイドバーメニューは、画面の左側からスワイプすると表示されます。



サイドバーメニューを使用すると、次の機能にすばやくアクセスできます。

トラックパッドモード – トラックパッドのオン/オフを切り替えます。詳細については、「トラックパッドモード」を参照してください

キーボードの表示 – 画面上のキーボード表示を切り替えます。キーボードが既に接続されている場合は、一列に並んだキーボードショートカットのみが表示されます。

設定 – 画面の解像度やスクロール方向を変更するコントロールを表示します。

接続チェック – 接続ステータスを表示します。

Windows メニュー – Windows の [Start] (スタート) メニューを表示します。

切断 – ログオフせずにクライアントアプリケーションを切断します。

キーボード

画面上のキーボードの表示を切り替えるには、画面の任意の場所を 2 本指でダブルタップします。キーボードの一番上の行に、特殊キーの組み合わせが表示されます。

トラックパッドモード

トラックパッドモードは、サイドバーメニューを使用して設定します。

トラックパッドモードオフ

トラックパッドモードがオフの場合、指をタップした場所にマウスカーソルが配置されます。このモードでは、シングルタップは、マウスの左ボタンをクリックするのと同じで、2 本指シングルタップはマウスの右ボタンをクリックするのと同じです。

トラックパッドモードオン

トラックパッドモードがオンの場合、マウスカーソルは画面上の指の動きを追跡します。このモードでは、マウスの左ボタンアイコンをタップすることで、マウスの左ボタンのクリックをシミュレートします。

マウスの右ボタンアイコンをタップすることで、マウスの右ボタンのクリックをシミュレートします。

ディスプレイのサポート

Amazon WorkSpaces の Android クライアントアプリケーションでは、シングルモニターをサポートしています。マルチモニターはサポートされていません。

サポートされる最大画面解像度は、デバイスのディスプレイによって異なります。特定の画面解像度の設定は [設定] メニューから選択することができます。また、[デフォルト] を選択した場合には、デバイスで設定してある解像度を WorkSpaces が自動で適用します。2800x1752 以上の解像度をサポートしいるデバイスで、WorkSpaces を高解像度に対応させたい場合は、[Default] (デフォルト) を選択します。

解像度の設定	どのようなときに使うか
2800x1752、2560x1440、1920x1080、1600x900、1280x720、960x540	これらの内でいずれかの設定を選択し、ディスプレイの解像度をその数値に合わせます。

解像度の設定	どのようなときに使うか
デフォルト	この設定を選択すると、デバイスで設定した解像度でサポートされる最大の数値が、解像度として適用されます。[Default] (デフォルト) を選択し、高い DPI ディスプレイを使用している場合は、テキストとアイコンを読みやすくするために画面解像度がより低くなるように調整されます。
高 DPI モード	この設定を選択すると、高 DPI ディスプレイで WorkSpace の最大解像度が向上します。[High DPI Mode] (高 DPI モード) を選択し、WorkSpace のテキストとアイコンが希望よりも小さい場合は、代わりに [Default] (デフォルト) を選択するか、WorkSpace のスケーリング設定を調整します。高 DPI モードと WorkSpace のスケーリング設定を調整する方法の詳細については、WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする を参照してください。

切断

Android クライアントを切断するには、サイドバーメニューを表示し、切断アイコンをタップして [切断] をタップします。WorkSpace をログオフした場合も、クライアントが切断されます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、テキストと HTML コンテンツのコピーと貼り付けのみをサポートしています。非圧縮オブジェクトの最大サイズは 20 MB です。詳細については、「the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”」を参照してください。

> **Note**
>
> Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを

Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなることがあります。

リリースノート

Android クライアントアプリケーションのリリースノート

Android クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
5.1.1	2025 年 4 月 2 日	• Android 用 PCoIP SDK を更新しました。 • Android 用 .NET SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.0.1	2024 年 11 月 6 日	バグの修正と機能強化。
5.0.0	2024 年 2 月 26 日	• イスラエル (テルアビブ) リージョンのサポートが追加されました。 • Android 用 PCoIP SDK を更新しました。 • スクリーンリーダーのサポートやキーボードのみのナビゲーションの強化など、アクセシビリティが向上しました。
4.0.6	2023 年 8 月 18 日	• プロビジョニングされた WorkSpaces と同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善しました。 • スペイン語キーボードマッピングの問題を解決しました。
4.0.5	2023 年 5 月 5 日	• AWS GovCloud (米国東部) リージョンでプロビジョニングされた WorkSpaces への接続サポートを追加 • アクセシビリティの拡張機能を追加しました

リリース	日付	変更
4.0.4	2022 年 12 月 15 日	WorkSpaces Android クライアント用の .NET フレームワークを更新しました。
4.0.3	2022 年 10 月 20 日	ターゲット Android API レベルをアップグレードして、64 ビットの Android 12 以降のバージョンを引き続きサポートするようにしました。
4.0.2	2022 年 8 月 3 日	Chromebook の WorkSpaces 内でタッチパッドのスクロールが敏感すぎるという問題を解決しました。
4.0.1	2022 年 5 月 12 日	• WorkSpace Android クライアント用の PCoIP SDK を更新しました。 • WorkSpaces Android クライアント用の WSP SDK を更新しました。
3.0.4	2021 年 10 月 14 日	• 無効なカーソルデータに関連するクラッシュの問題を解決する • バグ修正
3.0.2	2021 年 7 月 13 日	軽微な機能強化と修正
3.0.1	2021 年 6 月 30 日	• セルフサービスによる WorkSpace 管理機能のサポートを追加 • 証明書ベースの信頼できるデバイスのサポートを追加

リリース	日付	変更
2.4.21	2021 年 5 月 20 日	• 解像度オプションに 2800x1752 と高 DPI モードを追加 • カーソルレンダリングに関連するクラッシュシナリオに対処 • 軽微な機能強化と修正 Note 32 ビット版の PCoIP SDK for Android のサポートが終了したため、バージョン 2.4.21 は、32 ビットと 64 ビットの両方の Android 9 以降をサポートする Amazon WorkSpaces Android クライアントの最終リリース版となります。次のリリース以降、Amazon WorkSpaces Android クライアントは 64 ビットのみをサポートします。
2.4.20	2021 年 3 月 25 日	• ログイン時に起きるクラッシュの問題を修正 • 軽微な機能強化と修正
2.4.19	2021 年 2 月 22 日	解像度 2560x1440 のサポートを追加
2.4.18	2020 年 10 月 19 日	• 以前はサポートされていなかった特定の Chromebook モデルのサポートを追加 • 英語、フランス語、日本語のキーボードレイアウトに関連する複数のキーマッピングの問題を修正 • スリープモードからの再開時に Chromebook デバイス上の WorkSpaces への迅速な再接続のサポートを追加
2.4.17	2020 年 2 月 24 日	軽微な機能強化と修正

リリース	日付	変更
2.4.16	2020 年 1 月 30 日	64 ビットの Android 9 以降のバージョンのサポートを追加
2.4.15	2019 年 6 月 24 日	• マウスカーソルのコンテキストシェイプの変更のサポートを追加 • これは Android 8 以下のバージョンをサポートする最後のバージョンです
2.4.14		• 日本語キーボードレイアウトでの右 Alt キーマッピングのサポートを追加 • 青色のオーバーレイで不定期に発生する問題を解決
2.4.13		軽微な修正
2.4.12		• いくつかのデバイスでログインページがバウンスする問題を解決 • 軽微な修正
2.4.11		• 2 本指のスクロールでコンテンツが選択される問題を解決 • 軽微な修正
2.4.10		日本語キーボードレイアウトのサポートを改善
2.4.9		Samsung Galaxy Note 9 のサポートを追加
2.4.7		• クリップボードのリダイレクトを改善 • DeX の起動を改善
2.4.6		ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加

リリース	日付	変更
2.4.5		• タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis • ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.4		セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善
2.4.2		• 軽微な修正 • コピーと貼り付けを改善
2.4.0		• 新しいロゴ • ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.3.4		• マウスがデバイスに接続されているときの Android Oreo のディスプレイオーバーレイの問題に対処 • Samsung S8/S8 以降の画面設定のサポートを追加 • 軽微な問題を解決
2.3.3		ローカライズの強化
2.2.0		• ドイツ語のサポートを追加 • 日本語ユーザーインターフェイスを改善 • 安定性を改善
2.1.0		• WorkSpace の新しい状態として STOPPING と STOPPED のサポートを追加 • 電話をかけたりウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加 • 軽微な問題を解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
2.0.0		• 登録コードを再入力せずに WorkSpaces を切り替えることができるように、登録コードの保存のサポートを追加 • 使いやすさと安定性を改善
1.0.15		• 接続問題のトラブルシューティングを可能にする、高度な接続ヘルスチェックを追加 • 安定性を改善
1.0.11		• ユーザーインターフェイスとログインエクスペリエンスを改善 • 画面の解像度を選択するためのサポートを追加 • スクロール方向を選択するためのサポートを追加
1.0.10		• ログインエクスペリエンスを改善 • ローカルデバイスと WorkSpace との間のタイムゾーン同期を追加
1.0.9		ログインエクスペリエンスを改善
1.0		初回リリース

Chromebook クライアントアプリケーションのリリースノート

Chromebook クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

> **Note**
>
> バージョン 2.4.13 は、Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションの最終リリースです。Google は Chrome アプリのサポートを段階的に廃止するため、WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションはこれ以上更新されず、その使用はサポートされません。

リリース	日付	変更
2.4.13	2019 年 4 月 24 日	画面のロック解除後に、アプリが全画面表示モードに戻らない問題を修正
2.4.12		軽微なバグを修正
2.4.11		軽微なバグを修正
2.4.10		日本語キーボードレイアウトのサポートを改善
2.4.8		UK キーボードのサポートを改善
2.4.7		• クリップボードのリダイレクトを改善 • トラックパッドのタップしてクリックのサポートを追加 • デバイスの解像度を改善
2.4.6		• 画面がフリーズする問題を解決 • トラックパッドの問題を解決
2.4.5		• タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis • ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.4		セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善
2.4.2		Caps Lockのバグを解決
2.4.0		• 新しいロゴ • ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.2.7		軽微な問題を解決

リリース	日付	変更
2.2.4		ローカライズの強化
2.2.1		• ドイツ語のサポートを追加 • 日本語ユーザーインターフェイスを改善 • 安定性を改善
2.1.3		• WorkSpace の新しい状態として STOPPING と STOPPED のサポートを追加 • 電話をかけたりウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加 • 軽微なバグを解決し、安定性を改善
2.0.0		• 登録コードを再入力せずに WorkSpaces を切り替えることができるように、登録コードの保存のサポートを追加 • 使いやすさと安定性を改善
1.0		初回リリース

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーション

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションの使用を開始する際に、以下の情報が役立ちます。

内容

- 要件
- セットアップとインストール
- WorkSpace に接続します。
- ジェスチャー
- 放射状メニュー
- キーボードとコマンドのショートカット
- マウスモード
- Swiftpoint GT、ProPoint、PadPoint のいずれかのマウス

- 切断
- クリップボードのサポート
- リリースノート

要件

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションには、以下が必要です。

- iOS 8.0 ~ 17.0 を搭載した iPad 2 以降
- iOS 8.0 から 17.0 の iPad Retina
- iOS 8.0 ~ 17.0 を搭載した iPad Mini
- iOS 9.0 から 17.0 の iPad Pro

> **Note**
>
> - Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションは、DCV では使用できません。
> - WorkSpace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションのバージョン 2.4.17 以降を使用する必要があります。
> - iPad で iPadOS 14.5 から 17.0 を使用している場合は、Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションのバージョン 2.4.18 以降を使用することをお勧めします。

セットアップとインストール

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには、以下の手順を実行します。

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. iPad で、[Amazon WorkSpaces Client Downloads] (Amazon WorkSpaces クライアントのダウンロード) を開き、iPad のリンクを選択します。
2. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。

3. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションのアイコンが iPad デスクトップの 1 つに表示されていることを確認します。

WorkSpace に接続します。

WorkSpace に接続するには、次の手順を実行します。

WorkSpace に接続するには

1. iPad で、Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションを開きます。
2. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して接続先の WorkSpace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動して、ログイン画面で [新しい登録コードを入力] を選択します。
3. サインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織の WorkSpaces の多要素認証を有効にしている場合、ログインを完了するにはパスコードが求められます。パスコードを取得する方法については、お客様の WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
4. WorkSpaces 管理者が [Remember Me] (このアカウントを記憶する) 機能を無効にしていない場合、それ以降 WorkSpace に簡単に接続できるように、お客様の認証情報を安全に保存しておくかどうかを確認するメッセージが表示されます。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

   クライアントアプリケーションを WorkSpace に接続すると、WorkSpace デスクトップが表示されます。

ジェスチャー

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションでは、次のジェスチャーがサポートされています。

シングルタップ

Windows でのシングルクリックに相当します。

ダブルタップ

Windows でのダブルクリックに相当します。

2 本指シングルタップ

Windows での右クリックに相当します。

2 本指ダブルタップ

画面上のキーボード表示を切り替えます。

左からのスワイプ

放射状のメニューを表示します。詳細については、「放射状メニュー」を参照してください

2 本指スクロール

上下（垂直）にスクロールします。

2 本指ピンチ

表示をズームイン/ズームアウトします。

2 本指パン

ズームイン時にデスクトップをパンします。

放射状メニュー

放射状メニューは、画面の左側からスワイプすると表示されます。

リングメニューを使用すると、次の機能に簡単にアクセスできます。

設定 – 画面の解像度の変更、スクロール方向の変更、Swiftpoint GT、ProPoint、PadPoint のいずれかのマウス の接続または切断を行うコントロールを表示します。

接続ステータス – WorkSpace の接続ステータスを表示します。

切断 – ログオフせずにクライアントアプリケーションを切断します。

ダイレクトマウスモード – 入力をダイレクトマウスモードに設定します。詳細については、「マウスモード」を参照してください

ヘルプ – コマンドとジェスチャのチュートリアルを表示します。

キーボード – 画面上のキーボード表示を切り替えます。

Windows の [Start] (スタート) メニュー – Windows の [Start] (スタート) メニューを表示します。

オフセットマウスモード – 入力をオフセットマウスモードに設定します。詳細については、「マウスモード」を参照してください

キーボードとコマンドのショートカット

画面上のキーボードの表示を切り替えるには、画面の任意の場所を 2 本指でダブルタップします。Windows で頻繁に使用される特殊なキーの組み合わせ (コマンドショートカット。Ctrl+Alt+Del、Alt+Tab、Ctrl+A、Ctrl+C、Ctrl+V、Ctrl+X など) は、スクリーンキーボードの一番上の行に表示されます。

iPad にフルサイズの物理キーボードを接続している場合は、Control+Option+Delete

を使用して、Ctrl+Alt+Del を Windows WorkSpace に送信できます。(バックスペースの Delete キーではなく、フォワードの Delete キーを使用してください)。

マウスモード

マウスモードはリングメニューを使用して設定します。

ダイレクトモード

ダイレクトマウスモードでは、指でタップした位置にマウスカーソルが置かれます。このモードでは、シングルタップは、マウスの左ボタンをクリックするのと同じで、2 本指シングルタップはマウスの右ボタンをクリックするのと同じです。

オフセットモード

オフセットマウスモードでは、マウスカーソルが画面上の指の動きを追跡します。このモードでは、マウスの左ボタンアイコンをタップすることで、マウスの左ボタンのクリックをシミュレートします。

マウスの右ボタンアイコンをタップすることで、マウスの右ボタンのクリックをシミュレートします。

Swiftpoint GT、ProPoint、PadPoint のいずれかのマウス

iPad で Swiftpoint GT、ProPoint、PadPoint のいずれかのマウスを使用して WorkSpace を操作できます。そのためには、Amazon WorkSpaces iPadクライアントアプリケーションを起動する前に、iPad で Bluetooth を有効にし、Swiftpoint マウスと iPad をペアリングします (Swiftpoint マウスは自動的にペアリングされます)。Swiftpoint マウスと iPad クライアントを接続するには、リングメニューを表示し、[設定] をタップします。[SwiftPoint GT マウス] で、[接続] を選択します。

> **Note**
>
> Swiftpoint GT マウスは利用できなくなりましたが、代わりに Swiftpoint ProPoint マウスと PadPoint マウスを Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションで使用できます。Swiftpoint TRACPOINT マウス、PenPoint マウス、GoPoint マウスは、WorkSpaces iPad クライアントでの使用がサポートされていません。詳細については、「Swiftpoint GT Mouse」を参照してください。

iPadOS 13.4 以降を搭載した iPad は、Bluetooth 対応のマウスもサポートしています。詳細については、Apple サポートドキュメントの「iPad で Bluetooth 対応のマウスやトラックパッドを使う」をご参照ください。

切断

iPad クライアントアプリケーションを切断するには、リングメニューを表示し、切断アイコンをタップして、[Disconnect] (切断) をタップします。WorkSpace をログオフした場合も、クライアントが切断されます。

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションを終了するには

1. 次のいずれかを実行して、App Switcher を開きます。
   - 最下部から上方向にスワイプし、画面の中央で一時停止します。
   - [Home] (ホーム) ボタンをダブルクリックします ([Home] (ホーム) ボタンのある iPad の場合)。
2. WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションを上方向にスワイプして閉じます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、テキストと HTML コンテンツのコピーと貼り付けのみをサポートしています。非圧縮オブジェクトの最大サイズは 20 MB です。詳細については、「the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”」を参照してください。

> **Note**
>
> Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなることがあります。

リリースノート

iPad クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
2.4.27	2025 年 2 月 12 日	バグの修正と機能強化。
2.4.26	2024 年 11 月 13 日	バグの修正と機能強化。
2.4.25	2023 年 10 月 7 日	プロビジョニングされた WorkSpaces と同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランディングを改善しました。

リリース	日付	変更
2.4.24	2023 年 5 月 9 日	• AWS GovCloud (米国東部) リージョンでプロビジョニングされた WorkSpaces への接続サポートを追加しました。 • アクセシビリティの強化を追加しました。
2.4.21	2022 年 8 月 3 日	• 新しいリージョンのサポートが追加されました。 • 軽微なバグの修正と機能強化。
2.4.20	2022 年 4 月 30 日	アクティブなセッション中に表示解像度を変更したときに発生する画面更新の問題を修正しました。
2.4.19	2021 年 10 月 20 日	iPadOS 15 でスクリーンキーボードを閉じることができないという問題を解決します。
2.4.18	2021 年 5 月 9 日	iPadOS 14.5 での起動時のクラッシュの問題を修正
2.4.17	2021 年 2 月 18 日	日本語キーボードのサポートが改善されました
2.4.16	2020 年 9 月 27 日	軽微なバグの修正と機能強化
2.4.15	2020 年 6 月 28 日	• iPadOS 13.4 以降でネイティブマウスおよびトラックパッドのサポートを追加 • iPadOS 13.4 以降で外部キーボードからキーボードショートカットのインスタンスを使用できない問題を修正 • エラーメッセージングを改善し、マウスポインター関連の UI の機能強化を追加 • 軽微なバグを修正
2.4.14	2020 年 4 月 17 日	• 脱獄したデバイスでのクライアントアプリケーションの実行のサポートを中止 • 軽微なバグを修正

リリース	日付	変更
2.4.13	2020 年 2 月 28 日	軽微なバグを修正
2.4.11	2019 年 10 月 28 日	• Amazon Linux 2 を実行している WorkSpaces で定期的にキー入力が繰り返される問題を解決 • WorkSpaces への再接続に伴う問題を解決 • 軽微なバグを修正
2.4.9		軽微なバグを修正
2.4.7		WorkSpaces クライアントアプリケーションを閉じると、再接続トークンの有効期限が切れるようになりました。WorkSpace に再接続できるのは、クライアントアプリケーションが実行されているときだけです。
2.4.6		オンスクリーンキーボードの軽微な修正
2.4.5		ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加
2.4.4		• タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis • ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.3		• Swiftpoint GT マウススクロールホイールのサポートを追加 • セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善

リリース	日付	変更
2.4.2		• 軽微な修正 • コピーと貼り付けを改善 • Swiftpoint GT マウスの初期サポートを追加 (スクロールホイールはサポートされません)
2.4.0		• 新しいロゴ • ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.2.4		ローカライズの強化
2.2.3		• ATS による HTTPS TLS 1.2 のサポートを追加 • マイクのプライバシーに関する声明を追加 • iPad Pro モデルのデフォルト解像度を改善 • 複数言語でのローカリゼーションを改善 • 9.7 インチ iPad Proモデルで画面が黒く表示される問題を解決 • iOS 10でのアプリアイコンのズーム問題を解決 • オーディオエコーの問題を解決 • セキュリティの修正とさまざまな機能強化
2.2.0		• オーディオセッション管理のサポートを追加、WorkSpaces の使用中にバックグラウンドでの音楽の再生が可能 • ドイツ語のサポートを追加 • ローカル IPv6 ネットワークのサポートを追加
2.1.0		• WorkSpace の新しい状態として STOPPING と STOPPED のサポートを追加 • 軽微なバグを解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
2.0.0		• 登録コードを再入力せずに WorkSpaces を切り替えることができるように、登録コードの保存のサポートを追加 • Bluetooth キーボードの矢印キーのサポートに関する問題を解決 • Bluetooth キーボードが誤ってオンスクリーンショートカットバーをアクティブにする問題を解決 • 使いやすさと安定性を改善
1.1		• 接続問題のトラブルシューティングを可能にする、高度な接続ヘルスチェックを追加 • 安定性を改善
1.0.11		iOS 8 の安定性を改善
1.0.10		安定性を改善
1.0.9		• ユーザーインターフェイスとログインエクスペリエンスを改善 • 画面の解像度を選択するためのサポートを追加 • スクロール方向を選択するためのサポートを追加
1.0.8		• エラーメッセージを改善 • Bluetooth キーボードの操作性を改善 • スクロール操作を改善
1.0.7		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.6		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.5		• ログインエクスペリエンスを改善 • ネットワーク接続を改善

リリース	日付	変更
1.0.4		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.3		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.2		• 接続のヘルスチェックを追加 • iPad Air と iPad mini に関する特定の問題を解決
1.01		リング機能を改善
1.0		初回リリース

WorkSpaces Linux クライアントアプリケーション

WorkSpaces Linux クライアントアプリケーションの使用を開始する際に、次の情報が役立ちます。

内容

- 要件
- セットアップとインストール
- WorkSpace への接続
- ログイン情報の管理
- クライアントビュー
- クライアントの言語
- ディスプレイのサポート
- プロキシサーバー
- コマンドショートカット
- クリップボードのリダイレクト
- 切断
- リリースノート

要件

WorkSpaces Linux クライアント バージョン 2023.x が WorkSpaces サービスにアクセスするには、クライアントがサービスにアクセスしようとしているネットワーク上の許可リストに WorkSpaces Web Access ドメイン (https://webclient.amazonworkspaces.com/) を追加する必要があります。

> **Note**
>
> - デフォルトでは、Linux クライアントへのアクセスが無効になっています。このクライアントを WorkSpace で使用するには、Amazon WorkSpaces 管理者が WorkSpaces ディレクトリ用に Linux クライアントへのアクセスを有効にする必要があります。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理ガイドのデバイスのアクセスコントロールを参照してください。
> - WorkSpace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces Linux クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.3 以降を使用する必要があります。
> - Ubuntu 22.04 用の WorkSpaces Linux クライアントバージョン 2023.0.4395 は、DCV でのみ使用できます。

セットアップとインストール

[Amazon WorkSpaces Client Downloads] (Amazon WorkSpaces クライアントのダウンロード) から WorkSpaces Linux クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールします。詳細なインストール手順は、 [Client Downloads (クライアントダウンロード)] サイトの [Linux client (Linux クライアント)] ページに記載されています。

2023.x クライアント

Linux クライアントをコマンドラインから起動するには、次のコマンドを使用します。

```
workspacesclient
```

> **Note**
>
> 新しいクライアントアプリケーションを実行すると、登録コードの入力を求められます。登録コードはウェルカムメールに記載されています。既存のお客様の場合、登録コードは

```
/home/UserName/.local/share/Amazon Web Services/Amazon WorkSpaces/
RegisterationList.json にあります。
```

3.x および 4.x クライアント

Linux クライアントをコマンドラインから起動するには、次のコマンドを使用します。

```
/opt/workspacesclient/workspacesclient
```

WorkSpace への接続

WorkSpace に接続するには、次の手順を実行します。

WorkSpace に接続するには

1. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して接続先の WorkSpace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動し、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択します。
2. ログイン画面でサインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織の WorkSpaces の多要素認証を有効にしている場合、ログインを完了するにはパスコードが求められます。パスコードを取得する方法については、お客様の WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
3. WorkSpaces 管理者が [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) 機能を無効にしていない場合は、ログイン画面の下部にある [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) チェックボックスをオンにして、認証情報を安全に保存できます。これにより、クライアントアプリケーションの実行中に WorkSpace に容易に接続できます。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

   クライアントアプリケーションを WorkSpace に接続すると、WorkSpace デスクトップが表示されます。

インターネット接続が停止すると、現行のセッションは切断されます。これはノートパソコンの蓋を閉じた場合やワイヤレスネットワーク接続の喪失から発生する場合があります。Linux 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、ネットワーク接続が一定時間内に回復すれば、セッ

ションの再接続を自動的に試行します。デフォルトのセッション再開タイムアウトは 20 分ですが、このタイムアウトはネットワーク管理者が変更できます。

ログイン情報の管理

登録コードと、どのリージョンに WorkSpace があるかを確認できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションで現在の登録コードを保存するかどうかを指定できます。また、WorkSpace に名前を割り当てることができます。さらに Amazon WorkSpaces を終了するか、ログイン期間が期限切れになるまで WorkSpace へのログイン状態を保つかどうかを指定することもできます。

2023.x クライアント

WorkSpace のログイン情報を管理するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定) の [Manage Login Information] (ログイン情報を管理) に移動します。
2. [設定] ダイアログボックスで、WorkSpace の登録コードとリージョン情報を確認できます。
3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、[登録コードの保存] チェックボックスをオンにします。
4. [保存された登録コード] で、名前を付ける WorkSpace を選択します。
5. [WorkSpace 名] ボックスに、WorkSpace の名前を入力します。
6. (オプション) WorkSpaces を終了するか、ログイン期間が期限切れになるまで、ログイン状態を保つ場合は、[ログイン状態を保つ] チェックボックスをオンにします。
7. [保存] を選択します。

3.x および 4.x クライアント

WorkSpace のログイン情報を管理するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定) の [Manage Login Information] (ログイン情報を管理) に移動します。
2. [ログイン情報を管理] ダイアログボックスで、WorkSpace の登録コードとリージョン情報を確認できます。
3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、[登録コードの記憶] チェックボックスをオンにします。
4. [保存された登録コード] で、名前を付ける WorkSpace を選択します。

5. [WorkSpace 名] ボックスに、WorkSpace の名前を入力します。
6. (オプション) WorkSpaces を終了するか、ログイン期間が期限切れになるまで、ログイン状態を保つ場合は、[ログイン状態を保つ] チェックボックスをオンにします。
7. [Save] (保存) を選択します。

クライアントビュー

2023.x クライアント用の全画面表示モード

クライアントアプリケーションメニューで全画面表示アイコンを選択して、全画面表示モードに切り替えることができます。全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クライアントアプリケーションメニューが表示されたら、クライアントアプリケーションメニューの [全画面表示の終了] を選択します。

3.x および 4.x クライアント用の全画面表示モード

クライアントアプリケーションメニューで [表示]、[全画面表示にする] の順に選択すると、全画面表示モードに切り替えることができます。

全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クライアントアプリケーションメニューが表示されたら、クライアントアプリケーションメニューの [表示]、[全画面表示の終了] の順に選択します。

Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

クライアントの言語

2023.x クライアント

WorkSpaces クライアントは、コンピューターのオペレーティングシステムで使用されるデフォルトの表示言語を自動的に選択します。

3.x および 4.x クライアント

次の手順を実行することによって、クライアントで表示される言語を選択できます。

> **Note**
>
> クライアントでは、日本語をすべてのリージョンで使用できます。しかし、日本語は個々の WorkSpaces の Tokyo でのみ使用できます。

クライアントの言語を選択するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定)、[Change Language] (言語を変更) の順に選択します。
2. [言語の選択] リストで目的の言語を入力し、[保存] を選択します。
3. クライアントを再起動します。

ディスプレイのサポート

WorkSpaces の Value、Standard、Performance、Power、PowerPro、GraphicsPro の各バンドルは、最大 4 つのディスプレイと最大解像度 3840x2160 (超高精細 (UHD)) をサポートします。サポートされる最大解像度は、次の表に示すとおり、ディスプレイの数によって異なります。

ディスプレイ	解像度
2	3840x2160
4	1920x1200

> **Note**
>
> - ディスプレイは拡張のみ可能です。ディスプレイを複製することはできません。ディスプレイを複製すると、セッションが切断されます。
> - Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、セッションを開始する前に、すべての接続されているディスプレイの拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を抽出し、最適な互換性の一致を判断します。高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイを使用している場合、クライアントアプリケーションはローカルの DPI 設定に従ってストリーミングウィンドウを自動的にスケーリングします。高 DPI ディスプレイのより適した最大解像度については、WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする を参照してください。

WorkSpaces でマルチモニターを使用するには

1. マルチモニターを使用するようにローカルマシンを設定します。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、WorkSpace にログインします。
3. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

> **Note**
>
> 使用しているクライアント バージョンが 2023.x で、DCV WorkSpaces を利用し、3 台以上のモニターが接続されている場合、WorkSpace は選択されている使用可能なモニターで全画面表示を拡張することもできます。選択したモニターは、ディスプレイ設定でお互いに隣り合うか、同じ面を共有するように設定する必要があります。DCV マルチモニターサポートは DCV 技術を使用して構築されています。要件とトラブルシューティングの詳細については、「Extending full-screen across selected monitors」を参照してください。

使用しているクライアント	この操作を行います
2023.x 以降のクライアント	• 1 台のディスプレイでフルスクリーンモードに切り替えるには、[1 台のモニターで] を選択します (DCV のみ)。 • 選択した複数のディスプレイでフルスクリーンモードに切り替えるには、[選択したモニターで] を選択します (DCV のみ)。 • すべてのディスプレイでフルスクリーンモードに切り替えるには、[すべてのモニターで] を選択します (PCoIP と DCV)。 • Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えます (PCoIP のみ)。
3.0 および 4.0 以降のクライアント	[表示]、[すべてのディスプレイで全画面表示にする] の順に選択します。Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

使用しているクライアント	この操作を行います
2.0 以降のクライアント	[表示]、[全画面表示にする] の順に選択します。Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

これで、WorkSpace がディスプレイ全体に拡張されます。プライマリディスプレイとして指定したディスプレイは、全画面表示モードにした場合でも WorkSpaces のプライマリディスプレイです。

> **Note**
>
> マルチモニター設定で一部のディスプレイのみを全画面表示モードにすることはできません。ただし、Alt+F10 キーを押すか、タイトルバーをダブルクリックすると、WorkSpace を他のディスプレイに拡張することなく、ディスプレイの WorkSpaces クライアントウィンドウを最大化できます。

プロキシサーバー

ネットワークでインターネットにアクセスするためにプロキシサーバーを使用する必要がある場合は、HTTPS (ポート 443) トラフィックにプロキシを使用することを WorkSpaces クライアントアプリケーションに許可できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、更新、登録、認証に HTTPS ポートを使用します。

> **Note**
>
> - WorkSpace へのデスクトップストリーミング接続では、ポート 4172 と 4195 を有効にする必要があり、プロキシサーバーを経由しません。
> - サインイン認証情報を使用した認証を必要とするプロキシサーバーはサポートされていません。

プロキシサーバーの使用

Linux クライアントのデフォルトでは、デバイスのオペレーティングシステム設定で指定されているプロキシサーバーが使用されます。クライアントが初めて起動されると、デバイスのオペレーティン

グシステムのプロキシサーバー設定が使用されます。プロキシサーバーに対して別のオプションを選択した場合、その設定がクライアントのその後の起動に使用されます。

> **Note**
>
> バージョン 3.0.0 から 3.1.4 を使用しながらカスタムプロキシサーバーを指定した場合、WorkSpace にログインを試みた際に「ネットワークがありません (No network)」というエラーが表示されることがあります。Linux クライアントでカスタムプロキシサーバーを使用する場合は、バージョンを 3.1.5 にアップグレードすることをお勧めします。このアップグレードが不可能な場合には、Linux クライアントからカスタムプロキシサーバーを指定せずに、オペレーティングシステムのデフォルトのプロキシサーバーを使用することで、この問題を回避できます。

2023.x クライアント

プロキシサーバーを使用するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションのログインページから、3 本線のメニューアイコン、[接続の設定] の順に選択します。
2. [接続の設定] ダイアログボックスで、[WorkSpaces のプロキシサーバーをカスタマイズする] を選択してプロキシサーバーの URL または IP アドレスを入力し、ポートを入力して、[保存] を選択します。

3.x および 4.x クライアント

プロキシサーバーを使用するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定)、[Manage Proxy Server] (プロキシサーバーを管理) の順に選択します。
2. [Set Proxy] (プロキシの設定) ダイアログボックスで、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択し、プロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力して、[Save] (保存) を選択します。

コマンドショートカット

PCoIP WorkSpaces Linux クライアントは、次のコマンドショートカットをサポートしています。

- Ctrl+Alt+Enter — 全画面表示の切り替え (PCoIP のみ)

クリップボードのリダイレクト

クリップボードは、20 MB の非圧縮オブジェクトの最大サイズをサポートしています。詳細については、「コピーと貼り付けで問題が発生しました」を参照してください。

切断

Linux クライアントアプリケーションを切断するには、いくつかのオプションがあります。

2023.x クライアント

- WorkSpaces ストリーミングセッションで、ウィンドウを閉じて WorkSpace セッションを終了します。ダイアログボックスで、[切断] を選択して WorkSpace セッションを終了します。再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。
- WorkSpaces ストリーミングセッションで、3 本線メニューアイコンをクリックし、[切断] を選択して、WorkSpace セッションを終了します。クライアントアプリケーションは実行され続けるため、再度ログインできます。

3.x および 4.x クライアント

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Disconnect WorkSpace] (WorkSpace を切断) を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Quit Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces を終了) を選択します。WorkSpace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、右上の閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Disconnect WorkSpace] (WorkSpace を切断) を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Quit Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces を終了) を選択します。WorkSpace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、右上の閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。プロンプトでセッションの終了 を選択すると、Amazon WorkSpaces から切断され、クライアントアプリケーションが閉じられます。

診断ログのアップロード

WorkSpaces クライアントで発生した問題をトラブルシューティングするために、クライアントの診断ログを有効にしておきます。WorkSpaces に送信されるログファイルには、デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報が含まれています。WorkSpace ストリーミングセッション前またはセッション中に診断ログのアップロードを有効にすると、これらのファイルを自動的に WorkSpace に送信できます。

> **Note**
>
> WorkSpaces ストリーミングセッション前とセッション中にログファイルを送信できます。ログのアップロードは、Linux Ubuntu 20.04 および Ubuntu 22.04 クライアントでのみサポートされています。

ログファイルを送信するには

1. Amazon WorkSpaces クライアントを開きます。
2. 登録後、WorkSpaces サインインページの右上で [設定] を選択し、次に [診断ロギング] を選択します。
3. ポップアップダイアログボックスで、[診断ロギング] の下にあるトグルを希望の設定に切り替え、[保存] を選択します。
4. セッションのログで提供するデータ量を選択するには、[ログレベル] のラジオボタンを選択します。[標準のログ記録] (デフォルト) または [高度なログ記録] のいずれかを選択できます。

> **Important**
>
> 問題を に報告するときは サポート、問題が発生しているクライアントのデバイス ID を必ず追跡してください。デバイス ID は、登録コードを入力した後、クライアントログインページの設定診断ログメニューで確認できます。これにより、サポートチームはユーザーの特定のデバイスに関連付けられたログを識別できます。当該の問題に関して作成するチケットには、デバイス ID を含めてください。

リリースノート

Ubuntu 22.04 WorkSpaces クライアントアプリケーションのリリースノート

Ubuntu 22.04 クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
2025.0	2025 年 5 月 28 日	• DCV SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
2024.8	2024 年 12 月 11 日	• DCV WorkSpaces セッション間で保存される永続的なウェブカメラとマイクの設定を追加しました。 • バグの修正と機能強化。
2024.7	2024 年 10 月 10 日	• WSP プロトコルという名前を Amazon DCV プロトコルに変更しました。 • TCP および UDP プロトコルのポート 443 経由のストリーミングについて DCV WorkSpaces でのサポートが追加されました。 • 証明書ベースの認証がサポートされるようになったことで、シングルサインオンによるログインエクスペリエンスが可能になり、ユーザープロンプトが少なくなりました。 • バグの修正と機能強化。
2024 年 5 月	2024 年 8 月 26 日	バグの修正と機能強化。
2024 年 4 月	2024 年 8 月 15 日	バグの修正と機能強化。
2024 年 3 月	2024 年 8 月 8 日	• DCV SDK を更新しました。 • PCoIP SDK を更新しました。 • TCP/UDP ポート 443 を介したストリーミングのサポートが追加されました。

リリース	日付	変更
2024.2	2024 年 7 月 3 日	バグの修正と機能強化。
2024.1	2024 年 6 月 11 日	• DCV SDK を更新しました。 • SAML 2.0 統合のサポートが追加されました。 • セッション前のスマートカード認証のサポートが追加されました。
2024.0	2024 年 2 月 28 日	• DCV SDK を更新しました。 • キーボードキャプチャの問題を修正しました • セッション内認証の WebAuthn のサポートが追加されました。 • 軽微なバグの修正と機能強化。
2023.2	2023 年 12 月 19 日	• スクリーンリーダーとキーボードナビゲーションを追加し、アクセシビリティが向上しました。 • AWS GovCloud (米国西部) と AWS GovCloud (米国東部) のサポートが追加されました。
2023.1	2023 年 11 月 12 日	• Uniform Resource Identifier (URI) のサポートが追加されました。 • チルダキーの日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。 • 診断ログアップロードのサポートが追加されました。

リリース	日付	変更
2023 年 0 月 4395 日	2023 年 8 月 24 日	• Windows、BYOL、Ubuntu WorkSpaces を含む DCV WorkSpaces 接続のサポートが追加されました。 • 3 台以上のモニターが接続されている場合、選択したモニターでの全画面表示拡張サポートが追加されました。 • より快適な会議エクスペリエンスを提供するために、双方向のオーディオ/ビデオとウェブカメラのリダイレクトのサポートが追加されました。 • フレームレート、ネットワーク遅延、WorkSpaces 内のダウンロード帯域幅などのストリーミングメトリクスを表示するオプションが追加されました。 Note ユニフォームリソース識別子 (URI) は、このバージョンではサポートされていません。詳細については、「WorkSpaces へのユーザーログイン方法をカスタマイズする」を参照してください。

Ubuntu 20.04 WorkSpaces クライアントアプリケーションのリリースノート

Ubuntu 20.04 クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
2025.0	2025 年 5 月 28 日	• DCV SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。

リリース	日付	変更
2024.8	2024 年 12 月 11 日	• DCV WorkSpaces セッション間で保存される永続的なウェブカメラとマイクの設定を追加しました。 • バグの修正と機能強化。
2024.7	2024 年 10 月 10 日	• WSP プロトコルという名前を Amazon DCV プロトコルに変更しました。 • TCP および UDP プロトコルのポート 443 経由のストリーミングについて DCV WorkSpaces でのサポートが追加されました。 • 証明書ベースの認証がサポートされるようになったことで、シングルサインオンによるログインエクスペリエンスが可能になり、ユーザープロンプトが少なくなりました。 • PCoIP SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
2024 年 6 月	2024 年 9 月 5 日	バグの修正と機能強化。
2024 年 5 月	2024 年 8 月 26 日	バグの修正と機能強化。
2024 年 4 月	2024 年 8 月 15 日	バグの修正と機能強化。
2024 年 3 月	2024 年 8 月 8 日	• DCV SDK を更新しました。 • PCoIP SDK を更新しました。 • TCP/UDP ポート 443 を介したストリーミングのサポートが追加されました。
2024.2	2024 年 7 月 3 日	バグの修正と機能強化。
2024.1	2024 年 6 月 11 日	• DCV SDK を更新しました。 • SAML 2.0 統合のサポートが追加されました。

リリース	日付	変更
2024.0	2024 年 2 月 28 日	• DCV SDK を更新しました。 • PCoIP SDK を更新しました。 • キーボードキャプチャの問題を修正しました • セッション内認証の WebAuthn のサポートが追加されました。 • 軽微なバグの修正と機能強化。
2023.2	2023 年 12 月 19 日	• スクリーンリーダーとキーボードナビゲーションを追加し、アクセシビリティが向上しました。 • AWS GovCloud (米国西部) と AWS GovCloud (米国東部) のサポートが追加されました。
2023.1	2023 年 11 月 12 日	• Uniform Resource Identifier (URI) のサポートが追加されました。 • チルダキーの日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。 • 診断ログアップロードのサポートが追加されました。
4.7.0	2023 年 11 月 1 日	• イスラエル (テルアビブ) リージョンのサポートが追加されました。 • チルダキーの日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。 • Linux 用の更新された PCoIP SDK。

リリース	日付	変更
2023.0.4430	2023 年 8 月 24 日	• Windows、BYOL、Ubuntu WorkSpaces を含む DCV WorkSpaces 接続のサポートが追加されました。 • (DCV のみ) 3 台以上のモニターが接続されている場合、選択したモニターでの全画面表示拡張サポートが追加されました。 • (DCV のみ) より快適な会議エクスペリエンスを提供するために、双方向のオーディオ/ビデオとウェブカメラのリダイレクトのサポートが追加されました。 • (DCV のみ) フレームレート、ネットワーク遅延、WorkSpaces 内のダウンロード帯域幅などのストリーミングメトリクスを表示するオプションが追加されました。 Note ユニフォームリソース識別子 (URI) は、このバージョンではサポートされていません。詳細については、「WorkSpaces へのユーザーログイン方法をカスタマイズする」を参照してください。

リリース	日付	変更
4.6.0	2023 年 6 月 21 日	• プロビジョニングされた WorkSpaces と同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善しました。 • クライアントのカスタムブランディングロゴファイルに関する画像の自動スケーリングの問題が解決されました。 • 日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。
4.5.0	2022 年 12 月 27 日	• ネットワーク接続が失われたり利用できなくなったりすると、ユーザーが WorkSpaces から切断できないという問題を解決しました。 • WorkSpace Windows クライアント用の PCoIP SDK を更新しました。
4.4.0	2022 年 10 月 27 日	Ubuntu 20.04 をサポートしました。

WorkSpaces macOS クライアントアプリケーション

WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションの使用を開始する際に、次の情報が役立ちます。

内容

- 要件
- セットアップとインストール
- クライアントのバージョンを確認する
- WorkSpace に接続します。
- ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)
- クライアントビュー
- クライアントの言語

- ディスプレイのサポート
- プロキシサーバー
- コマンドショートカット
- Windows ロゴキーまたはコマンドキーを再マッピングする
- 切断
- クリップボードのサポート
- 診断ログのアップロード
- リリースノート

要件

macOS バージョン	PCoIP	DCV
12 (モントレー) 以前	サポートされません	サポートされません
13 (Ventura)	4.0 以降	5.5.0 以降
14 (Sonoma)	4.0 以降	5.5.0 以降
15 (Sequoia)	サポート外	サポート

> **Note**
>
> WorkSpace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.3 以降を使用する必要があります。

セットアップとインストール

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには、以下の手順を実行します。

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. macOS デバイスで、[Amazon WorkSpaces Client Downloads] (Amazon WorkSpaces クライアントのダウンロード) を開き、MacOS X のリンクを選択します。
2. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
3. デスクトップに Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションアイコンが表示されていることを確認します。

WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新できない場合は、次の手順に従ってクライアントアプリケーションを更新します。

WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新するには

1. Finder で [アプリケーション] フォルダを開きます。次に [ユーティリティ] を開いて [ターミナル] を選択します。
2. [ターミナル] ウィンドウで、次のコマンドを入力し、Return キーを押します。

```
defaults delete com.amazon.workspaces SUSkippedVersion
```

3. [ターミナル] アプリで、[ターミナル]、[ターミナルを終了] の順に選択します。
4. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションに登録コードをまだ入力していない場合は、登録コードを入力してから、[Amazon WorkSpaces]、[Quit Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces を終了) の順に選択してクライアントアプリケーションを閉じます。
5. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを再起動します。クライアントを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。更新を承諾します。

クライアントのバージョンを確認する

使用している WorkSpaces クライアントのバージョンを確認するには、[Amazon WorkSpaces]、[About Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces について) を選択するか、右上の歯車アイコンをクリックして [About Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces について) を選択します。

WorkSpace に接続します。

WorkSpace に接続するには、次の手順を実行します。

3.0 以降のクライアントで WorkSpace に接続するには

1. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して接続先の WorkSpace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動し、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択します。
2. ログイン画面でサインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織の WorkSpaces の多要素認証を有効にしている場合、ログインを完了するにはパスコードが求められます。パスコードを取得する方法については、お客様の WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
3. WorkSpaces 管理者が [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) 機能を無効にしていない場合は、ログイン画面の下部にある [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) チェックボックスをオンにして、認証情報を安全に保存できます。これにより、クライアントアプリケーションの実行中に WorkSpace に容易に接続できます。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

   クライアントアプリケーションを WorkSpace に接続すると、WorkSpace デスクトップが表示されます。

インターネット接続が停止すると、現行のセッションは切断されます。これはノートパソコンの蓋を閉じた場合やワイヤレスネットワーク接続の喪失から発生する場合があります。macOS 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、ネットワーク接続が一定時間内に回復すれば、セッションの再接続を自動的に試行します。デフォルトのセッション再開タイムアウトは 20 分ですが、このタイムアウトはネットワーク管理者が変更できます。

ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)

登録コードと、どのリージョンに WorkSpace があるかを確認できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションで現在の登録コードを保存するかどうかを指定できます。また、WorkSpace に名前を割り当てることができます。さらに Amazon WorkSpaces を終了するか、ログイン期間が期限切れになるまで WorkSpace へのログイン状態を保つかどうかを指定することもできます。

WorkSpace のログイン情報を管理するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定) の [Manage Login Information] (ログイン情報を管理) に移動します。

2. [ログイン情報を管理] ダイアログボックスで、WorkSpace の登録コードとリージョン情報を確認できます。
3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、[登録コードの記憶] チェックボックスをオンにします。
4. [保存された登録コード] で、名前を付ける WorkSpace を選択します。
5. [WorkSpace 名] ボックスに、WorkSpace の名前を入力します。
6. (オプション) WorkSpaces を終了するか、ログイン期間が期限切れになるまで、ログイン状態を保つ場合は、[ログイン状態を保つ] チェックボックスをオンにします。
7. [Save] (保存) を選択します。

クライアントビュー

クライアントアプリケーションメニューで [表示]、[全画面表示にする] (3.0 以降のクライアント) の順に選択すると、全画面表示モードに切り替えることができます。

全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クライアントアプリケーションメニューが表示されたら、クライアントアプリケーションメニューで [表示]、[全画面表示の終了] (3.0 以降のクライアント) の順に選択します。

Command+Option+Return キーを押して全画面表示モードを切り替えることもできます。

クライアントの言語

次の手順を実行することによって、クライアントで表示される言語を選択できます。

> **Note**
>
> WorkSpaces クライアントアプリケーションは日本語をサポートしています。ただし、日本語の WorkSpaces はアジアパシフィック (東京) リージョンでのみ利用できます。

クライアントの言語を選択するには

1. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定)、[Change Language] (言語を変更) の順に選択します。

2. [言語の選択] リストで目的の言語を入力し、[保存] を選択します。
3. クライアントを再起動します。

ディスプレイのサポート

WorkSpaces の Value、Standard、Performance、Power、PowerPro、GraphicsPro の各バンドルは、最大 4 つのディスプレイと最大解像度 3840x2160 (超高精細 (UHD)) をサポートします。サポートされる最大解像度は、次の表に示すとおり、ディスプレイの数によって異なります。

ディスプレイ	解像度
2	3840x2160
4	1920x1200

> **Note**
>
> - ディスプレイは拡張のみ可能です。ディスプレイを複製することはできません。ディスプレイを複製すると、セッションが切断されます。
> - Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、セッションを開始する前に、すべての接続されているディスプレイの拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を抽出し、最適な互換性の一致を判断します。高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイを使用している場合、クライアントアプリケーションはローカルの DPI 設定に従ってストリーミングウィンドウを自動的にスケーリングします。高 DPI ディスプレイのより適した最大解像度については、WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする を参照してください。

> **Note**
>
> WorkSpaces の画面解像度が低く、オブジェクトがぼやけて見える場合は、Mac で高 DPI モードをオンにし、ディスプレイのスケーリング設定を調整する必要があります。詳細については、「WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする」を参照してください

WorkSpaces でマルチモニターを使用するには

1. マルチモニターを使用するようにローカルマシンを設定します。詳細については、Apple のドキュメントの「Mac で 1 台以上の外部ディスプレイを接続する」を参照してください。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、WorkSpace にログインします。
3. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[表示]、[すべてのディスプレイで全画面表示にする] の順に選択します。Command+Option+Return キーを押して全画面表示モードを切り替えることもできます。

これで、WorkSpace がディスプレイ全体に拡張されます。プライマリディスプレイとして指定したディスプレイは、全画面表示モードにした場合でも WorkSpaces のプライマリディスプレイです。

> **Note**
>
> マルチモニター設定の一部のディスプレイでのみ全画面表示モードを使用するには、Option キーを押したまま、WorkSpaces ウィンドウの左上にある緑の最大化ボタン
>
> をクリックします。このボタンをクリックすると、WorkSpaces クライアントウィンドウが画面上で最大サイズに拡大されます。他のディスプレイには WorkSpace が拡張されません。前のウィンドウサイズに戻すには、option キーを押したまま、最大化ボタンをもう一度クリックします。

プロキシサーバー

ネットワークでインターネットにアクセスするためにプロキシサーバーを使用する必要がある場合は、HTTPS (ポート 443) トラフィックにプロキシを使用することを WorkSpaces クライアントアプリケーションに許可できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、更新、登録、認証に HTTPS ポートを使用します。

> **Note**
>
> - WorkSpace へのデスクトップストリーミング接続では、ポート 4172 と 4195 を有効にする必要があり、プロキシサーバーを経由しません。
> - サインイン認証情報を使用した認証を必要とするプロキシサーバーはサポートされていません。

3.0 以降のクライアントでプロキシサーバーを使用するには

3.0 以降の macOS クライアントのデフォルトでは、デバイスのオペレーティングシステム設定で指定されているプロキシサーバーが使用されます。クライアントが初めて起動されると、デバイスのオペレーティングシステムのプロキシサーバー設定が使用されます。プロキシサーバーに対して別のオプションを選択した場合、その設定がクライアントのその後の起動に使用されます。

> **Note**
>
> カスタムプロキシサーバーを指定した場合、WorkSpace にログインを試みた際に「ネットワークがありません (No network)」というエラーが表示されることがあります。この問題を回避するには、macOS クライアントからカスタムプロキシサーバーを指定せずに、オペレーティングシステムのデフォルトのプロキシサーバーを使用します。

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定)、[Manage Proxy Server] (プロキシサーバーを管理) の順に選択します。
2. [Set Proxy] (プロキシの設定) ダイアログボックスで、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択し、プロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力して、[Save] (保存) を選択します。

コマンドショートカット

WorkSpaces macOS クライアントは、次のコマンドショートカットをサポートしています。

使用しているクライアント	使用するショートカット
3.0 以降のクライアント	Command+Q—Amazon WorkSpaces を終了する Command+Option+Return — 全画面表示の切り替え Command+Option+F12 — セッションの切断

Windows ロゴキーまたはコマンドキーを再マッピングする

Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを使用している場合、デフォルトでは、Windows キーボードの Windows ロゴキーと Apple キーボードのコマンドキーの両方が Ctrl キーにマッピングされます。この動作を変更して、これら 2 つのキーを Windows WorkSpaces 用の Windows ロゴキーにマッピングするには、次の手順に従います。

Windows ロゴキーまたはコマンドキーを Windows ロゴキーにマッピングするには

1. Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションのバージョン 3.0.5 以降をインストールまたは更新します (まだインストールまたは更新していない場合)。
2. Finder で [アプリケーション] フォルダを開きます。次に [ユーティリティ] を開いて [ターミナル] を選択します。
3. [ターミナル] ウィンドウで、次のコマンドを入力し、Return キーを押します。

```
defaults write "com.amazon.Amazon WorkSpaces Client" remap_cmd_to_ctrl 0
```

4. [ターミナル] アプリで、[ターミナル]、[ターミナルを終了] の順に選択します。
5. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションが実行中の場合は、クライアントで [Amazon WorkSpaces]、[Quit Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces を終了) の順に選択してクライアントアプリケーションを閉じます。

6. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを再起動し、WorkSpace にログインします。これで Windows ロゴキーまたはコマンドキーが Windows ロゴキーにマッピングされます。

切断

macOS クライアントアプリケーションを切断するには、いくつかのオプションがあります。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Disconnect WorkSpace] (WorkSpace を切断) を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、セッションの終了を選択します。

  セッションを終了すると、開いているドキュメントを保存するように求められます。プロンプトでセッションの終了を選択すると、WorkSpaces クライアントユーザーセッションから切断されます。

  > **Note**
  >
  > このオプションは WorkSpaces Pools でのみ使用できます。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Quit Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces を終了) を選択します。WorkSpace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、左上にある赤い閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。これによりセッションが切断され、アプリケーションのホームページに戻ります。
- WorkSpace からログオフすることもできます。Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[View] (表示) に移動し、[Send Ctrl+Alt+Delete] (Ctrl+Alt+Delete で送信) を選択します。[サインアウト] を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、20 MB の非圧縮オブジェクトの最大サイズをサポートします。詳細については、「the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”」を参照してください。

> **Note**
>
> Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなることがあります。

診断ログのアップロード

診断ログのアップロードを有効にする

WorkSpaces クライアントで問題が発生した場合にトラブルシューティングするため、診断ログを有効にすることができます。WorkSpaces に送信されるログファイルには、デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報が含まれています。WorkSpace ストリーミングセッション前またはセッション中に診断ログのアップロードを有効にすると、これらのファイルを自動的に WorkSpace に送信できます。

ログファイルを送信するには

> **Note**
>
> WorkSpaces ストリーミングセッション前とセッション中にログファイルを送信できます。

1. Amazon WorkSpaces クライアントを開きます。
2. WorkSpaces サインインページの上部で、[Manage Diagnostic Logging Settings] (診断ログの設定管理) を選択します。
3. ポップアップダイアログボックスで、[Enable Diagnostic Logging for Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces の診断ログを有効にする) を選択し、[Save] (保存) をクリックします。

> **Important**
>
> AWS サポートに問題を報告する際は、問題が発生しているクライアントのデバイス ID を必ず追跡してください。このデバイス ID は、WorkSpaces クライアントのナビゲーションバーにある [Diagnostics logging] (診断ログ) メニューに表示され、サポートチー

ムが特定のデバイスに関連するログを特定するのに役立ちます。当該の問題に関して作成するチケットには、必ずデバイス ID を含めてください。

リリースノート

クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
5.27.0	2025 年 4 月 30 日	• DCV SDK を更新しました。 • PCoIP SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.26.2	2025 年 4 月 1 日	バグの修正と機能強化。
5.26.0	2025 年 3 月 4 日	• DCV SDK を更新しました。 • .NET SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.25.0	2024 年 12 月 19 日	バグの修正と機能強化。
5.24.0	2024 年 11 月 22 日	• WorkSpace のロード中に予想される時間をユーザーがよりよく理解できるように、進行状況バーを追加しました。 • アイドル状態のユーザーに、非アクティブが原因で DCV WorkSpaces から切断されることを警告する通知を追加しました。 • DCV SDK を更新しました。 • RestSharp ライブラリを更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.23.1	2024 年 10 月 17 日	バグの修正と機能強化。
5.23.0	2024 年 9 月 30 日	• WSP プロトコルという名前を Amazon DCV プロトコルに変更しました。

リリース	日付	変更
		• TCP および UDP プロトコルのポート 443 経由のストリーミングについて DCV WorkSpaces でのサポートが追加されました。 • .NET SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.22.1	2024 年 9 月 3 日	バグの修正と機能強化。
5.22.0	2024 年 8 月 16 日	DCV SDK を更新しました。
5.21.0	2024 年 7 月 3 日	バグの修正と機能強化。
5.20.0	2024 年 6 月 13 日	• PCoIP SDK を更新しました。 • DCV SDK を更新しました。 • ソフトウェアフレームワークを .NET 8 LTS に移行しました。 • システムが更新され、macOS 12 以降が必須となりました。
5.19.3	2024 年 4 月 30 日	接続時にユーザーが DCV WorkSpaces からすぐに切断される問題を修正しました。
5.19.0	2024 年 2 月 28 日	• セッション内認証の WebAuthn のサポートが追加されました。 • DCV WorkSpaces の白い画面の問題を解決しました。 • DCV WorkSpaces のピクセル化の問題を修正しました。 • DCV WorkSpaces のクラッシュの問題を解決しました。 • DCV SDK を更新しました。

リリース	日付	変更
5.18.0	2024 年 1 月 22 日	• PCoIP SDK を更新しました。 • DCV SDK を更新しました。 • macOS 14 (Sonoma) のサポートが追加されました。 • 画面のロックを解除した後の最初のキーストロークが送信されないというキーボードの問題を修正しました。
5.17.0	2023 年 11 月 16 日	• macOS Ventura でのカスタムプロキシエラーによるログインの問題を修正しました。 • DCV クライアントでオプションキーの動作設定のサポートが追加されました。 • ユーザーが実行モードを変更したときにクライアントがクラッシュする問題を修正しました。 • DCV クライアントでスマートカードを使用したときに画面がフリーズする問題を修正しました。 • DCV クライアントでのサイズ変更時の安定性が向上しました。 • 視覚的なアクセシビリティを改善しました。
5.16.0	2023 年 10 月 26 日	• 視覚的なアクセシビリティを改善しました。 • DCV SDK を更新しました。
5.15.1	2023 年 9 月 20 日	• DCV WorkSpace の高速再接続後にウェブカメラの永続的な接続を有効にしました。 • プロキシサーバーを使用する場合の DCV WorkSpaces の接続に関する問題を修正しました。 • DCV SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。

リリース	日付	変更
5.12.0	2023 年 8 月 29 日	• PCoIP SDK と DCV SDK が更新されました。 • ログインページの特殊文字処理に関する問題を解決しました。 • [サポート] メニューに Amazon WorkSpaces ユーザーガイドへのリンクを追加しました。
5.11.0	2023 年 6 月 29 日	Ctrl + 左クリックを右クリックとして有効または無効にし、Command キーを Ctrl キーへのマッピングを有効または無効にするオプションが追加されました 両方のオプションにアクセスするには、メニューバーから [設定]、[修飾キーを管理] を選択します。
5.10.0	2023 年 6 月 19 日	• プロビジョニングされた WorkSpaces と同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善しました。 • Ubuntu WorkSpaces で複数のモニターを使用するときの黒い画面の問題が解決されました • プロキシサーバー経由で WorkSpaces に接続したときにプロキシ設定が保持されないという、クライアント診断ログのアップロードに関する問題を修正しました • DCV 拡張機能 SDK のサポートが追加され、エンドユーザーが DCV WorkSpaces のエクスペリエンスをカスタマイズできるようになりました。
5.9.0	2023 年 5 月 9 日	DCV SDK を更新して再生音量の問題を修正しました。

リリース	日付	変更
5.8.0	2023 年 4 月 6 日	• アクセシビリティを改善しました。 • 診断ログの自動アップロード機能のサポートを追加しました。これにより、WorkSpaces クライアントの使用を中断することなく WorkSpaces クライアントのログファイルを直接 WorkSpaces にアップロードして、問題のトラブルシューティングを行うことができます。 • DCV v2 SDK を更新して、InSessionLatency レポートを修正しました。
5.7.0	2023 年 2 月 23 日	• DCV SDK を更新しました。 • サインイン認証情報の先頭または末尾の許可リストのトリミングを有効にしました。
5.6.0	2022 年 12 月 27 日	• SAML 2.0 統合による証明書ベースの認証のサポートを追加しました。これにより、Active Directory ドメインパスワードのログオンプロンプトが表示されなくなります。 • Workspace アプリケーションウィンドウを最大化すると、Workspace メニューバーにアクセスできなくなる問題を解決しました。 • WorkSpaces macOS クライアント用の PCoIP SDK を更新しました。
5.5.0	2022 年 11 月 14 日	DCV クライアント SDK を更新しました。
5.4.0	2022 年 11 月 10 日	WorkSpaces を切断するためのショートカット Command+Alt+F12 を追加しました。
5.3.0	2022 年 9 月 15 日	バグの修正と機能強化。
5.2.0	2022 年 8 月 24 日	スマートカードを使用する際の WorkSpaces ログインの問題を修正しました。

リリース	日付	変更
5.1.0	2022 年 6 月 30 日	MacOS 用の更新された PCoIP SDK。
4.0.7	2022 年 3 月 3 日	MacBook のプロキシ設定が原因で発生した WorkSpaces 接続エラーを修正しました。
4.0.6	2021 年 12 月 21 日	• DCV のビデオストリーミングに関連するクラッシュとブラックスクリーンの問題を解決しました。 • DCV バージョン 1.9.8.18175 にアップデートしました。
4.0.5	2021 年 11 月 23 日	• DCV WorkSpaces の帯域幅とフレームレートを最適化しました。 • 全画面モードに関連するショートカットマッピングの問題を解決しました。
4.0.4	2021 年 11 月 3 日	• PCoIP WorkSpaces を使用した macOS Big Sur のログイン画面でのスピニングホイールの問題を解決する • DCV に対応する WorkSpaces のビデオストリーミングを改善しました。 • バグ修正
4.0.3	2021 年 10 月 4 日	バグの修正と機能強化。
4.0.2	2021 年 9 月 8 日	軽微なバグの修正と機能強化。
4.0.1	2021 年 8 月 5 日	軽微なバグの修正と機能強化。
3.1.9	2021 年 6 月 29 日	軽微なバグの修正と機能強化。
3.1.8	2021 年 5 月 28 日	• PCoIP WorkSpaces から切断した後のクラッシュの問題に対処 • M1 Mac ハードウェア上の DCV WorkSpaces の接続に関する問題に対処 • 軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.1.7	2021 年 4 月 29 日	• DCV を使用する WorkSpaces との接続を改善 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.6	2021 年 4 月 8 日	DCV オーディオトラフィック最適化が原因で発生する切断とクラッシュを修正
3.1.5	2021 年 4 月 2 日	• Common Access Card (CAC) および Personal Identity Verification (PIV) スマートカードによる DCV Windows WorkSpaces でのセッション中/セッション前認証のサポートを追加 • DCV を使用する Windows WorkSpaces で双方向ビデオウェブカメラのサポートを一般提供 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.4	2021 年 3 月 16 日	• ユーザーが登録、ログイン、再構築する際に発生する一部のクラッシュの問題を修正 • UI 要素に対応するローカライゼーションを追加サポート • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.3	2021 年 2 月 15 日	• マウスの中央ボタンのドラッグのサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.2	2021 年 1 月 8 日	• DCV を一般公開。ビデオ入力機能は DCV WorkSpaces でのみベータ機能として引き続き利用可能 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.0	2020 年 12 月 1 日	軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.12	2020 年 11 月 10 日	• セッションの再接続エクスペリエンスに機能強化を追加 • DCV WorkSpaces のセッション切断時のエラーメッセージを改善 • DCV WorkSpaces の Shift キーに関するキーボードマッピングの問題を修正 • DCV WorkSpaces のその後のログイン時にビデオ入力デバイスが表示されないというデバイス列挙ロジックの問題を修正
3.0.11	2020 年 10 月 2 日	• DCV WorkSpace から切断するときに断続的にクラッシュが発生する問題を解決 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.10	2020 年 9 月 16 日	ポート 4195 (UDP および TCP) を介したヘルスチェックのサポートを追加
3.0.9	2020 年 8 月 14 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.8	2020 年 7 月 30 日	• 診断を改善するために、往復時間 (RTT) をネットワークヘルスチェック情報の一部として表示 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.7	2020 年 6 月 3 日	• DCV WorkSpaces でマルチモニターのサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.6	2020 年 4 月 28 日	• 高 DPI ディスプレイと標準 DPI ディスプレイの切り替えのサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.5	2020 年 3 月 30 日	• Amazon WorkDocs でシングルサインオン (SSO) が有効になっている場合、ユーザーインターフェイスにログインプロンプトが表示されるという問題を解決 • Windows ロゴキーへのコマンドキーのマッピングのサポートを追加
3.0.4	2020 年 3 月 3 日	• DCV WorkSpaces への接続のサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.3	2020 年 2 月 24 日	高 DPI デバイスでの読みやすさを向上
3.0.2	2020 年 2 月 14 日	• 全画面表示を切り替えるためのキーボードショートカットを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.0	2019 年 11 月 25 日	• ユーザーインターフェイスを改善 • わかりやすい登録コードラベル • クライアント側の GPU レンダリング • 軽微なバグの修正と機能強化
2.5.11	2019 年 11 月 4 日	• macOS Catalina キーボードのサポートに関する問題を解決 • 軽微なバグを修正
2.5.9		軽微なバグを修正
2.5.8		• ノートパソコンの蓋を開けたときにコンピュータがスリープ状態になることで断続的にクラッシュする問題を解決

リリース	日付	変更
2.5.7		• Linux WorkSpaces でのドイツ語のキーボードレイアウトのサポートを追加 • クリップボードのリダイレクトに伴って Excel がクラッシュする問題を解決
2.5.6		軽微な修正
2.5.5		• USB-Cを使用して全画面表示モードの外付けディスプレイを接続した場合の解像度が最適でない問題を解決 • 軽微なバグを修正
2.5.2		• マルチモニターを使用していて、Amazon Linux 2 が実行されている WorkSpaces にクライアントが接続されている場合にクラッシュする問題を解決 • Caps Lock キーが正常に機能しなくなる断続的な問題を解決 • 軽微なバグを修正
2.5.1		• Amazon Linux 2 を実行している WorkSpaces で定期的にキー入力が繰り返される問題を解決 • ユーザーインターフェイスで日時形式のローカライズのサポートを追加 • 余分な「/」で終わる URI の処理を追加 • ユーザーインタフェースの軽微な改善
2.5.0		ユーザーのセルフサービスによる WorkSpace 管理機能のサポートを追加
2.4.10		軽微な修正
2.4.9		軽微な修正

リリース	日付	変更
2.4.8		• ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加 • macOS でのファンクション (Fn) キーの動作を改善 • プロトコル処理を改善 • 軽微な修正
2.4.7		• タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis • ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.6		• デバッグシナリオ用の詳細なログ記録を含めるようにログ記録レベルを設定するサポートを追加 • セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善 • キーボード接続のエラー処理を強化
2.4.4		• 軽微な修正 • コピーと貼り付けを改善
2.4.2		軽微な修正
2.4.0		• 新しいロゴ • ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.3.7		• ディスプレイの向きを変えた場合に発生するグレー画面の問題に対処 • macOS でのクラッシュ問題を解決
2.3.6		ローカライズの強化

リリース	日付	変更
2.3.5		軽微な改善
2.3.3		• マルチモニターのサポートを改善 • ローカライズの強化 • セキュリティとパフォーマンスを改善
2.3.1		軽微な修正
2.3.0		• マルチモニターのサポートを改善 • セキュリティと安定性を改善
2.2.3		軽微なバグを解決し、安定性を改善
2.2.1		• ドイツ語のサポートを追加 • 一部のリージョンにおけるタイムゾーンのマッピングに関する問題を解決 • ロシア語のシステムでの接続問題を解決 • 日本語ユーザーインターフェイスを改善 • 安定性を改善
2.1.4		macOS Sierra でのクラッシュ問題を解決
2.1.3		クライアントを閉じると、再接続トークンの有効期限が切れます。クライアントが実行されていれば、WorkSpace に簡単に再接続できます。
2.1.0		• WorkSpace の新しい状態として STOPPING と STOPPED のサポートを追加 • 軽微なバグを解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
2.0.8		• アプリ外キーボードの入力を WorkSpaces に渡す際に発生する問題を解決 • [このアカウントを記憶する] が無効になっている場合、再起動時にユーザー名が表示されない • 登録コードの削除時の確認ダイアログボックスを追加 • 安定性を改善
2.0.4		• 電話をかけたりウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加 • 高 DPI 画面を持つデバイスのサポートを追加 • 登録コードを再入力せずに WorkSpaces を切り替えることができるように、登録コードの保存のサポートを追加 • OS X El Capitan のサポートを改善 • 使いやすさと安定性を改善
1.1.80		• セッションレイテンシー、セッション起動時間、セッション切断に関する CloudWatch メトリクスを追加 • ネットワーク状態が低下したときに中断される回数を減らすためにセッションの自動再開を改善 • 特定の問題を解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
1.1.6		• ステータス通知のサポートを追加。WorkSpace に接続できない場合、クライアントアプリケーションは WorkSpace の状態を通知します。 • 再接続エクスペリエンスを改善。クライアントは、非アクティブ状態が 10 時間続くと、ログイン画面に自動的にリダイレクトされます。クライアントが再接続を使用してセッションを開始できなかった場合に、再接続できます。 • セッションの自動再開のサポートを追加しました。ネットワーク接続が失われた後、セッション再開タイムアウト (デフォルト値は 20 分) 以内に回復すると、クライアントアプリケーションは自動的にセッションを再開しようとします。 • ネットワークのヘルスチェックを改善し、迅速性と信頼性を向上 • クライアント側による登録コードの検証を追加 • ローカルデバイスと WorkSpace との間の Caps Lock ステータスと Num Lock ステータスの同期を改善
1.1.4		• WorkSpace に簡単に再接続できるように、認証情報の保存のサポートを追加 • 接続の詳細なヘルスチェックを改善 • 安定性を改善
1.0.8		• フルファイルインストールパッケージを導入 • ネットワーク接続チェックを改善 • バージョン情報を [バージョン情報] ウィンドウに追加

リリース	日付	変更
1.0		初回リリース

WorkSpaces PCoIP ゼロクライアント

PCoIP ゼロクライアントデバイスをセットアップし、WorkSpaces で使用できます。

要件

WorkSpaces で PCoIP ゼロクライアントを使用するには、以下が必要です。

- PCoIP ゼロクライアントには、PCoIP プロトコルを使用する WorkSpaces とのみ互換性があります。
- Tera2 ゼロクライアントデバイスには、ファームウェアバージョン 6.0.0 以降が必要です。Tera2 ゼロクライアントデバイスのファームウェアバージョンが 4.6.0 ~ 6.0.0 の場合、WorkSpaces 管理者は https://www.teradici.com/products/zero-clients#buy の Desktop Access サブスクリプションを使用してデバイスのファームウェアをアップグレードする必要があります。
- WorkSpaces の Multi-Factor Authentication (MFA) には、ファームウェアバージョン 6.0.0 以降の Tera2 ゼロクライアントデバイスが必要です。
- WorkSpaces 管理者は、USB プリンターやその他の USB 周辺機器を使用するために、ゼロクライアントデバイスを有効にする必要がある場合があります。USB プリンターまたはその他の USB 周辺機器の使用に問題がある場合は、WorkSpaces 管理者に問い合わせてください。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理ガイドの USB プリンターとその他の USB 周辺機器が PCoIP ゼロクライアントで動作しないを参照してください。

承認された PCoIP ゼロクライアントデバイスのリストについては、Teradici ウェブサイトの「PCoIP Zero Clients」をご参照ください。

WorkSpace に接続します。

ゼロクライアントデバイスのファームウェアバージョンが 6.0.0 以降の場合は、WorkSpace に接続できます。ファームウェアバージョンが 4.6.0 ~ 6.0.0 のゼロクライアントデバイスをご使用の場合には、WorkSpaces 管理者が https://www.teradici.com/desktop-access から Desktop Access サブスクリプションを使用して、デバイスのファームウェアをアップグレードする必要があります。

WorkSpace に接続するには

1. PCoIP ゼロクライアントデバイスで、[Options] (オプション)、[Configuration] (設定)、[Session] (セッション)、[OSD: WorkSpaces Session Settings] (OSD: WorkSpaces セッション設定) 接続タイプの順に選択します。
2. 確認 メールに記載されている登録コードを入力します。
3. 登録した WorkSpace に該当する名前を入力します。
4. [接続] を選択します。

ゼロクライアントから切断する

WorkSpace クライアントからゼロクライアントを切断するには、Ctrl+Alt+F12 を押します。または、WorkSpace をログオフした場合も、クライアントから切断されます。

WorkSpaces Web Access

ユーザーは、ウェブブラウザを使用してどこからでも Windows WorkSpaces と DCV Linux WorkSpaces にアクセスできます。クライアントアプリケーションのインストールやメンテナンスは難しいため、これは個人所有のデバイスまたはロックされたデバイスから WorkSpaces にアクセスするユーザーに最適です。従来のリモートアクセスソリューションを使用して適切なクライアントアプリケーションをインストールする代わりに、ユーザーはウェブサイトを経由して職場のリソースにアクセスできます。

制限

- 最高のストリーミング品質とユーザーエクスペリエンスを実現するために、DCV WorkSpaces で Web Access を使用することを強くお勧めします。PCoIP WorkSpaces で Web Access を使用する場合、次のような制限があります。
  - PCoIP によるウェブアクセスは AWS GovCloud (US) Regions、、アジアパシフィック (ムンバイ) 、アフリカ (ケープタウン) 、イスラエル (テルアビブ) ではサポートされていません。
  - PCoIP による Web Access は、Windows WorkSpaces でのみサポートされ、Amazon Linux WorkSpaces ではサポートされません。
  - Web Access は、PCoIP プロトコルを使用する一部の Windows 10 WorkSpaces では使用できません。PCoIP WorkSpaces が Windows Server 2019 または 2022 を搭載している場合、Web Access は使用できません。
- ウェブブラウザを使用して GPU 対応の WorkSpaces に接続することはできません。

- VPN で macOS を使用し、Firefox ウェブブラウザを使用している場合、このウェブブラウザでは WorkSpaces Web Access を使用した PCoIP ワークスペースのストリーミングはサポートされません。これは Firefox の WebRTC プロトコル実装における制限によるものです。
- 2020 年 10 月 1 日以降、Amazon WorkSpaces Web Access クライアントを使用して Windows 7 カスタム WorkSpaces または Windows 7 Bring-Your-Own-License (BYOL) WorkSpaces に接続することはできなくなっています。

内容

- ウェブサイト
- 要件
- クライアントビュー
- プロキシサーバー
- DCV 用に設定された WorkSpaces の機能
- 診断ログのアップロードを有効にする

ウェブサイト

WorkSpaces Web Access を開き、ウェブブラウザから Windows WorkSpace にログオンします。WorkSpaces が AWS GovCloud (US) Regionにある場合は、WorkSpaces Web Access を開いて WorkSpaces に接続します。

要件

Windows 10 デスクトップエクスペリエンスと次のいずれかのバンドルを実行することで、WorkSpace にアクセスできます。

- Value
- Standard
- Performance
- Power
- PowerPro

ウェブ接続が必要です。

> **Note**
>
> AWS GovCloud (US) Regionでは、Web Access を使用して DCV WorkSpaces に接続できます。 AWS GovCloud (US) Regionでは、Web Access を介して PCoIP WorkSpaces に接続することはサポートされていません。

管理者は WorkSpaces Web Access を有効にする必要があります。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理ガイドの Amazon WorkSpaces Web Access を有効にして設定するを参照してください。

PCoIP に対応した WorkSpaces

Windows、macOS、Linux コンピュータで、次のいずれかのウェブブラウザ実行している必要があります。

- Google Chrome 55 以降
- Firefox 52 以降

DCV に対応した WorkSpaces

Windows、macOS、Linux コンピュータで、次のいずれかのウェブブラウザ実行している必要があります。

- Microsoft Edge (最新の 3 つのメジャーバージョン)
- Google Chrome (最新の 3 つのメジャーバージョン)
- Mozilla Firefox (最新の 3 つのメジャーバージョン)
- macOS 版 Apple Safari (最新の 3 つのメジャーバージョン)

クライアントビュー

WorkSpaces Web Access は、複数の画面解像度をサポートします。サポートされる最小解像度は 960x720 ピクセルで、サポートされる最大解像度は 2560x1600 ピクセルです。

DCV 用に設定された WorkSpaces のみが複数のモニターをサポートします。詳細については、「複数画面の使用」を参照してください。

プロキシサーバー

プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセスする必要がある場合は、プロキシサーバーを使用するようにブラウザを設定できます。

制限

- 認証を伴うプロキシは現在サポートされていません。
- ウェブアクセスのプロキシサーバーのサポートはブラウザによって異なる場合があります。Chrome (バージョン 55 以降) は、ウェブプロキシ経由でルーティングされるウェブアクセストラフィックをサポートしますが、現在の Firefox はサポートしていません。
- DCV 用に設定された WorkSpaces は、ウェブブラウザのプロキシ設定を使用します。

DCV 用に設定された WorkSpaces の機能

以下の機能は、DCV 用に設定された WorkSpaces にのみ適用されます。

コピーと貼り付け

ウェブブラウザクライアントを使用して、ローカルコンピュータと WorkSpaces セッションの間でテキストとイメージをコピーして貼り付けることができます。Google Chrome と Microsoft Edge では、キーボードショートカットとコンテキスト (右クリック) メニューを使用してテキストとイメージをコピーして貼り付けます。Mozilla Firefox と Apple Safari では、イメージのコピーと貼り付けをサポートしていません。また、テキストのコピーと貼り付けにはクリップボードダイアログを使用する必要があります。

ウェブカメラの使用

ウェブカメラ機能は、Google Chrome や Microsoft Edge などの Chromium ベースのブラウザでのみサポートされています。Mozilla Firefox ではサポートされていません。

使用するカメラを選択する手順は、サポートされているすべてのウェブブラウザで同じです。

使用するウェブカメラを選択する方法

1. クライアントで、[Workspaces Name] (Workspaces 名) メニューを選択し、[Preferences] (設定) を選択します。
2. [Camera] (カメラ) タブを選択し、使用するカメラを選択します。

3. [Preferences] (設定) モーダルを閉じます。

次の点に注意してください:

- [Camera] (カメラ) メニューの項目は、管理者がセッションでのウェブカメラの使用を許可している場合にのみ表示されます。
- ウェブカメラの使用中は、ウェブカメラの選択を変更することはできません。

セッションでウェブカメラを使用する

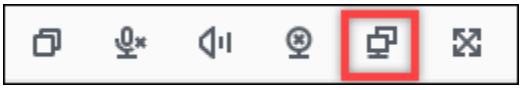
セッションで使用するウェブカメラを有効または無効にするには、次の例に示すように、クライアントでウェブカメラボタンを選択します。ウェブカメラボタンは、ユーザーがウェブカメラの使用を許可されていて、少なくとも 1 つのウェブカメラがローカルコンピュータに接続されている場合にのみツールバーに表示されます。

次の表に、ウェブカメラの各状態を示します。

アイコン	説明
	ウェブカメラは無効になっています。このボタンを選択すると、ウェブカメラは有効になります。使用するウェブカメラを事前に選択していない場合は、デフォルトのウェブカメラが使用されます。
	ウェブカメラは有効になっていますが、使用されていません。このボタンを選択すると、ウェブカメラは無効になります。
	ウェブカメラは、リモートアプリケーションにより、WorkSpaces セッションで使用されています。このアイコンを選択すると、ウェブカメラは無効になります。

複数画面の使用

複数の画面を使用するには、次の例に示すように、クライアントでマルチスクリーンボタンを選択します。複数の画面は、最大 2 台のモニターでサポートされます。



診断ログのアップロードを有効にする

WorkSpaces クライアントで問題が発生した場合にトラブルシューティングするため、診断ログを有効にすることができます。WorkSpaces に送信されるログファイルには、デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報が含まれます。WorkSpace ストリーミングセッションの前またはセッション中に診断ログのアップロードを有効にすると、これらのファイルを自動的に WorkSpace クライアントに送信できます。

ログファイルを送信するには

1. Amazon WorkSpaces Web Access クライアントを開きます。
2. WorkSpaces サインインページの上部で、[診断ログ] を選択します。
3. ダイアログボックスで、[診断ログ] が有効になっていることを確認します。
4. (オプション) デバッグレベルの詳細と、詳細なパフォーマンスデータを生成するには、[高度なログ記録] を選択します。

WorkSpaces Windows クライアントアプリケーション

WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションの使用を開始する際に、以下の情報が役立ちます。

内容

- 要件
- セットアップとインストール
- クライアントのバージョンを確認する
- WorkSpace に接続します。
- ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)
- クライアントビュー

- クライアントの言語
- ディスプレイのサポート
- プロキシサーバー
- コマンドショートカット
- 切断
- クリップボードのサポート
- ハードウェアアクセラレーションを管理する
- 診断ログのアップロード
- リリースノート

要件

- 4.x 以降のバージョンのクライアントには、64 ビット版の Microsoft Windows 8.1、Windows 10、Windows 11 のいずれかが必要です。
- 3.x クライアントには、32 ビット版の Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 10 のいずれかが必要です。
- クライアントバージョン 5.20.0 以降では、Windows 11 バージョン 22000 以降、または Windows 10 バージョン 1607 以降が必要です。

> **Note**
>
> DCV WorkSpaces は、Windows クライアントバージョン 5.1.0.329 以降でのみサポートされています。

セットアップとインストール

インストールされているクライアントのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

をインストールするには	この操作を行います
5.x クライアント	[Amazon WorkSpaces Client Downloads] (Amazon WorkSpaces クライアントのダウンロード) を開け、WorkSpaces Windows クライアントを

をインストールするには	この操作を行います
	見つけます。[Get the latest 64 bit client] (最新の64bitクライアントを入手する)で、[Download](ダウンロード) ボタンを選択します。
4.x クライアント	以前のバージョンを開ける WorkSpaces Windows クライアントのバージョンを確認するには、Download(ダウンロード) ボタンを使用します。
3.x クライアント	[Amazon WorkSpaces Client Downloads] (Amazon WorkSpaces クライアントのダウンロード) を開け、WorkSpaces Windows クライアントを見つけます。[Get the latest 32 bit client](最新の32 bitクライアントを入手する) で、[Download] (ダウンロード) ボタンを選択します。

Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションをインストールするには、次の 2 つの方法があります。

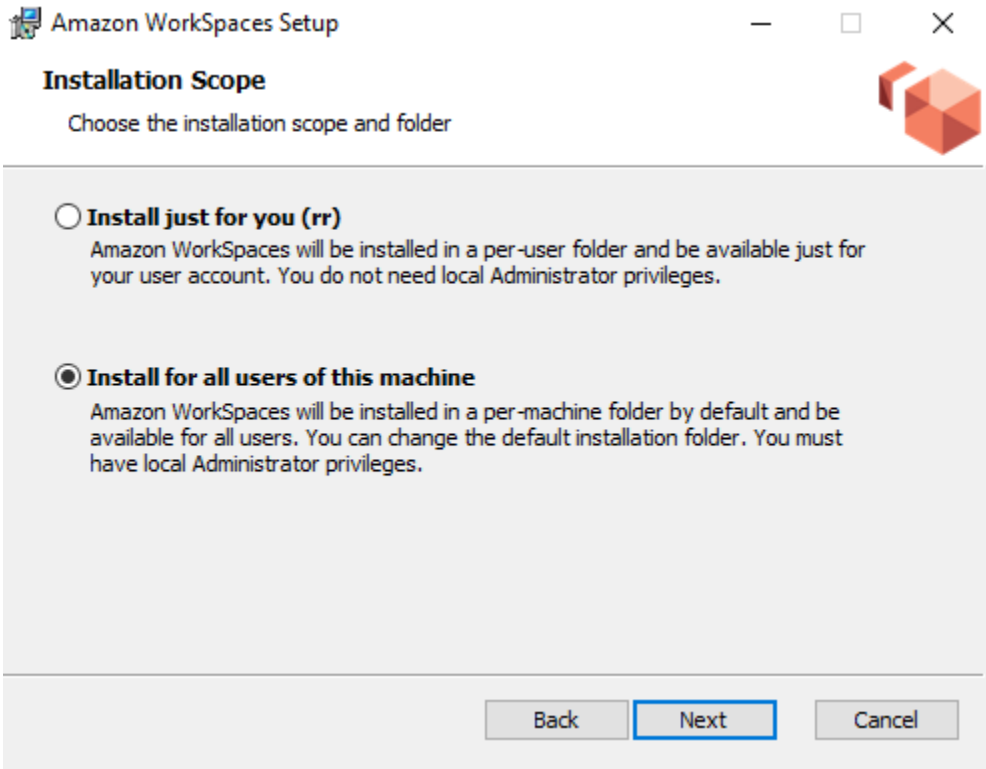
- 個人用にインストール。このオプションを選択して、ローカルマシンを他のユーザーと共有する場合、WorkSpaces クライアントアプリケーションは個人のみが使用できます。マシン上の他のユーザーも WorkSpaces クライアントアプリケーションを使用する場合は、各ユーザーが個別にアプリケーションをインストールする必要があります。
- このマシンのすべてのユーザー用にインストール。このオプションを選択すると、WorkSpaces クライアントアプリケーションは、ゲストアカウントを使用するユーザーも含めて、ローカルマシンにログオンしたすべてのユーザーが使用できます。

WorkSpaces クライアントアプリケーションをすべてのユーザー用にインストールするには、ローカルマシンに対する管理者権限が必要です。ローカルマシンの設定方法によっては、そのような権限がユーザーにない場合があります。その場合は、WorkSpaces クライアントアプリケーションを個人用にインストールできます。どちらのオプションを選択するかについて不明な点がある場合は、WorkSpaces 管理者に連絡してガイダンスを依頼してください。

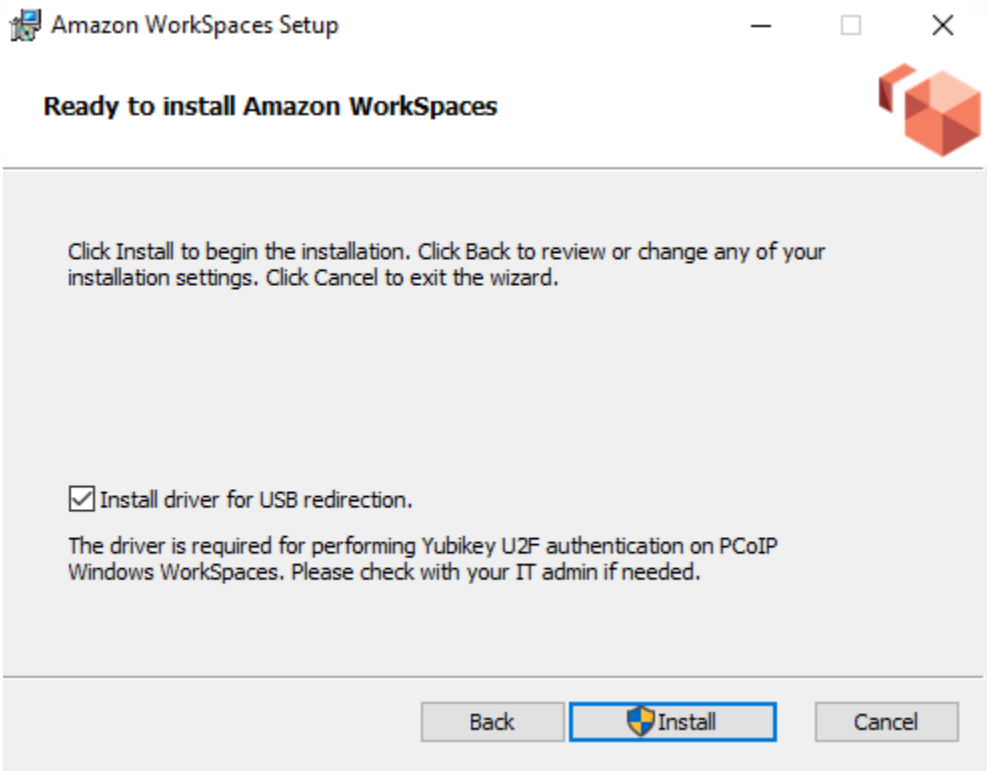
クライアント 4.0 バージョン以降をインストールする場合は、Yubikey の U2F リダイレクトサポートといった機能の USB リダイレクトドライバーをインストールするオプションがあります。以下の手順に従って USB リダイレクトドライバーをインストールします。

USB リダイレクトドライバーをインストールするには

1. [Amazon WorkSpaces Setup] (Amazon WorkSpaces の設定) ページで、[Install for all users of this machine] (このマシンのすべてのユーザー用にインストール) を選択します。[次へ] を選択します。



2. [Install driver for USB redirection] (USBリダイレクト用ドライバーをインストールする) を選択して、USBリダイレクトの機能を有効にします (デフォルト設定では選択されていません)。[インストール] を選択します。ドライバーをインストールするには管理者権限が必要です。



3. PCoIP USB リダイレクト機能のあるクライアントをインストールするには、昇格されたコマンドプロンプトで次のコマンドを入力して実行します。

```
msiexec.exe /i "[path to msi]" /qn INSTALL_USB="1" ALLUSERS="1"
```

PCoIP USB リダイレクト機能のないクライアントをインストールするには、昇格されたコマンドプロンプトで次のコマンドを入力して実行します。

```
msiexec.exe /i "[path to msi]" /qn ALLUSERS="1"
```

WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新できない場合は、次の手順に従ってクライアントアプリケーションを更新します。

WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新するには

1. ローカルマシンで、Windows の検索ボックスを開き、「**registry editor**」と入力してレジストリエディタ (regedit.exe) を開きます。
2. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と尋ねられたら、[はい] を選択します。

3. レジストリエディタで、次のレジストリエントリに移動します。

   Computer\HKEY_CURRENT_USER\Software\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces\WinSparkle

4. SkipThisVersion レジストリキーを削除します。削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] を選択し、レジストリエディタを閉じます。
5. WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションに登録コードをまだ入力していない場合は、登録コードを入力してから、[Amazon WorkSpaces]、[Quit Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces を終了) の順に選択してクライアントアプリケーションを閉じます。
6. WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを再起動します。クライアントを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。更新を承諾します。

クライアントのバージョンを確認する

使用している WorkSpaces クライアントのバージョンを確認するには、[Amazon WorkSpaces]、[About Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces について) を選択するか、右上の歯車アイコンをクリックして [About Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces について) を選択します。

WorkSpace に接続します。

WorkSpace に接続するには、次の手順を実行します。

3.0 以降のクライアントで WorkSpace に接続するには

1. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して接続先の WorkSpace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動し、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択します。
2. ログイン画面でサインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織の WorkSpaces の多要素認証を有効にしている場合、ログインを完了するにはパスコードが求められます。パスコードを取得する方法については、お客様の WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
3. WorkSpaces 管理者が [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) 機能を無効にしていない場合は、ログイン画面の下部にある [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) チェックボックスを

オンにして、認証情報を安全に保存できます。これにより、クライアントアプリケーションの実行中に WorkSpace に容易に接続できます。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

クライアントアプリケーションを WorkSpace に接続すると、WorkSpace デスクトップが表示されます。

インターネット接続が停止すると、現行のセッションは切断されます。これはノートパソコンの蓋を閉じた場合やワイヤレスネットワーク接続の喪失から発生する場合があります。Windows 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、ネットワーク接続がある程度の時間内に回復すればセッションを自動的に再接続するよう試みます。デフォルトのセッション再開タイムアウトは 20 分ですが、このタイムアウトはネットワーク管理者が変更できます。

ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)

登録コードと、どのリージョンに WorkSpace があるかを確認できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションで現在の登録コードを保存するかどうかを指定できます。また、WorkSpace に名前を割り当てることができます。さらに Amazon WorkSpaces を終了するか、ログイン期間が期限切れになるまで WorkSpace へのログイン状態を保つかどうかを指定することもできます。

WorkSpace のログイン情報を管理するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定) の [Manage Login Information] (ログイン情報を管理) に移動します。
2. [ログイン情報を管理] ダイアログボックスで、WorkSpace の登録コードとリージョン情報を確認できます。
3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、[登録コードの記憶] チェックボックスをオンにします。
4. [保存された登録コード] で、名前を付ける WorkSpace を選択します。
5. [WorkSpace 名] ボックスに、WorkSpace の名前を入力します。
6. (オプション) WorkSpaces を終了するか、ログイン期間が期限切れになるまで、ログイン状態を保つ場合は、[ログイン状態を保つ] チェックボックスをオンにします。
7. [Save] (保存) を選択します。

クライアントビュー

クライアントアプリケーションメニューで [表示]、[全画面表示にする] (3.0 以降のクライアント) の順に選択すると、全画面表示モードに切り替えることができます。

全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クライアントアプリケーションメニューが表示されたら、クライアントアプリケーションメニューで [表示]、[全画面表示の終了] (3.0 以降のクライアント) の順に選択します。

Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

クライアントの言語

次の手順を実行することによって、クライアントで表示される言語を選択できます。

> **Note**
>
> WorkSpaces クライアントアプリケーションは日本語をサポートしています。ただし、日本語の WorkSpaces はアジアパシフィック (東京) リージョンでのみ利用できます。

クライアントの言語を選択するには

1. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定)、[Change Language] (言語を変更) の順に選択します。

2. [言語の選択] リストで目的の言語を入力し、[保存] を選択します。
3. クライアントを再起動します。

ディスプレイのサポート

WorkSpaces
Value、Standard、Performance、Power、PowerPro、Graphics.g4dn、GraphicsPro.g4dn、GraphicsPro

の各バンドルは、最大 4 つのディスプレイと最大解像度 3840x2160 (超高精細 (UHD)) をサポートします。サポートされる最大解像度は、次の表に示すとおり、ディスプレイの数によって異なります。

ディスプレイ	解像度
2	3840x2160
4	1920x1200

> **Note**
>
> - ディスプレイは拡張のみ可能です。ディスプレイを複製することはできません。ディスプレイを複製すると、セッションが切断されます。
> - Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、セッションを開始する前に、すべての接続されているディスプレイの拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を抽出し、最適な互換性の一致を判断します。高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイを使用している場合、クライアントアプリケーションはローカルの DPI 設定に従ってストリーミングウィンドウを自動的にスケーリングします。高 DPI ディスプレイのより適した最大解像度については、WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする を参照してください。

WorkSpaces でマルチモニターを使用するには

1. マルチモニターを使用するようにローカルマシンを設定します。詳細については、Microsoft のドキュメントの「Windows 10 で複数のモニターを使用する方法」をご参照ください。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、WorkSpace にログインします。
3. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[表示]、[すべてのディスプレイで全画面表示にする] の順に選択します。Ctrl+Alt+Enter

使用しているクライアント	操作
	キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

これで、WorkSpace がディスプレイ全体に拡張されます。プライマリディスプレイとして指定したディスプレイは、全画面表示モードにした場合でも WorkSpaces のプライマリディスプレイです。

> **Note**
>
> マルチモニター設定で一部のディスプレイのみを全画面表示モードにすることはできません。ただし、Windows ロゴキー + 上矢印キーを押すか、WorkSpaces ウィンドウの右上にある最大化ボタンを使用すると、WorkSpace を他のディスプレイに拡張することなく、ディスプレイ上の WorkSpaces クライアントウィンドウを最大化できます。

プロキシサーバー

ネットワークでインターネットにアクセスするためにプロキシサーバーを使用する必要がある場合は、HTTPS (ポート 443) トラフィックにプロキシを使用することを WorkSpaces クライアントアプリケーションに許可できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、更新、登録、認証に HTTPS ポートを使用します。

> **Note**
>
> - WorkSpace へのデスクトップストリーミング接続では、ポート 4172 と 4195 を有効にする必要があり、プロキシサーバーを経由しません。
> - サインイン認証情報を使用した認証を必要とするプロキシサーバーはサポートされていません。

3.0 以降のクライアントのプロキシサーバーを制御するには

3.0 以降の Windows クライアントのデフォルトでは、デバイスのオペレーティングシステム設定で指定されたプロキシサーバーが使用されます。クライアントが初めて起動されると、デバイスのオペレーティングシステムのプロキシサーバー設定が使用されます。プロキシサーバーに対して別のオプションを選択した場合、その設定がクライアントのその後の起動に使用されます。プロキシサーバー

の指定が、オペレーティングシステムと WorkSpaces クライアントの両方で行われている場合は、クライアントでの設定が適用されます。

Windows クライアントのバージョン 3.0.12 以降では、プロキシサーバーを使用しないことを選択することもできます。

> **Note**
>
> バージョン 3.0.0 から 3.0.11 を使用しながらカスタムプロキシサーバーを指定した場合、WorkSpace にログインを試みた際に「ネットワークがありません (No network)」というエラーが表示されることがあります。Windows クライアントでカスタムプロキシサーバーをご使用になる場合は、最新バージョンのクライアントにアップグレードすることをお勧めします。

1. WorkSpace クライアントアプリケーションで、[Settings] (設定)、[Manage Proxy Server] (プロキシサーバーを管理) の順に選択します。
2. [Set Proxy] (プロキシを設定) ダイアログボックスで、使用している 3.0 以降のクライアントのバージョンに応じて、適切なオプションを選択します。

   - Windows クライアントバージョン 3.1.3 以降 — プロキシサーバーの使用を無効にするには、[Don't use proxy server] (プロキシサーバーを使用しない) を選択します。[Don't use proxy server] (プロキシサーバーを使用しない) を選択すると、インターネットにアクセスするときにプロキシサーバーは使用されません。

     プロキシサーバーを使用するには、次のいずれかのオプションを選択し、[Save] (保存) を選択します。

     - デバイスのオペレーティングシステム設定を使用する — このオプションは、オペレーティングシステムのプロキシサーバー設定を使用します。
     - WorkSpaces のプロキシサーバーをカスタマイズする — カスタムプロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力します。
   - Windows クライアントバージョン 3.0.12、3.1.0、および 3.1.2 — プロキシサーバーの使用を有効または無効にするには、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択または選択解除します。[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) の選択を解除すると、インターネットにアクセスするときにプロキシサーバーは使用されません。

     [Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択している場合は、次のいずれかのオプションを選択し、[Save] (保存) を選択します。

  - デバイスのオペレーティングシステム設定を使用する — このオプションは、オペレーティングシステムのプロキシサーバー設定を使用します。
  - WorkSpaces のプロキシサーバーをカスタマイズする — カスタムプロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力します。
- Windows クライアントバージョン 3.0.11 以前 — デフォルトでは、これらのバージョンのクライアントでは、デバイスのオペレーティングシステムの設定で指定されたプロキシサーバーが使用されます。カスタムプロキシサーバーを使用するには、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択し、プロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力して、[Save] (保存) を選択します。

コマンドショートカット

WorkSpaces Windows クライアントは、次のコマンドショートカットをサポートします。

- Ctrl+Alt+Enter — 全画面表示の切り替え
- Ctrl+Alt+F12 — セッションを切断する

切断

Windows クライアントアプリケーションを切断するには、いくつかのオプションがあります。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Disconnect WorkSpace] (WorkSpace を切断) を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、セッションの終了を選択します。

  セッションを終了すると、開いているドキュメントを保存するように求められます。プロンプトでセッションの終了を選択すると、WorkSpaces クライアントユーザーセッションから切断されます。

  > **Note**
  >
  > このオプションは WorkSpaces Pools でのみ使用できます。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpaces に移動し、[Quit Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces を終了) を選択します。WorkSpace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、右上の閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。これによりセッションが切断され、アプリケーションのホームページに戻ります。
- WorkSpace からログオフすることもできます。Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[View] (表示) に移動し、[Send Ctrl+Alt+Delete] (Ctrl+Alt+Delete で送信) を選択します。[サインアウト] を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、20 MB の非圧縮オブジェクトの最大サイズをサポートします。詳細については、「the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”」を参照してください。

> **Note**
>
> Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなることがあります。

ハードウェアアクセラレーションを管理する

バージョン 5.0.0 以降の Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを使用する場合、ハードウェアアクセラレーションはデフォルトで有効化されています。

> **Note**
>
> バージョン 3.1.4 ~ 5.0.0 へのアップグレードを予定していて、このセクションの後半で説明する手順により、バージョン 3.1.3 以前で使用していたハードウェアアクセラレーションを無効にした場合は、DisableHWAcceleration レジストリキーを **0** に設定し、Windows のハードウェアアクセラレーションを再度有効にする必要があります。その後、WorkSpaces

の Windows クライアントアプリケーションのバージョンを 3.1.4 ~ 5.0.0 にアップグレードします。

クライアントの使用時に CPU 使用率が高い、またはパフォーマンスが低下する場合は、クライアントのハードウェアアクセラレーションを有効にできます。

> **Note**
>
> Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にすると、いくつかのビデオドライバーのバージョンでは、次の問題が発生する可能性があります。
>
> - 画面の一部で、黒いボックスがちらつくことがある。
> - WorkSpaces ログインページで画面が正しく更新されないことがある、または WorkSpace にログインした後に正しく更新されないことがある。画面にアーティファクトが表示されることがある。
> - マウスのクリックが、画面上のカーソル位置からずれることがある。

バージョン 3.1.5 以降の Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にするには

1. [設定]、[ハードウェアアクセラレーションの管理] の順にクリックします。
2. [ハードウェアアクセラレーションの管理] ダイアログボックスで、[Amazon WorkSpaces のハードウェアアクセラレーションを有効にする] を選択し、[保存] をクリックします。
3. この変更を有効にするには、[Amazon WorkSpaces]、[Amazon WorkSpaces を終了] の順にクリックし、Windows クライアントアプリケーションを終了します。
4. WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを再起動します。これで、ハードウェアアクセラレーションが有効になります。

   Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にした後、前述の画面とマウスの問題が発生した場合は、[Amazon WorkSpaces のハードウェアアクセラレーションを有効にする] チェックボックスをオフにし、ハードウェアアクセラレーションを無効にした上で、Windows クライアントアプリケーションを再起動します。

WorkSpaces の管理者であれば、コマンドプロンプトまたは PowerShell ウィンドウで次のコマンドを実行することで、バージョン 3.1.4 以降の WorkSpaces Windows クライアントのハードウェアアクセラレーションを有効化することができます。

1. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーが存在するか確認します。

   ```
   reg query "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
   ```

2. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーを追加します。

   ```
   reg add "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
   ```

   このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを終了し、再起動した後に有効になります。

必要な場合は、次のコマンドを使用して EnableHwAcc レジストリキーを削除できます。

```
reg delete "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc /f
```

このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを終了し、再起動した後に有効になります。

バージョン 3.1.5 以降の Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを無効にするには

1. [設定]、[ハードウェアアクセラレーションの管理] の順にクリックします。
2. [ハードウェアアクセラレーションを管理] ダイアログボックスで、[Amazon WorkSpaces のハードウェアアクセラレーションを有効にする] を選択し、[保存] をクリックします。
3. この変更を有効にするには、[Amazon WorkSpaces]、[Amazon WorkSpaces を終了] の順にクリックし、Windows クライアントアプリケーションを終了します。
4. WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを再起動します。これで、ハードウェアアクセラレーションが無効になります。

バージョン 3.1.4 の Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にするには

1. Windows のコンピュータ (WorkSpace ではありません) で、Windows 検索ボックスを開き、**`registry editor`** と入力してレジストリエディタ (regedit.exe) を開きます。[Run as

administrator] (管理者として実行) を選択します。(管理者としてレジストリエディタを実行するアクセス権限がない場合は、システム管理者にお問い合わせください)。

2. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と尋ねられたら、[はい] を選択します。
3. レジストリエディタで、次のレジストリエントリに移動します。

   HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces に作成した上で、WorkSpaces アプリケーションを再起動します。
4. [Amazon WorkSpaces] を選択し、[編集]、[新規]、[文字列値] の順にクリックします。
5. レジストリキーの名前として **EnableHwAcc** を入力します。
6. レジストリエディタを閉じます。
7. WorkSpaces クライアントアプリケーションを終了し、再起動します。

   Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にした後、前述の画面とマウスの問題が発生した場合は、EnableHwAccレジストリキーを削除してハードウェアアクセラレーションを無効にした上で、Windows クライアントアプリケーションを再起動します。

WorkSpaces の管理者であれば、コマンドプロンプトまたは PowerShell ウィンドウで次のコマンドを実行することで、バージョン 3.1.4 以降の WorkSpaces Windows クライアントのハードウェアアクセラレーションを有効化することができます。

1. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーが存在するか確認します。

   ```
   reg query "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
   ```
2. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーを追加します。

   ```
   reg add "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
   ```

   このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを終了し、再起動した後に有効になります。

必要な場合は、次のコマンドを使用して EnableHwAcc レジストリキーを削除できます。

```
reg delete "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc /f
```

このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを終了し、再起動した後に有効になります。

バージョン 3.1.3 以前の Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを無効にするには

バージョン 3.1.3 以前の Windows クライアントアプリケーションを使用する必要がある場合は、Windows レジストリから Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にできます。Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にすると、他の Windows アプリケーションのパフォーマンスに影響する場合があります。

1. Windows のコンピュータ (WorkSpace ではありません) で、Windows 検索ボックスを開き、**`registry editor`** と入力してレジストリエディタ (regedit.exe) を開きます。[Run as administrator] (管理者として実行) を選択します。(管理者としてレジストリエディタを実行するアクセス権限がない場合は、システム管理者にお問い合わせください)。
2. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と尋ねられたら、[はい] を選択します。
3. レジストリエディタで、次のレジストリエントリに移動します。

   HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Microsoft\Avalon.Graphics
4. 次のいずれかを行ってください。
   - DisableHWAcceleration レジストリキーが存在する場合は、そのキーを選択し、[Edit] (編集) > [Modify] (変更) を選択します。[Value data] (値のデータ) ボックスに (ハードウェアアクセラレーションを無効にするために) **1** と入力し、[OK] を選択します。
   - DisableHWAcceleration レジストリキーが存在しない場合は、次の操作を行います。
     a. [Avalon.Graphics] を選択し、[Edit] (編集) > [New] (新規) > [DWORD (32-bit) Value] (DWORD (32 ビット) 値) を選択します。
     b. レジストリキーの名前として **`DisableHWAcceleration`** を入力します。
     c. 新しい DisableHWAcceleration キーを選択し、[Edit] (編集) > [Modify] (変更) を選択します。
     d. [Value data] (値のデータ) ボックスに (ハードウェアアクセラレーションを無効にするために) **1** と入力し、[Base] を [Hexadecimal] に設定して、[OK] を選択します。
5. レジストリエディタを閉じます。
6. WorkSpaces クライアントアプリケーションを終了し、再起動します。

> **Note**
>
> 他の Windows アプリケーションのパフォーマンスを改善するためにハードウェアアクセラレーションを有効にする必要がある場合は、DisableHWAcceleration キーを **0** に設定します。

診断ログのアップロード

診断ログのアップロードを有効にする

WorkSpaces クライアントで問題が発生した場合にトラブルシューティングするため、診断ログを有効にすることができます。WorkSpaces に送信されるログファイルには、デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報が含まれています。WorkSpace ストリーミングセッション前またはセッション中に診断ログのアップロードを有効にすると、これらのファイルを自動的に WorkSpace に送信できます。

ログファイルを送信するには

> **Note**
>
> WorkSpaces ストリーミングセッション前とセッション中にログファイルを送信できます。

1. Amazon WorkSpaces クライアントを開きます。
2. WorkSpaces サインインページの上部で、[Manage Diagnostic Logging Settings] (診断ログの設定管理) を選択します。
3. ポップアップダイアログボックスで、[Enable Diagnostic Logging for Amazon WorkSpaces] (Amazon WorkSpaces の診断ログを有効にする) を選択し、[Save] (保存) をクリックします。

> **Important**
>
> AWS サポートに問題を報告する際は、問題が発生しているクライアントのデバイス ID を必ず追跡してください。このデバイス ID は、WorkSpaces クライアントのナビゲーションバーにある [Diagnostics logging] (診断ログ) メニューに表示され、サポートチームが特定のデバイスに関連するログを特定するのに役立ちます。当該の問題に関して作成するチケットには、必ずデバイス ID を含めてください。

リリースノート

Windows クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。一般的なセキュリティのベストプラクティスとして、WorkSpaces のお客様は、最新の更新を取得するために関連するパッチが利用可能になったら、クライアントソフトウェアを更新することをお勧めします。サポート対象のすべての WorkSpaces クライアントバージョンのその他の詳細については、「WorkSpaces クライアントアプリケーションのサポート終了ポリシー」を参照してください。

リリース	日付	変更
5.27.1	2025 年 5 月 5 日	• バグの修正と機能強化。
5.27.0	2025 年 4 月 30 日	• Amazon DCV WorkSpaces で使用可能な接続モニターの選択全体で全画面表示を拡張するサポートが追加されました。 • DCV SDK を更新しました。 • PCoIP SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.26.2	2025 年 4 月 1 日	バグの修正と機能強化。
5.26.1	2025 年 3 月 11 日	バグの修正と機能強化。
5.26.0	2025 年 3 月 4 日	• ユーザーがクライアントアプリケーションからローカルオペレーティングシステムに移動するのに役立つ`Ctrl+Alt+DownArrow` キーボードショートカットを追加しました。 • DCV SDK を更新しました。 • WebView2 SDK を更新しました。 • .NET SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.25.0	2024 年 12 月 19 日	• WorkSpace のロード中に予想される時間をユーザーがよりよく理解できるように、進行状況バーを追加しました。 • DCV SDK を更新しました。

リリース	日付	変更
		• バグの修正と機能強化。
5.24.1	2024 年 11 月 22 日	• アイドル状態のユーザーに、非アクティブが原因で DCV WorkSpaces から切断されることを警告する通知を追加しました。 • WorkSpaces クライアントのインストールプロセスが改善されました。 • DCV SDK を更新しました。 • PCoIP SDK の WolfSSL を更新しました。 • RestSharp ライブラリを更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.23.0	2024 年 9 月 30 日	• WSP プロトコルという名前を Amazon DCV プロトコルに変更しました。 • DCV WorkSpaces でのファイルのアップロードとダウンロードのサポートが追加されました。 • TCP および UDP プロトコルのポート 443 経由のストリーミングについて DCV WorkSpaces でのサポートが追加されました。 • .NET SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化。
5.22.1	2024 年 9 月 3 日	バグの修正と機能強化。
5.22.0	2024 年 8 月 16 日	• DCV WorkSpaces の以降のセッションでウェブカメラとマイクの設定が保持されるようになりました。 • DCV SDK を更新しました。
5.21.0	2024 年 7 月 3 日	バグの修正と機能強化。

リリース	日付	変更
5.20.0	2024 年 6 月 13 日	• PCoIP SDK を更新しました。 • DCV SDK を更新しました。 • ソフトウェアフレームワークを .NET 8 LTS に移行しました。 • システムが更新され、Windows 11 バージョン 22000 以降、および Windows 10 バージョン 1607 以降が必須となりました。
5.19.3	2024 年 4 月 30 日	• DCV SDK を更新しました。 • WorkSpaces で複数のモニターを使用して全画面をクリックしたときに、すべてのディスプレイに白い画面が表示される問題を修正しました。 • 接続時にユーザーが DCV WorkSpaces からすぐに切断される問題を修正しました。 • 言語を切り替えるときにデバイスのダイアログボックスにローカライズされた正しい言語が表示されない問題を修正しました。
5.19.0	2024 年 2 月 28 日	• DCV SDK を更新しました。 • セッション内認証の WebAuthn のサポートが追加されました。
5.18.0	2024 年 1 月 22 日	DCV SDK を更新しました。

リリース	日付	変更
5.17.0	2023 年 11 月 16 日	• PCoIP WorkSpaces の USB リダイレクトの問題を修正しました。 • ユーザーが実行モードを変更したときにクライアントがクラッシュする問題を修正しました。 • DCV クライアントのプリンターリダイレクトに関連するクライアントのクラッシュを修正しました。 • バグの修正と機能強化。
5.16.0	2023 年 10 月 26 日	• インストールのガイダンスを追加しました。USB リダイレクトが有効になっているバージョン 4.0.6 以降のクライアントを使用しているユーザーは、アップグレード前に古いクライアントをアンインストールする必要があります • 管理者のみがカスタムインストールフォルダを変更するアクセス許可を持つという制限を追加しました • DCV SDK を更新しました
5.15.1	2023 年 9 月 20 日	• DCV WorkSpaces のネットワークの問題に対する耐障害性を追加しました • DCV SDK を更新しました • バグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
5.13.0	2023 年 8 月 29 日	• PCoIP SDK と DCV SDK が更新されました。 • ログインページの特殊文字処理に関する問題を解決しました • クライアントアプリケーションの右上にある Network ダイアログを閉じるとクラッシュする問題を解決しました • [サポート] メニューに Amazon WorkSpaces ユーザーガイドへのリンクを追加しました
5.12.1	2023 年 8 月 16 日	バグの修正と機能強化
5.12.0	2023 年 7 月 11 日	バグの修正と機能強化
5.11.0	2023 年 7 月 3 日	• バグの修正と機能強化 • ストリーミングセッション中にクライアントメニューにアクセスするためのキーボードショートカットとして、Ctrl + Alt + Shift + F11 を追加しました • オペレーティングシステムのテキストサイズが 200% に設定されていると、クライアントのログインページでテキストの一部が表示されなくなる問題を修正しました • 複数のデバイスをリダイレクトできる場合に、ダイアログボックスのキーボードフォーカスが、すべてのデバイス間で切り替わらないバグを修正しました。 • 色のコントラストと要素名へのアクセシビリティを段階的に強化しました。

リリース	日付	変更
5.10.0	2023 年 6 月 19 日	• プロビジョニングされた WorkSpaces と同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善 • Ubuntu WorkSpaces で複数のモニターを使用するときの黒い画面の問題が解決されました • プロキシサーバー経由で WorkSpaces に接続したときにプロキシ設定が保持されないというクライアント診断ログのアップロードに関する問題を修正しました • DCV 拡張機能 SDK のサポートが追加され、エンドユーザーが DCV WorkSpaces のエクスペリエンスをカスタマイズできるようになりました
5.9.0	2023 年 5 月 9 日	• SAML 認証情報を使用して WorkSpaces にログインしたときに、[ログイン情報を管理] ダイアログに [ログイン状態を保つ] オプションが表示される問題を修正しました • プロキシサーバーが有効になっているときに WorkSpaces にログインできないというユーザーの問題を解決しました • Tab キーを使用してメニュー項目を移動するときのキーボードフォーカスの問題を解決しました • DCV WorkSpaces で QUIC を使用する際の接続の問題を修正するために、DCV SDK を更新しました

リリース	日付	変更
5.8.0	2023 年 4 月 6 日	• 特定のシナリオでユーザーがログインできないバグを修正しました。 • スマートカードログオン中に証明書の選択ダイアログが前面に表示されるバグを修正しました • 軽微なバグを修正するために DCV v2 SDK を更新しました
5.7.0	2023 年 2 月 23 日	• サインイン認証情報の先頭または末尾の許可リストのトリミングを有効にしました。 • 登録コードが空であるためにクラッシュする問題を解決しました。 • ログインページやメニューバーなどのユーザーインターフェイスコンポーネントに、十分な色のコントラスト、テキストラベル、および指示を提供しました。
5.6.4	2023 年 2 月 1 日	• サインイン認証情報の検証に関する問題を修正 • Caps Lock に伴うちらつきの問題を修正
5.6.2	2023 年 1 月 18 日	バグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
5.6.0	2022 年 12 月 27 日	• SAML 2.0 統合による証明書ベースの認証に対するサポートを追加しました。これにより、Active Directory ドメインパスワードのログオンプロンプトが表示されなくなります。 • WorkSpaces で Alt キーが連続して押される問題を解決しました。 • WorkSpaces とローカルマシンの間で Num Lock の状態が反転していた問題を解決しました。 • WorkSpace Windows クライアント用の PCoIP SDK を更新しました。 • バグの修正と機能強化
5.5.0	2022 年 11 月 14 日	• WorkSpace を切断するためのショートカット Ctrl+Alt+F12 を追加しました。 • Alt キーをマウスクリックと一緒に使用したときにキーストロークで発生する問題を解決しました
5.4.0	2022 年 10 月 5 日	診断ログの自動アップロード機能のサポートが追加されました。これにより、WorkSpaces クライアントの使用を中断することなく WorkSpaces クライアントのログファイルを直接 WorkSpaces にアップロードして、問題をトラブルシューティングできます。
5.3.0	2022 年 9 月 15 日	• Windows 用の DCV SDK を更新しました • WorkSpaces クライアントを閉じた後にユーザー名を保存できないという問題を解決しました

リリース	日付	変更
5.2.1	2022 年 8 月 24 日	Windows 8.1 で発生していた WorkSpaces ログインページのレンダリングの問題を修正しました
5.2.0	2022 年 8 月 2 日	WorkSpace Windows クライアント用の更新された PCoIP SDK
5.1.0	2022 年 6 月 30 日	Windows 用の DCV SDK を更新しました
5.0.0	2022 年 6 月 2 日	• WorkSpaces Windows クライアント用の更新された PCoIP SDK • Microsoft Teams で WorkSpaces の画面を共有するときに解決された問題 • バグの修正と機能強化
4.0.6	2021 年 12 月 21 日	• PCoIP USB リダイレクトドライバーを強化。ドライバーには重要な更新プログラムが含まれており、すべてのユーザーがインストールすることをお勧めします。 • DCV で認証にスマートカードを使用した場合に発生する障害を解決しました • DCV のビデオストリーミングに関連するクラッシュとブラックスクリーンの問題を解決しました。 • DCV バージョン 1.9.8.18175 にアップデートしました。
4.0.5	2021 年 11 月 23 日	• DCV WorkSpaces の帯域幅とフレームレートを最適化しました。 • 全画面モードに関連するショートカットマッピングの問題を解決しました。 • Alt キーが自動的に押される問題を解決する

リリース	日付	変更
4.0.4	2021 年 11 月 3 日	• 物理キーボードの Alt キーを使用して韓国語と英語を切り替えることができない問題を解決する • Windows 10 のマウス設定に関連するマウスのスクロールの問題を解決する • DCV に対応する WorkSpaces のビデオストリーミングを改善しました。 • バグ修正
4.0.3	2021 年 10 月 4 日	• ローカルマシンで 2 バイトのユーザー名 (日本語など) によるクラッシュを解決します。 • 64 ビット Windows 8.1 でのマウススクロールの問題を解決します。 • バグの修正と機能強化。
4.0.2	2021 年 9 月 1 日	• 軽微なバグの修正と機能強化 **Important** クライアントバージョン 4.0 では Windows 8.1 および Windows 10 がサポートされています。Windows 7 または 8 にバージョン 4.0 をインストールしようとするとエラーが発生します。Windows 7 または Windows 8 を使用している場合は、OS を更新するか、最新の 32 ビットクライアント (v3.x) をAmazon WorkSpaces クライアントのダウンロードページからダウンロードしてください。

リリース	日付	変更
4.0.1	2021 年 7 月 30 日	• PCoIP Windows WorkSpaces に YubiKey U2F 認証用 USB リダイレクトのサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
4.0.0	2021 年 6 月 30 日	Windows クライアントアプリケーションの最初の 64 ビットリリース
3.1.10	2021 年 8 月 5 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.1.9	2021 年 6 月 29 日	• このリリースには URI を使用したカスタムログインワークフローの修正が含まれており、すべてのユーザーに推奨されます。 • バグの修正と機能強化
3.1.8	2021 年 5 月 28 日	• [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) が選択されている場合における、切断後の再接続ページのリダイレクトを修正 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.7	2021 年 4 月 29 日	• DCV を使用する WorkSpaces との接続を改善 • プロキシサーバーに関連するクラッシュの問題を解決 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.6	2021 年 4 月 8 日	DCV オーディオトラフィック最適化が原因で発生する切断とクラッシュを修正
3.1.5	2021 年 4 月 2 日	• ハードウェアアクセラレーションの有効化および無効化のための設定 UI を追加 • DCV を使用する Windows WorkSpaces で双方向ビデオウェブカメラのサポートを一般提供 • 軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.1.4	2021 年 3 月 16 日	• ハードウェアアクセラレーションをデフォルトで無効にし、特定のバージョンのディスプレイドライバーで発生する画面のちらつきやマウスのミスポジションに関する問題に対処。ハードウェアアクセラレーションを手動で有効にするには、レジストリ文字列値 EnableHWacc を HKEY_CURRENT_USER \SOFTWARE\Amazon Web Servicesの下に作成したうえで、WorkSpaces アプリケーションを再起動します。LLC\Amazon WorkSpaces に作成した上で、WorkSpaces アプリケーションを再起動します。 • ユーザーが登録、ログイン、再構築する際に発生する一部のクラッシュの問題を修正 • UI 要素に対応するローカライゼーションを追加サポート • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.3	2021 年 2 月 15 日	• 一部のアプリで Shift キーを 2 回押す動作が機能しない問題を修正 • プロキシ構成の設定 UI を改善 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.2	2021 年 1 月 8 日	• DCV を一般公開。ビデオ入力機能は DCV WorkSpaces でのみベータ機能として引き続き利用可能 • クライアントアプリケーションのアップグレードに影響する断続的な問題を修正する • ログイン画面が拡大される問題を修正する • 軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.1.1	2020 年 12 月 1 日	• AWS GovCloud (米国西部) リージョンでのスマートカード認証のサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化 Note バージョン 3.1.1 は、 AWS GovCloud (米国西部) リージョンでのみ利用可能です。
3.1.0	2020 年 12 月 1 日	• アクティブな WorkSpaces セッション内で断続的なちらつきの問題を解決する • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.12	2020 年 11 月 10 日	• オプションで、デフォルトのプロキシサーバーの使用を無効にするサポートを追加する • セッションの再接続エクスペリエンスに機能強化を追加 • DCV WorkSpaces のセッション切断時のエラーメッセージを改善 • DCV WorkSpaces の Shift キーに関するキーボードマッピングの問題を修正
3.0.11	2020 年 10 月 2 日	• DCV WorkSpaces でのビデオ入力デバイスの列挙に関する問題を解決 • DCV WorkSpace から切断するときに断続的にクラッシュが発生する問題を解決 • 軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.10	2020 年 9 月 16 日	• ログイン画面のロードに伴う問題を解決 • ユーザーが全画面表示モードを選択してからこのモードを終了したときに、ユーザーの画面サイズ設定が保持される問題を解決 • ユーザーが全画面表示モードを終了した後、メニューバーが非表示になる問題を解決 • 入力方式エディタ (IME) の問題を解決 • ポート 4195 (UDP および TCP) を介したヘルスチェックのサポートを追加
3.0.9	2020 年 8 月 14 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.8	2020 年 7 月 30 日	• DCV WorkSpaces にモノクロカーソルのサポートを追加 • 診断を改善するために、往復時間 (RTT) をネットワークヘルスチェック情報の一部として表示 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.7	2020 年 6 月 3 日	• DCV WorkSpaces でマルチモニターのサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.6	2020 年 4 月 28 日	• 高 DPI ディスプレイと標準 DPI ディスプレイの切り替えのサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.5	2020 年 3 月 30 日	Amazon WorkDocs でシングルサインオン (SSO) が有効になっている場合、ユーザーインターフェイスにログインプロンプトが表示されるという問題を解決
3.0.4	2020 年 3 月 3 日	軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.2	2020 年 2 月 14 日	• 全画面表示を切り替えるためのキーボードショートカットを追加 • DCV WorkSpaces への接続のサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.0	2019 年 11 月 25 日	• ユーザーインターフェイスを改善 • わかりやすい登録コードラベル • 軽微なバグの修正と機能強化
2.5.11	2019 年 11 月 4 日	軽微なバグを修正
2.5.10		• ノートパソコンの蓋を閉じたときに送信される無効なキーストロークに関する断続的な問題を解決 • 軽微な修正
2.5.9		• WorkSpace クライアントのアップグレード後に Windows 10 のタスクバーに空白のアプリケーションのアイコンイメージが表示される問題を解決 • 軽微なバグを修正
2.5.8		ノートパソコンの蓋を開けたときにコンピュータがスリープ状態になることで断続的にクラッシュする問題を解決
2.5.7		• Linux WorkSpaces でのドイツ語のキーボードレイアウトのサポートを追加 • クリップボードのリダイレクトに伴って Excel がクラッシュする問題を解決
2.5.6		軽微な修正
2.5.5		軽微な修正

リリース	日付	変更
2.5.2		• Caps Lock キーが正常に機能しなくなる断続的な問題を解決 • 軽微なバグを修正
2.5.1		• Amazon Linux 2 を実行している WorkSpaces で定期的にキー入力が繰り返される問題を解決 • ユーザーインターフェイスで日時形式のローカライズのサポートを追加 • ユーザーインターフェイスの軽微な改善
2.5.0		ユーザーのセルフサービスによる WorkSpace 管理機能のサポートを追加
2.4.10		軽微な修正
2.4.9		軽微な修正
2.4.8		• ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加 • 軽微な修正
2.4.7		• Microsoft Surface Pro 4 モデルでユーザーインターフェイスのテキストが正しく表示されない問題を解決 (Windows のみ) • タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis • ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加

リリース	日付	変更
2.4.6		• デバッグシナリオ用の詳細なログ記録を含めるようにログ記録レベルを設定するサポートを追加 • セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善
2.4.5		Amazon Trust Services によって発行された証明書が、インストール時に Windows によって信頼されたことを確認するためのチェックを追加。デフォルトでは、最新の Windows ローカルルート CA リストには、Starfield Service Root Certificate Authority - G2 が含まれるため、Amazon Trust Services 証明書が信頼されます。ローカルルート CA リストが期限切れになっている場合、クライアントインストーラは Starfield Service Root Certificate Authority - G2 証明書をシステムにインストールします。クライアントデバイスへの管理者アクセス権がない場合は、ルート CA 証明書のインストールを確認するメッセージが表示されます。
2.4.4		• 軽微な修正 • コピーと貼り付けを改善
2.4.2		軽微な修正
2.4.0		• 新しいロゴ • ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.3.7		ディスプレイの向きを変えた場合に発生するグレー画面の問題に対処
2.3.6		ローカライズの強化
2.3.5		軽微な改善

リリース	日付	変更
2.3.3		• マルチモニターのサポートを改善 • ローカライズの強化 • セキュリティとパフォーマンスを改善
2.3.2		インストーラの修正
2.3.1		軽微な修正
2.3.0		• マルチモニターのサポートを改善 • セキュリティと安定性を改善
2.2.3		軽微なバグを解決し、安定性を改善
2.2.1		• ドイツ語のサポートを追加 • 一部のリージョンにおけるタイムゾーンのマッピング問題を解決 • ロシア語のシステムでの接続問題を解決 • 日本語ユーザーインターフェイスを改善 • 安定性を改善
2.1.3		クライアントを閉じると、再接続トークンの有効期限が切れます。クライアントが実行されていれば、WorkSpace に簡単に再接続できます。
2.1.1		プロトコル処理の軽微な改善
2.1.0		• WorkSpace の新しい状態として STOPPING と STOPPED のサポートを追加 • 軽微なバグを解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
2.0.8		• インストール時に iTunes プロセスまたは Garmin プロセスを実行する場合の競合を解決 • 現在のユーザー用に限定してインストールする場合、パスワードを使用しないインストールエクスペリエンスのサポートを追加 • BIFF5 形式でデータをコピーして貼り付ける際の Excel の書式設定に関する問題を解決 • [このアカウントを記憶する] が無効になっている場合、再起動時にユーザー名が表示されない • 登録コードの削除時の確認ダイアログボックスを追加 • 安定性を改善
2.0.6		バグを解決し、その他の機能強化を追加
2.0.4		• 電話をかけたりウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加 • 高 DPI 画面を持つデバイスのサポートを追加 • 登録コードを再入力せずに WorkSpaces を切り替えることができるように、登録コードの保存のサポートを追加 • Windows 10 のサポートを改善 • 使いやすさと安定性を改善

リリース	日付	変更
1.1.80		• セッションレイテンシー、セッション起動時間、セッション切断に関する CloudWatch メトリクスを追加 • ネットワーク状態が低下したときに中断される回数を減らすためにセッションの自動再開を改善 • 特定の問題を解決し、安定性を改善
1.1.6		• ステータス通知のサポートを追加。WorkSpace に接続できない場合、クライアントアプリケーションは WorkSpace の状態を通知します。 • 再接続エクスペリエンスを改善。クライアントは、非アクティブ状態が 10 時間続くと、ログイン画面に自動的にリダイレクトされます。クライアントが再接続を使用してセッションを開始できなかった場合に、再接続できます。 • セッションの自動再開のサポートを追加。ネットワーク接続が失われた後、セッション再開タイムアウト (デフォルト値は 20 分) 以内に回復すると、クライアントアプリケーションは自動的にセッションを再開しようとします。 • ネットワークのヘルスチェックを改善し、迅速性と信頼性を向上 • クライアント側による登録コードの検証を追加 • ローカルデバイスと WorkSpace との間の Caps Lock ステータスと Num Lock ステータスの同期を改善

リリース	日付	変更
1.1.4		• WorkSpace に簡単に再接続できるように、認証情報の保存のサポートを追加 • 接続の詳細なヘルスチェックを改善 • 安定性を改善
1.0.8		• フルファイルインストールパッケージを導入 • ネットワーク接続チェックを改善 • バージョン情報を [バージョン情報] ウィンドウに追加
1.0		初回リリース

WorkSpace の再起動

WorkSpace で問題が発生した場合は、再起動できます。WorkSpace を再起動すると、使用中の WorkSpace から切断され、シャットダウンして再起動できるようになります。ユーザーデータ、オペレーティングシステム、システム設定には影響しません。このプロセスが完了するまでに数分かかります。

> **Important**
>
> 変更内容が失われないように、WorkSpace を再起動する前に、開いているドキュメントやその他のアプリケーションファイルを保存してください。

WorkSpace を再起動するには

1. WorkSpaces クライアントを開き、WorkSpace に接続します。
2. [WorkSpaces]、[Restart WorkSpace] (WorkSpace を再起動) の順に選択します。
3. WorkSpace の再起動を確認するメッセージが表示されたら、[再起動] を選択します。
4. WorkSpace から切断された後も、クライアントアプリケーションのログイン画面は開いたままになります。WorkSpace にログインし直すか、画面を閉じることができます。

WorkSpace の再構築

WorkSpace で実行されているオペレーティングシステムを元の状態に復元するには、WorkSpace を再構築できます。

WorkSpace で発生している問題を解決するために WorkSpace を再構築する場合は、まず再起動してみます。WorkSpace を再構築すると、インストールしたアプリケーションと WorkSpace の作成後に設定したシステム設定のすべてが失われます。

WorkSpace を再構築すると、D: ドライブが最新のバックアップから再作成されます。バックアップは 12 時間ごとに実行されるため、データは最長で 12 時間前のものである可能性があります。管理者が WorkSpace を最近作成した場合は、WorkSpace を再構築する前に 12 時間待つ必要があります。

> **Important**
>
> データが失われないように、WorkSpace を再構築する前に、すべての開いているドキュメントやその他のアプリケーションファイルを保存し、WorkSpaces 管理者に連絡して D: ドライブのバックアップが完了していることを確認してください。

WorkSpace の再構築中は、WorkSpace から切断されます。この間、WorkSpace を使用したり変更したりすることはできません。再構築プロセスには最大で 1 時間かかることがあります。

WorkSpace を再構築するには

1. WorkSpaces クライアントを開き、WorkSpace に接続します。
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[設定]、[WorkSpace を再構築] の順に選択します。
1.0 以降または 2.0 以降のクライアント	[WorkSpace]、[WorkSpace を再構築] の順に選択します。

3. [WorkSpace を再構築] ダイアログボックスで、情報を確認します。再構築を続行する場合は、[再構築] を選択します。

WorkSpace のディスクサイズを増やす

WorkSpace のディスクサイズを増やして、ストレージ容量を追加できます。C: ドライブ (Linux の場合は /) のサイズは、管理者に連絡することなく、最大 175 GB まで増やすことができます。同様に、D: ドライブ (Linux の場合は /home) のサイズは、最大 100 GB まで増やすことができます。これらの制限を超えてドライブを増やす必要がある場合は、管理者にドライブのサイズを増やしてもらう必要があります。

管理者が WorkSpace を最近作成した場合、WorkSpace のディスクサイズを増やすには 6 時間待つ必要があります。その後、6 時間に 1 回の割合でディスクサイズを増やすことができます。

C: ドライブと D: ドライブのサイズを同時に増やすことはできません (Linux の / ボリュームと /home ボリュームについても同様です)。C: ドライブ (Linux では /) を増やすには、まず D: ドライブ (Linux では /home) を 100 GB に増やす必要があります。D: ドライブ (Linux では /home) を増やした後で、C: ドライブ (Linux では /) を増やすことができます。

WorkSpace のディスクサイズを増加中でも、WorkSpace でほとんどのタスクを実行できます。ただし、WorkSpace のコンピューティングタイプの変更、WorkSpace の実行モードの切り替え、WorkSpace の再構築、WorkSpace の再起動を行うことはできません。ディスクサイズの増加プロセスには、最大で 1 時間かかる場合があります。

> **Important**
>
> - サイズ変更できるのは SSD ボリュームのみです。
> - WorkSpace のディスクサイズを増やすと、組織が WorkSpace に対して支払う金額が増えます。

WorkSpace のディスクサイズを増やすには

1. WorkSpaces クライアントを開き、WorkSpace に接続します。
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[設定]、[ディスクサイズを増加] の順に選択します。

使用しているクライアント	操作
1.0 以降または 2.0 以降のクライアント	[WorkSpace]、[ディスクサイズを増加] の順に選択します。

3. [ディスクサイズを増加] ダイアログボックスに、C: ドライブと D: ドライブ (Linux では / および /home) の現在のディスクサイズが表示されます。ディスクサイズの増加を続行すると、ストレージの増加量も表示されます。
4. ディスクサイズの増加を続行するには、[増加] を選択します。
5. ディスクサイズの増加プロセスに関する情報が表示されます。情報を確認して [閉じる] を選択します。
6. ディスクサイズの増加が完了したら、WorkSpace を再起動して変更を反映する必要があります。WorkSpace を再起動する前に、すべての開いているファイルを保存します。

WorkSpaces のコンピューティングタイプの変更

WorkSpace のコンピューティングタイプを変更して、WorkSpace 用の別のバンドルを選択できます。管理者が WorkSpace を最近作成した場合は、WorkSpace のコンピューティングタイプを変更する前に 6 時間待つ必要があります。その後、6 時間に 1 回の割合でより大きいコンピューティングタイプに切り替えるか、30 日間に 1 回の割合でより小さいコンピューティングタイプに切り替えることができます。

WorkSpace のコンピューティングタイプの変更が進行中の間は、WorkSpace から切断されます。この間、WorkSpace を使用したり変更したりすることはできません。このプロセスには最長で 1 時間程度かかることがあります。

> **Important**
>
> - 変更内容が失われないように、WorkSpace のコンピューティングタイプを変更する前に、開いているドキュメントやその他のアプリケーションファイルを保存してください。
> - WorkSpace のコンピューティングタイプを変更すると、組織が WorkSpace に対して支払う金額が変わります。

WorkSpace のコンピューティングタイプを変更するには

1. WorkSpaces クライアントを開き、WorkSpace に接続します。
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[設定]、[コンピューティングタイプを変更] の順に選択します。
1.0 以降または 2.0 以降のクライアント	[WorkSpace]、[コンピューティングタイプを変更] の順に選択します。

3. [コンピューティングタイプを変更] ダイアログボックスに、WorkSpace の現在のコンピューティングタイプが表示されます。リストから別のコンピューティングタイプを選択し、[更新] を選択します。

4. コンピューティングタイプの変更プロセスに関する情報が表示されます。情報を確認して [更新] を選択します。

WorkSpace の実行モードの切り替え

WorkSpace を常に実行状態にするか、非アクティブな状態が一定時間続いた後で停止するかを指定できます。WorkSpaces では、次の 2 つの実行モードを選択できます。

- AlwaysOn — WorkSpace を常に実行状態にします。
- AutoStop — サインイン時に WorkSpace を起動し、非アクティブ状態が一定時間続くと WorkSpace を停止します。WorkSpace が停止すると、アプリとデータの状態が保存されます。

> **Note**
>
> WorkSpace の実行モードを切り替えると、組織が WorkSpace に対して支払う金額が変わります。

3.0 以降のクライアントで WorkSpace の実行モードを切り替えるには

1. WorkSpaces クライアントを開き、WorkSpace に接続します。
2. [設定]、[実行モードを切り替え] の順に選択します。
3. [実行モードを切り替え] ダイアログボックスで、別の実行モードを選択し、[切り替え] を選択します。
4. 選択を確認するメッセージが表示されます。メッセージボックスを閉じます。

1.0 以降および 2.0 以降のクライアントで WorkSpace の実行モードを切り替えるには

1. WorkSpaces クライアントを開き、WorkSpace に接続します。
2. [WorkSpace]、[実行モードを切り替え] の順に選択します。
3. [実行モードを切り替え] ダイアログボックスで、別の実行モードを選択し、[切り替え] を選択します。
4. 選択を確認するメッセージが表示されます。[Close] を選択します。

WorkSpaces クライアントアプリケーションでの周辺機器のサポート

Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションは、周辺機器に対して次のサポートを提供します。特定のデバイスの使用に問題がある場合は、https://console.aws.amazon.com/support/home#/ にレポートを送信するよう WorkSpaces 管理者に依頼してください。

デバイスのサポートは、WorkSpace で使用しているストリーミングプロトコル (PCoIP または DCV) によって異なります。macOS および Windows クライアントアプリケーションの 3.0 以降のバージョンでは、[Support] (サポート)、[About My WorkSpace] (WorkSpace について) を選択すると、WorkSpace が使用しているプロトコルを確認できます。iPad、Android、および Linux クライアントアプリケーションは、現在 PCoIP プロトコルのみをサポートしています。

内容

- 監視
- キーボードとマウス
- オーディオヘッドセット
- プリンター
- スキャナ、USB ドライブ、およびその他のストレージデバイス
- ウェブカメラおよびその他のビデオデバイス
- スマートカード
- ハードウェアセキュリティキー
- WebAuthn 認証

監視

Linux、macOS、および Windows 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、複数のモニターと高 DPI ディスプレイの使用を、DCV および PCoIP の両方の WorkSpaces でサポートしています。複数のモニターを設定する方法など、これらの WorkSpaces クライアントアプリケーションでのディスプレイサポートの詳細については、「Linux クライアントのディスプレイサポート」、「macOS クライアントのディスプレイサポート」、または「Windows クライアントのディスプレイサポート」を参照してください。

WorkSpaces Android クライアントアプリケーションは、単一のモニターと高 DPI ディスプレイの使用を、PCoIP WorkSpaces でサポートしています。WorkSpaces の Android クライアントアプリケーションでサポートされるディスプレイの詳細については、「Display Support for the Android Client (Android クライアントでサポートされるディスプレイ)」を参照してください。

高 DPI ディスプレイのサポートの詳細については、WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする を参照してください。

キーボードとマウス

Windows、macOS、および Linux 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、USB Bluetooth キーボードおよびマウスをサポートしています。

Android および iPad 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションはタッチ入力をサポートしており、どちらのクライアントもオンスクリーンキーボードを提供し、デバイスに接続されたキーボードをサポートします。Android クライアントはマウスをサポートし、iPadOS 13.4 以降を搭載した iPad は Bluetooth マウスをサポートしています。iPad クライアントは、特定の SwiftPoint マウスモデルもサポートしています。詳細については、「Swiftpoint GT、ProPoint、PadPoint のいずれかのマウス」を参照してください。

3D マウスは WorkSpaces クライアントアプリケーションでサポートされていません。

英語以外の言語またはキーボードを使用するには、WorkSpaces の言語とキーボードの設定 を参照してください。

オーディオヘッドセット

アナログおよび USB オーディオヘッドセットは、Android、iPad、macOS、Linux、および Windows クライアントアプリケーション、ならびに PCoIP ゼロクライアントでサポートされています。音声通話にはヘッドセットを使用することをお勧めします。デバイスの内蔵マイクおよびスピーカーを使用すると、会話中にエコーが発生することがあります。ヘッドセットの使用に困難が生じる場合は、WorkSpace でヘッドセットが動作しません。 を参照してください。

プリンター

Windows および macOS クライアントアプリケーションは、USB プリンターおよびローカル印刷をサポートしています。他のクライアントアプリケーションは、他の印刷方法をサポートしています。各種クライアントのプリンターサポートの詳細については、WorkSpace からの印刷 を参照してください。

PCoIP ゼロクライアントデバイスを使用して WorkSpace に接続していて、USB プリンターやその他の USB 周辺機器の使用に問題がある場合は、WorkSpaces 管理者に問い合わせてください。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理ガイドの USB プリンターとその他の USB 周辺機器が PCoIP ゼロクライアントで動作しないを参照してください。

スキャナ、USB ドライブ、およびその他のストレージデバイス

WorkSpaces クライアントは、USB フラッシュドライブや外付けハードドライブなど、スキャナやローカルに接続された周辺機器ストレージデバイスをサポートしません。

WorkSpace とローカルクライアントデバイス間でファイルを転送、バックアップ、または同期する必要がある場合は、ファイルを E メールで送信することを検討してください。他のソリューションが使用できるかどうかを確認するには、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

ウェブカメラおよびその他のビデオデバイス

WorkSpace が PCoIP プロトコルを使用している場合、WorkSpaces クライアントはウェブカメラまたはその他の動画デバイスをサポートしません。

WorkSpace で DCV が使用されている場合、Windows および macOS 向けの (バージョン 3.1.5 以降の) WorkSpaces クライアントアプリケーションでは、ウェブカメラがサポートされます。Windows クライアントは、Windows 10 バージョン 1607 以降を使用しているマシンで実行する必要があります。

ウェブカメラを使用するには

1. DCV WorkSpace にログインします。
2. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

使用しているクライアント	操作
Windows クライアント	DCV WorkSpace でウェブカメラを使用するには、右上にある [デバイス] アイコン を選択し、[リモート WorkSpace でこのデバイスを使用する] を選択します。[保存] を選択します。

使用しているクライアント	操作
	DCV WorkSpace ではなく、ローカルコンピュータでウェブカメラを使用するには、右上にある [デバイス] アイコン を選択し、[ローカルで使用する] を選択します。[保存] を選択します。
macOS クライアント	DCV WorkSpace でウェブカメラを使用するには、[接続]、[デバイス]、[リモート WorkSpace でこのデバイスを使用する] の順に選択します。[保存] を選択します。 DCV WorkSpace ではなく、ローカルコンピュータでウェブカメラを使用するには、[接続]、[デバイス]、[ローカルマシンで使用] の順に選択します。[保存] を選択します。

スマートカード

WorkSpace が PCoIP プロトコルを使用している場合、WorkSpaces クライアントはスマートカードをサポートしません。

Windows WorkSpace または Linux WorkSpace で DCV プロトコルを使用している場合には、Windows 向け WorkSpaces クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.1 以降、および macOS 向け WorkSpaces クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.5 以降で、スマートカードがサポートされます。

WorkSpace でのスマートカードの使用の詳細については、WorkSpaces クライアントでのスマートカード認証 を参照してください。

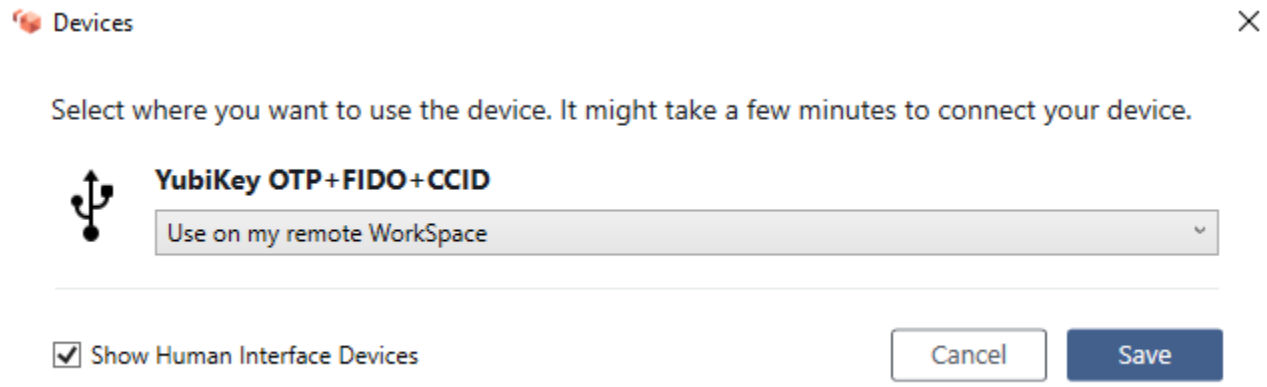
ハードウェアセキュリティキー

PCoIP Windows WorkSpaces では、Windows WorkSpaces クライアントアプリケーションでの YubiKey U2F 認証用 USB リダイレクトがサポートされています。詳細については、「WorkSpaces の USB リダイレクト」を参照してください。

U2F 認証用に YubiKey を WorkSpace にリダイレクトするには

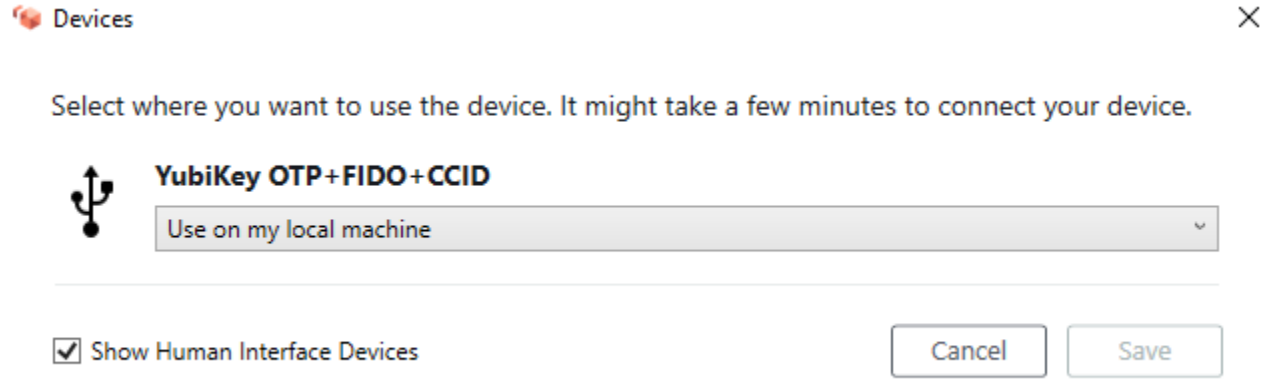
- PCoIP WorkSpace で YubiKey を使用するには、右上にある [Devices] (デバイス) アイコン

  を選択し、[Use this device on my remote WorkSpace] (リモート WorkSpace でこのデバイスを使用する) を選択します。[Save] を選択します。



- WorkSpace ではなくローカルコンピュータで YubiKey を使用するには、右上にある

  を選択し、[Use on my local machine] (ローカルマシンで使用する) を選択します。[Save] を選択します。



WebAuthn 認証

WorkSpace で PCoIP プロトコルを使用している場合、WebAuthn リダイレクトはサポートされません。ただし、ハードウェア認証用の USB リダイレクトは使用できます。「ハードウェアセキュリティキー」を参照してください。WebAuthn リダイレクトは、DCV プロトコルを使用する WorkSpaces でサポートされています。WorkSpace でのスマートカードの使用の詳細については、WorkSpaces クライアントの WebAuthn 認証 を参照してください。

WorkSpaces クライアントアプリケーションでのファイル転送のサポート

WorkSpaces 管理者がファイル転送を有効にしている場合は、ローカルコンピュータと [ストレージ] フォルダにファイルをアップロードおよびダウンロードできます。

[ストレージ] フォルダで以下のことを実行できます。

- [ストレージ] フォルダに保存したファイルとフォルダを開き、編集する。
- ローカルコンピュータと [ストレージ] フォルダの間でファイルをアップロードおよびダウンロードする。

> **Note**
>
> これができない場合は、WorkSpaces 管理者に連絡して WorkSpaces セッション内でのファイル転送を有効にするよう依頼します。

- [ストレージ] フォルダ内のファイルまたはフォルダの名前を変更する。

> **Note**
>
> 現在、ファイル転送は、Windows または Linux クライアントアプリケーション、あるいは Web Access を使用する場合の個人用 Windows WorkSpaces でサポートされています。不明な点がある場合は、管理者に連絡してください。

ローカルコンピュータと [ストレージ] フォルダの間でファイルをアップロードおよびダウンロードするには

1. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションのメニューバーで、[File Transfer] を選択します。[ストレージ] ウィンドウが表示されます。
2. 既存のフォルダに移動するか、[フォルダを追加] を選択して新しいフォルダを作成します。
3. ファイルをフォルダにアップロードするには、[ファイルをアップロード] を選択し、アップロードするファイルを選択して [開く] を選択します。

ファイルをフォルダからダウンロードするには、ダウンロードするファイルをクリックするか、ファイルの右にある下矢印を選択してから、[ダウンロード] を選択します。

WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする

Amazon WorkSpaces Android バージョン 2.4.21 以降のクライアントアプリケーションと、Windows、macOS、Linux 用のバージョン 3.0 以降のクライアントアプリケーションでは、高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイがサポートされています。画面の解像度は、画面が水平および垂直に表示できる 1 インチあたりのピクセル数 (PPI) またはドット数 (DPI) によって定義されます。一般的な画面の解像度 (一部) は次のとおりです。

- 1280x720 – 高精細 (HD)、通称 720p
- 1920x1080 – FHD (フル HD)、通称 1080p
- 2560x1440 – QHD/WQHD (クワッド HD)、通称 1440p
- 3840x2160 – UHD (ウルトラ HD)、通称 4K 2160p
- 7680×4320 – FUHD (フルウルトラ HD)、通称 8K 4320p

> **Note**
>
> これらすべての解像度には「高精細 (HD)」というラベルが付けられていますが、これらの解像度のいずれかを持つモニターが高 DPI ディスプレイであることを意味するものではありません。

内容

- 概要
- 制限
- Android で高 DPI モードを有効にする
- Windows、macOS、または Linux で高 DPI モードを有効にする
- Windows WorkSpace で表示スケールの設定を調整する
- Linux WorkSpace で表示スケールの設定を調整する

概要

高 DPI (通称 HiDPI) ディスプレイは、イメージを構成する仮想ピクセルよりも 2 倍の物理ピクセルを使用してイメージを表現するディスプレイです。例えば、イメージの横の仮想ピクセル数が 128

で、縦の仮想ピクセル数が 128 である場合、高 DPI ディスプレイでは、このイメージをレンダリングする際に両方向に 256 の物理ピクセル数を使用し、イメージを 2 倍鮮明にします。

高 DPI ディスプレイでの WorkSpaces の最大解像度を高めるには、Android、Windows、macOS、Linux 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションで高 DPI モードを有効にすることができます。

制限

高 DPI モードを有効にすると、WorkSpace のパフォーマンスに影響する場合があります。ネットワークの帯域幅に対応するために、ストリーミングプロトコルは、受信するピクセル数を必要に応じてアップグレードまたはダウングレードしてパフォーマンスを維持します。ただし、高レイテンシー、高パケット損失、低帯域幅の環境では、高 DPI モードが WorkSpace のパフォーマンスに影響を及ぼす場合があります。WorkSpace のパフォーマンスに影響がある場合は、高 DPI モードをオフにすることをお勧めします。

Windows WorkSpaces の場合、高 DPI モードではマルチモニターがサポートされます。ただし、Android クライアントでは 1 つのモニタのみサポートされます。

> **Note**
>
> Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションにおいて高 DPI モードでサポートされる最大ディスプレイサイズは 3840x2160 です。WorkSpaces クライアントアプリケーションでのディスプレイサポートの詳細については、Android クライアントのディスプレイサポート、Linux クライアントのディスプレイサポート、macOS クライアントのディスプレイサポート、Windows クライアントのディスプレイサポートのいずれかを参照してください。

Android で高 DPI モードを有効にする

Android で高 DPI モードを有効にするには

1. Amazon WorkSpaces バージョン 2.4.21 以降クライアントアプリケーションを開き、WorkSpace にログインします。

2. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、画面の左側からスワイプしてサイドバーメニューを開き、[Settings] (設定) を選択します。
3. [Settings] (設定) ダイアログボックスで [High DPI Mode] (高 DPI モード) を選択し、[OK] を選択します。

   デバイスの高 DPI 解像度に合わせて WorkSpace の画面解像度が変わります。

Windows、macOS、または Linux で高 DPI モードを有効にする

Windows、macOS、または Linux で高 DPI モードを有効にするには

1. Amazon WorkSpaces 3.0+ クライアントアプリケーションを開き、WorkSpace にログインします。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[設定]、[表示設定] の順に選択します。
3. [表示設定] ダイアログボックスで、[高 DPI モード] を選択し、[保存] をクリックします。

   モニターの高 DPI 解像度に合わせて WorkSpace の画面解像度が変わります。

> **Note**
>
> Mac を使用していて、WorkSpaces の画面解像度が低く、オブジェクトがぼやけて見える場合は、次の操作を行います。
>
> 1. [システム環境設定] を開きます。
> 2. [ディスプレイ] を選択します。
> 3. ディスプレイの種類に応じて、次のいずれかの操作を行って、表示スケールを調整します。
>
> | 使用しているクライアント | 操作 |
> | --- | --- |
> | 内蔵ディスプレイ | [ディスプレイ] タブで、[解像度] の [変更] を選択し、[デフォルト] を選択します。 |
> | 外部ディスプレイ | [ディスプレイ] タブで、[ディスプレイのデフォルト] を選択します。 |

WorkSpace 内のイメージやテキストが小さく表示される場合は、Windows WorkSpace または Linux WorkSpace の表示スケールの設定も調整する必要があります。

> **Important**
>
> - WorkSpace へのアクセスに使用しているローカルの Windows、Linux、Mac マシンの表示スケールの設定ではなく、WorkSpace 自体内の表示スケールの設定を必ず調整してください。
> - ラップトップをドッキングまたはドッキング解除したり、別のクライアントデバイスに切り替えたりする場合は、必要に応じて、新しいモニターに合わせて WorkSpace の表示スケールの設定を再調整します。

Windows WorkSpace で表示スケールの設定を調整する

Windows Workspace で表示スケールの設定を調整するには

1. Windows Workspace で、Windows の [スタート] メニューから [設定] を選択します。
2. [Windows の設定] ダイアログボックスで、[システム] を選択します。
3. [ディスプレイ] を選択します。

   > **Note**
   >
   > 「リモートセッションから画面設定を変更できません」というメッセージが表示される場合は、DCV WorkSpace を使用していることを意味します。現時点では、DCV WorkSpace で表示スケールの設定を調整することはできません。

4. [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] で、希望する表示スケールを設定します。
5. 「一部のアプリは、サインアウトするまで表示スケールの変更に応答しません」というメッセージが表示されます。サインアウトするには、そのメッセージの下にある [今すぐサインアウト] を選択します。サインアウトすると WorkSpace セッションが切断されるため、サインアウトする前に作業内容を保存してください。
6. WorkSpace セッションを再開するには、WorkSpaces クライアントのログインページで [再接続] を選択するか、再度ログインします。

7. マルチモニターを使用している場合は、この手順を繰り返して、モニターごとに表示スケールの設定を行います。

Linux WorkSpace で表示スケールの設定を調整する

Linux WorkSpace で表示スケールの設定を調整するには

> **Note**
>
> - 次の手順は、Amazon Linux WorkSpaces でデフォルトの MATE 環境を使用していることを前提としています。
> - Linux WorkSpaces の場合、現時点ではマルチモニターで高 DPI モードを使用できません。

1. Linux WorkSpace で、[システム] > [設定] > [外観] の順に移動します。
2. [外観の設定] ダイアログボックスで、[フォント] タブを選択します。
3. 右下の [詳細] を選択します。
4. [レンダリング形式の詳細] ダイアログボックスの [解像度] に、[解像度 (ドット/インチ)] 設定が表示されます。この設定を手動で調整するには、[自動検出] をオフにします。
5. [解像度 (ドット/インチ)] 設定を使用して、フォントサイズを調整します。
6. ダイアログを閉じます。

WorkSpaces の認証

Amazon WorkSpaces には、スマートカード認証と WebAuthn の 2 つの認証方法を使用できます。

内容

- WorkSpaces クライアントでのスマートカード認証
- WorkSpaces クライアントの WebAuthn 認証

WorkSpaces クライアントでのスマートカード認証

スマートカードは、Windows および macOS クライアントの、DCV を使用している Windows および Amazon Linux 2 WorkSpaces でサポートされます。PCoIP プロトコルを使用している WorkSpaces は、スマートカードをサポートしていません。Ubuntu、Rocky Linux、Red Hat Enterprise Linux WorkSpaces は現在、どのプロトコルでもスマートカードをサポートしていません。

スマートカードは、セッション前認証とセッション内認証の両方で利用可能です。認証とは、ID を確認し、特定のリソースへのアクセス権があることを確認するプロセスです。セッション前認証とは、WorkSpace にログインしている間に実行されるスマートカード認証をいいます。セッション内認証とは、ログイン後、WorkSpace セッション中に実行される認証をいいます。

例えば、ウェブブラウザやアプリケーションを操作しながら、セッション内認証にスマートカードを使用できます。また、管理アクセス許可が必要なアクションを実行するためにスマートカードを使用することもできます。例えば、Linux WorkSpace に対する管理アクセス許可を持っている場合、`sudo` および `sudo -i` コマンドの実行時にスマートカードを使用して自身を認証できます。

> **Note**
>
> - Common Access Card (CAC) および Personal Identity Verification Card 101 の両方のスマートカードがサポートされています。他のタイプのハードウェアまたはソフトウェアベースのスマートカードも機能する可能性がありますが、DCV プロトコルでの使用は完全にはテストされていません。
> - 現在、Linux または Windows WorkSpaces でのセッション内認証およびセッション前認証では、一度に 1 つのスマートカードのみが許可されています。
> - セッション内認証は、DCV がサポートされているすべてのリージョンで利用可能です。セッション前認証は、以下のリージョンで使用できます。

  - アジアパシフィック (シドニー) リージョン
  - アジアパシフィック (東京) リージョン
  - 欧州 (アイルランド) リージョン
  - AWS GovCloud (米国東部) リージョン
  - AWS GovCloud (米国西部) リージョン
  - 米国東部 (バージニア北部) リージョン
  - 米国西部 (オレゴン) リージョン
- 現在、WorkSpaces の Windows クライアントアプリケーションバージョン 3.1.1 以降と macOS クライアントアプリケーションバージョン 3.1.5 以降のみが、スマートカード認証をサポートしています。
- WorkSpaces Windows クライアントアプリケーション 3.1.1 以降では、クライアントが 64 ビットバージョンの Windows で実行されている場合にのみ、スマートカードがサポートされます。

内容

- スマートカードを使用して WorkSpace にログインする
- Chrome または Firefox の Windows WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)
- Chrome または Firefox の Linux WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)

スマートカードを使用して WorkSpace にログインする

スマートカードを使用して WorkSpace にログインするには

1. WorkSpaces 管理者から提供された登録コードを入力し、[Register] (登録) を選択します。新しい登録コードを入力できるように、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択する必要がある場合があります。

   登録コードを入力すると、ログインページに [Insert your smart card] (スマートカードを挿入) が表示されます。このテキストが表示されない場合は、正しい登録コードを入力したことを確認してください。正しい登録コードを入力してもこのテキストが表示されない場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
2. スマートカードリーダーをローカルコンピューターに接続し、スマートカードリーダーにスマートカードを挿入します (まだこれらの作業を行っていない場合)。

3. ログインページで、[Insert your smart card] (スマートカードを挿入) を選択します。
4. [Certificates] (証明書) ダイアログボックスが表示されます。証明書を選択し、[OK] を選択します。
5. [Smart Card] (スマートカード) ダイアログボックスが表示されます。暗証番号を入力し、[OK] を選択します。
6. Windows デスクトップのログインページで、[サインインオプション] を選択し、スマートカードアイコンを選択します。複数のスマートカードがある場合、使用するスマートカードを選択します。PIN をもう一度入力し、[送信] を選択します。Linux のログインページで PIN を入力し、[サインイン] を選択します。

WorkSpace にログインしている必要があります。サインインできない場合は、WorkSpaces クライアントアプリケーションを閉じてから再度開き、もう一度お試しください。再試行してもサインインできない場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

WorkSpace にログインした後、ローカルデバイスと WorkSpace でスマートカードを引き続き使用できます。

Chrome または Firefox の Windows WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)

Chrome または Firefox の Windows WorkSpace 内でスマートカードを使用して、他のアプリケーションを認証できます。

Chrome では、スマートカードを使用するために特別な設定は必要ありません。

WorkSpaces 管理者は、Firefox でのスマートカードの使用を既に有効にしている可能性があります。Firefox でスマートカードを使いたいのに機能しない場合は、WorkSpaces 管理者に問い合わせてください。

Chrome または Firefox の Linux WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)

Chrome または Firefox の Linux WorkSpace 内でスマートカードを使用して、他のアプリケーションを認証できます。

Chrome ブラウザでスマートカードを使用するには

1. WorkSpaces (Windows 用) クライアントアプリケーションを使用して Linux WorkSpace にログインします。
2. 端末を開きます ([Applications] (アプリケーション) > [System Tools] (システムツール) > [MATE Terminal] (MATE 端末))。
3. 次のコマンドを実行します。

```
cd; modutil -dbdir sql:.pki/nssdb/ -add "OpenSC" -libfile /lib64/opensc-pkcs11.so
```

4. Chrome が既に実行されている場合は、Chrome を閉じてから Enter キーを押します。コマンドの実行が完了すると、次のメッセージが表示されます。

   ```
   Module "OpenSC" added to database.
   ```

Firefox ブラウザでスマートカードを使用するには

WorkSpaces 管理者は、Firefox でスマートカードを使用するための機能を既に有効にしている可能性があります。スマートカードが Firefox で動作しない場合は、以下の手順に従って有効にします。

1. Firefox を開きます。右上のメニューボタン

   ☰

   を選択し、[Preferences] (設定) を選択します。
2. [about:preferences] ページの左側のナビゲーションペインで、[Privacy & Security] (プライバシーとセキュリティ) を選択します。
3. [Certificates] (証明書) で、[Security Devices] (セキュリティデバイス) を選択します。
4. [Device Manager] (デバイスマネージャー) ダイアログボックスで、[Load] (ロード) を選択します。
5. [Load PKCS#11 Device Driver] (PKCS#11 デバイスドライバーをロード) ダイアログボックスで、次のように入力します。

   モジュール名: **`OpenSC`**

   モジュールファイル名: **`/lib64/opensc-pkcs11.so`**
6. [OK] を選択します。

WorkSpaces クライアントの WebAuthn 認証

セッション内 WebAuthn 認証は、Windows、Linux、macOS クライアントの、DCV を使用している Windows WorkSpaces でサポートされます。PCoIP プロトコルを使用する WorkSpaces は、WebAuthn リダイレクトをサポートしていません。

セッション内認証には WebAuthn 認証を使用できます。セッション内認証とは、ログイン後に実行され、セッション内で実行されているウェブアプリケーションによってリクエストされる WebAuthn 認証を指します。例えば、Google Chrome の使用中、セッション内認証に Yubikey を使用できます。

WorkSpaces 管理者は、WebAuthn を有効または無効にできます。管理者が WebAuthn を有効にすると、必要なブラウザ拡張機能が自動的にインストールされることがブラウザから通知されます。

ブラウザ拡張機能を手動でインストールするには (オプション)

1. WorkSpace にサインインします。
2. 使用しているブラウザに応じて、ブラウザで次のいずれかのリンクを開きます。
   - Microsoft Edge の場合: https://microsoftedge.microsoft.com/addons/detail/dcv-webauthn-redirection-/ihejeaahjpbegmaaegiikmlphghlfmeh
   - Google Chrome の場合: https://chromewebstore.google.com/detail/dcv-webauthn-redirection/mmiioagbgnbojdbcjoddlefhmcocfpmn?pli=1
3. [Get] (Microsoft Edge の場合) または [Add to Chrome] (Google Chrome の場合) を選択して拡張機能をインストールし、追加のプロンプトで [Add extension] を選択します。インストールが完了すると、拡張機能が正常に追加されたことを示す確認メッセージが表示されます。

WorkSpaces 向けの Amazon Connect オーディオ最適化

Amazon WorkSpaces では、Amazon Connect オーディオ最適化を使用できるように、Amazon Connect Contact Control Panel (CCP) を WorkSpace に追加できます。

WorkSpace で Amazon Connect オーディオ最適化を使用するには:

- WorkSpaces Windows クライアントバージョン 4.0.6 以降がインストールされている必要があります。
- Amazon Connect でサポートされている WorkSpaces クライアントエンドポイントに、ウェブブラウザがインストールされている必要があります。サポートされているブラウザの一覧については、「Amazon Connect でサポートされるブラウザ」を参照してください。

> **Note**
>
> サポートされている ウェブブラウザがない場合は、サポートされているブラウザをインストールするように求められます。

- 既存の Amazon Connect アカウントが必要です。

WorkSpace と Amazon Connect の問い合わせコントロールパネル (CCP) にログインします

WorkSpace と Amazon Connect の問い合わせコントロールパネル (CCP) にログインします

管理者は、Amazon Connect 問い合わせコントロールパネル (CCP) オーディオ最適化を有効にした後、WorkSpace と CCP パネルにログインします。

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションを開き、WorkSpace にログインします。
2. ウェブブラウザがローカルで開き、CCP ログインページが表示されます。
3. ローカルブラウザウィンドウで CCP にログインします。ログインすると、CCP オーディオ最適化が有効になります。
4. WorkSpaces ウィンドウに戻しますが、ローカルブラウザウィンドウはバックグラウンドで実行したままにします。

> **Warning**
>
> - CCP へのログインに使用したローカルブラウザウィンドウを閉じると、CCP オーディオが失われます (ただし WorkSpaces クライアントは引き続き実行されます) 。
> - WorkSpaces ウィンドウを閉じると、ローカルブラウザウィンドウも閉じ、CCP オーディオが停止します。

ローカルブラウザの CCP ウィンドウを誤って閉じたり、それがクラッシュした場合には、再起動可能です。メニューバーに移動し、[Add-in] (アドイン) をクリックし、管理者が指定した CCP 名を選択します。

Amazon Connect の使用の詳細については、「エージェントトレーニングガイド」を参照してください。

WorkSpaces の言語とキーボードの設定

クライアントデバイスと WorkSpace で同じ言語およびキーボードの設定を使用するには、WorkSpace で使用しているプロトコル (PCoIP または DCV) に応じて、次のいずれかの方法を使います。

> **Note**
>
> 次の手順では、Windows からサインアウトするか、WorkSpace への接続を切断する必要がある場合があります。続行する前に、必ず作業内容を保存してください。

PCoIP プロトコルを使用する WorkSpaces

言語固有のキーボードを使用している場合は、キーボードと WorkSpace の言語設定を一致させるために、次のいずれかの方法を使用します。

- 方法 1 — デバイスのキーボードと言語の設定を変更して、WorkSpace の言語と一致させます。
- 方法 2 — 複数の言語をサポートする AWS リージョンにいる場合は、WorkSpaces 管理者に任意の言語で WorkSpace を作成してもらいます。Windows WorkSpaces は、現在、すべてのリージョンにおいて英語 (米国) で利用可能です。

  一部のリージョンでは、他の言語が利用可能です。カナダ (中部) リージョンでは Windows WorkSpaces をフランス語 (カナダ)、アジアパシフィック (ソウル) リージョンでは韓国語、アジアパシフィック (東京) リージョンでは日本語、中国 (寧夏) リージョンでは中国語 (簡体字) も利用できます。

  どのリージョンで WorkSpace を使用しているかを確認するには、WorkSpaces クライアントアプリケーションにログインし、[サポート]、[WorkSpace について] の順に選択します。
- 方法 3 — WorkSpace に適切な言語またはキーボード設定をインストールします。Windows WorkSpace の場合は、次の手順に従います。

  1. WorkSpace にログインします。
  2. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
  3. [言語と時刻] を選択し、[言語] を選択します。
  4. [優先する言語] で、[優先する言語を追加する] を選択します。

5. [インストールする言語の選択] ダイアログボックスで、追加する言語を選択し、[次へ] を選択します。
6. [Install language features] (インストールする言語を選択してください) ダイアログボックスで、目的の言語機能を選択し、[Install] (インストール) を選択します。例えば、言語固有のキーボードのサポートのみを追加する場合は、[基本の入力] を選択して、その言語のキーボードサポートをインストールします。
7. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトした後に再度サインインし、変更が有効になるかどうかを確認します。
8. 表示言語を変更しなかった場合は、インストールした言語の新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。入力に使用する言語キーボードを選択します。

DCV プロトコルを使用する WorkSpaces

次の言語では、QWERTY キーボードにない文字を入力するために、Input Method Editor (IME) を使用する必要があります。

- アムハラ語 (エチオピア)
- 中国語 (中国)
- 繁体字中国語
- 中国語 (繁体字大易輸入法)
- 中国語 (五筆字型入力方法)
- 中国語 (彝文字)
- 日本語 (日本)
- 日本語 (106/109 キーボードレイアウト)
- 韓国語 (ハングル)
- 韓国語 (古ハングル)
- ティグリニア語 (エチオピア)

DCV の使用中に特定のキーボード言語レイアウトを使用する場合は、IME 言語と非 IME 言語のどちらを使用しているかに基づいて、次のいずれかの手順に従います。

> **Note**
>
> 日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用する場合は、日本語 106/109 レイアウトに固有の手順に従ってください。

IME 以外の言語を使用するには

IME 以外の言語 (フランス語など) を使用している場合は、次の手順に従います。

1. 希望する言語固有のキーボードにローカルクライアントデバイスを設定します。
   a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
   b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
   c. [Language] (言語) を選択します。
   d. [Preferred languages] (優先する言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
   e. [Choose a language to install] (インストールする言語を選択してください) ページで、希望する言語を選択します。
   f. [次へ] を選択します。
   g. [Install] を選択します。
   h. 必要に応じて、言語を選択し、[Options] (オプション) を選択して、言語固有のキーボードレイアウトを設定します。
   i. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトして、新しい表示言語を有効にします。
2. インストールした言語の新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。入力に使用する言語キーボードを選択します。

WorkSpaces デスクトップクライアントアプリケーションの表示言語を変更するには、「クライアント言語 (Linux)」、「クライアント言語 (macOS)」、または「クライアント言語 (Windows)」をご参照ください。

日本語 106/109 以外の IME 言語を使用するには

日本語 106/109 キーボードレイアウト以外の IME 言語 (韓国語など) を使用している場合は、次の手順に従います。

1. ローカルクライアントデバイスのキーボードレイアウトを、希望する IME 言語に設定します。
   a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
   b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
   c. [Language] (言語) を選択します。
   d. [Preferred languages] (優先する言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
   e. [Choose a language to install] (インストールする言語を選択してください) ページで、希望する言語を選択します。
   f. [次へ] を選択します。
   g. [Install] を選択します。
   h. 必要に応じて、言語を選択し、[Options] (オプション) を選択して、言語固有のキーボードレイアウトを設定します。
   i. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトして、新しい表示言語を有効にします。
2. インストールした言語の新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。入力に使用する言語キーボードを選択します。
3. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、DCV WorkSpace にログインします。
4. WorkSpace 内で、入力言語を希望する IME 言語に設定します。
   a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
   b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
   c. [Region & language] (地域と言語) を選択します。
   d. [Languages] (言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
   e. [Add a language] (言語の追加) ページで、希望する IME 言語を選択します。
   f. (オプション) 必要に応じて、[Language] (言語) ページで言語を選択し、[Options] (オプション) を選択して、言語固有のキーボードレイアウトを設定します。
   g. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトして、新しい表示言語を有効にします。サインアウトすると、WorkSpace への接続も切断されます。
5. WorkSpace への接続を切断します (前の手順でまだ接続を切断していない場合)。
6. WorkSpace に再接続します。
7. WorkSpace の Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。インストールした IME 言語を選択します。

これで、DCV WorkSpace で IME 言語を使用できるようになりました。

WorkSpaces デスクトップクライアントアプリケーションの表示言語を変更するには、「クライアント言語 (Linux)」、「クライアント言語 (macOS)」、または「クライアント言語 (Windows)」をご参照ください。

日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用するには

日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用している場合は、次の手順に従います。

1. ローカルクライアントデバイスの表示言語を日本語に設定し、日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用するようにキーボードを設定します。
   a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
   b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
   c. [Language] (言語) を選択します。
   d. [Preferred languages] (優先する言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
   e. [Choose a language to install] (インストールする言語を選択してください) ページで、[Japanese] (日本語) を選択します。
   f. [次へ] を選択します。
   g. [Install language features] (言語機能のインストール) ページで、[Install] (インストール) を選択します。
   h. [Languages] (言語) ページで、[Japanese] (日本語) を選択し、[Options] (オプション) を選択します。
   i. [Language options: Japanese] (言語オプション: 日本語) ページの [Hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウト) で、[Change layout] (レイアウトの変更) を選択します。
   j. [Change hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウトの変更) ダイアログボックスで、[Japanese keyboard (106/109 key)] (日本語キーボード(106/109キー)) を選択します。
   k. 変更は、Windows を再起動するまで有効になりません。[Restart now] (今すぐ再起動) を選択するか、[OK] を選択して作業内容を保存してから Windows を再起動します。
2. インストールした新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。[Japanese Microsoft IME] (日本語 Microsoft IME) を選択します。
3. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、DCV WorkSpace にログインします。

4. WorkSpace 内で、デフォルトの表示言語として [Japanese] (日本語) を設定し、キーボードレイアウトを日本語 106/109 に設定します。

   a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
   b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
   c. [Region & language] (地域と言語) を選択します。
   d. [Languages] (言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
   e. [Add a language] (言語の追加) ページで、[Japanese] (日本語) を選択します。
   f. [Languages] (言語) ページで、[Japanese] (日本語) を選択し、[Set as default] (既定に設定) を選択します。
   g. [Languages] (言語) ページで、[Japanese] (日本語) を選択し、[Options] (オプション) を選択します。
   h. [Language options] (言語オプション) ページの [Hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウト) で、[Change layout] (レイアウトの変更) を選択します。
   i. [Change hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウトの変更) ダイアログボックスで、[Japanese keyboard (106/109 key)] (日本語キーボード(106/109キー)) を選択します。
   j. 変更は、Windows からサインアウトするまで有効になりません。[Sign out] (サインアウト) を選択します。

      Windows からサインアウトされ、WorkSpace への接続が切断されます。
5. WorkSpace に再接続します。
6. WorkSpace の Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。[Japanese Microsoft IME] (日本語 Microsoft IME) を選択します。

これで、DCV WorkSpace で日本語 106/109 キーボードレイアウトを利用できるようになりました。

WorkSpaces デスクトップクライアントアプリケーションの表示言語を変更するには、「クライアント言語 (Linux)」、「クライアント言語 (macOS)」、または「クライアント言語 (Windows)」をご参照ください。

WorkSpaces の USB リダイレクト

ユニバーサルシリアルバス (USB、Universal Serial Bus) は、コンピュータをスキャナーやプリンター、外付けドライブ、セキュリティキーなどのデバイスに接続するために使用されます。PCoIP Windows WorkSpaces は、Windows WorkSpaces クライアントアプリケーションからユニバーサル 2 要素認証を行うためにローカルにアタッチされた YubiKey のリダイレクトをサポートしています。

> **Note**
>
> YubiKey リダイレクトがサポートされているのは、Windows WorkSpaces クライアントのみです。

内容

- 要件
- サポート対象の USB デバイス
- サポート対象の USB デバイス
- ローカル USB デバイスを WorkSpace に接続する
- USB デバイスを WorkSpace から切断する
- USB リダイレクトドライバーを再インストールまたはアップグレードする

要件

- Windows PCoIP WorkSpaces では、USB リダイレクトはデフォルトで無効になっています。WorkSpaces の USB リダイレクトを有効にする必要があります。USB の許可されるデバイスと許可されないデバイスのルールを設定して、リダイレクトできるデバイスを定義できます。詳細については、Windows WorkSpaces の管理を参照してください。
- USB リダイレクトドライバーとともに WorkSpaces クライアントバージョン 4.0 以降をローカルにインストールします。詳細については、セットアップとインストールを参照してください。

サポート対象の USB デバイス

以下は、U2F の PCoIP Windows WorkSpaces リダイレクトで動作することが検証された USB YubiKey モデルの一覧です。

- YubiKey 4
- YubiKey 5 NFC
- YubiKey 5 Nano
- YubiKey 5C
- YubiKey 5C Nano
- YubiKey 5 NFC
- サポートされている YubiKey で使用可能な、ほとんどの USB タイプ C から USB タイプ A アダプタ

サポート対象の USB デバイス

ほとんどの USB 大容量記憶デバイス、一部のスキャナーやプリンターでは、制御、中断、一括などのデータ転送タイプを使用します。これらのデータ転送タイプを使用するデバイスはサポートされていませんが、WorkSpaces にリダイレクトされる可能性があります。ウェブカメラで一般的に使用されているアイソクロナス転送はサポートされていません。したがって、USB ウェブカメラはサポート対象外です。

次の USB デバイスは、U2F 認証が PCoIP WorkSpaces で動作することが確認されていますが、サポートされていません。

- Thetis セキュリティキー

次の USB デバイスは、PCoIP WorkSpaces での U2F 認証では動作しません。

- ケンジントンセキュリティキー

ローカル USB デバイスを WorkSpace に接続する

ローカル USB デバイスを WorkSpace に接続するには

> **Warning**
>
> ローカル USB デバイスを WorkSpace に接続すると、そのデバイスはローカルコンピュータで使用できなくなります。たとえば、USB マウスを WorkSpace にリダイレクトした場合、コンピュータは、WorkSpace から USB マウスを切断するまで、リダイレクトされた USB マウスからのマウス入力を受信できません。

USB デバイスの接続は、WorkSpaces のストリーミングセッション間で持続しません。WorkSpace に接続するたびに USB デバイスを接続する必要があります。WorkSpaces のストリーミングセッションでは、最大 10 個の USB デバイスを同時にリダイレクトできます。

1. WorkSpaces (Windows 用) クライアントアプリケーションを使用して PCoIP Windows WorkSpace にログインします。
2. クライアントインターフェイスで、[デバイス] アイコンをクリックして、ローカルにアタッチされている USB デバイスを一覧表示します。
3. USB デバイスを選択し、デバイス名の横のメニューから [Use with WorkSpaces] (WorkSpaces で使用する) を選択します。
4. WorkSpace で USB デバイスを使用する準備ができました。

USB デバイスを WorkSpace から切断する

ローカル USB デバイスを WorkSpace から切断するには

1. クライアントインターフェイスで、アイコンをクリックして、ローカルにアタッチされている USB デバイスを一覧表示します。
2. USB デバイスを選択し、デバイス名の横のメニューから [Use with local device] (ローカルデバイスで使用する) を選択します。
3. ローカルコンピュータで USB デバイスを使用する準備ができました。

USB リダイレクトドライバーを再インストールまたはアップグレードする

USB リダイレクトドライバーを再インストールまたはアップグレードするには

以下のステップに従って、ドライバーのクリーンな再インストールまたはアップグレードを実行します。

1. 以下のコマンドを実行して USB リダイレクトドライバーをアンインストールします。

```
[Amazon WorkSpaces directory]\pcoipusb\bin\USB\PCoIP_Client_USB_uninstaller.exe
```

2. マシンを再起動します。
3. レジストリエディタを開きます。
4. [HKLM] で fusbhub を検索します。
5. レジストリキーを削除します。レジストリキーは、フォルダアイコンが付いた左ペインの項目です。この例では、fusbhub を含む fuhub キーです。このレジストリキーを削除できない場合は、レジストリエントリに関連付けられている.inf ファイル名をメモします。.inf ファイル名は、通常「oem」で始まります (「oem9.inf」など)。コマンドラインを開き (管理者権限で)、.inf ファイル名を *oem9.inf* に置き換えて、以下のプロンプトを実行します。

```
pnputil -f -d oem9.inf
```

6. fusbhub がレジストリエディタから完全に削除されるまで、ステップ 5 を繰り返します。
7. マシンを再起動します。
8. アップグレードの場合のみ、最新のクライアントをダウンロードして、インストールする必要があります。クライアントのインストール中に USB ドライバをインストールするように選択できます。
9. WorkSpace にログインしたら、[Devices] (デバイス) アイコン

   をクリックし、USB ドライバーを再インストールします。または、管理者権限を使用して、以下の PowerShell スクリプトを呼び出すこともできます。

```
[Amazon WorkSpaces directory]\pcoipusb\install-pcoip-usb-driver.ps1
```

WorkSpace からの印刷

Amazon WorkSpaces では以下の出力方法がサポートされています。

> **Note**
>
> - iPad、Android、Chromebook、Web Access、および Linux 向けの WorkSpaces クライアントでは、ネットワーク印刷およびクラウド印刷サービスがサポートされています。ローカル印刷は現在、iPad、Android、Chromebook、ウェブアクセス、および Linux クライアントではサポートされていません。
> - ローカルプリンターリダイレクトは、そのアクセスに使用されるクライアントに関わらず、Linux WorkSpaces では使用できません。
> - PCoIP ゼロクライアントデバイスを使用して WorkSpace に接続していて、USB プリンターやその他の USB 周辺機器の使用に問題がある場合は、WorkSpaces 管理者に問い合わせてください。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理ガイドの USB プリンターとその他の USB 周辺機器が PCoIP ゼロクライアントで動作しないを参照してください。

印刷方法

- ローカルプリンター
- その他の印刷方法

ローカルプリンター

Windows の WorkSpaces では、ローカルプリンターのリダイレクトがサポートされています。WorkSpace のアプリケーションから印刷を行う際には、使用可能なプリンターのリストから、ローカルプリンターを選択できます。ローカルプリンターの場合、プリンターの表示名に「(Local – *workspace username.directory name.client computer name*)」が追加されます。いずれかのローカルプリンターを選択すると、そのプリンターでドキュメントが印刷されます。

場合によっては、使用するローカルプリンター用の ドライバを、WorkSpace で手動でダウンロードしてインストールする必要があります。WorkSpace でプリンタードライバーをインストールする場合、異なるタイプのドライバーが見つかることがあります。

- プリンターの追加ウィザードのドライバー。このドライバーは、プリンタードライバーのみを含み、Windows のプリンターの追加ウィザードを使用したインストールに慣れているユーザー向けです。
- プリンターとの通信を必要としないプリンターモデル固有のドライバー。この場合、プリンタードライバーを直接インストールできます。
- プリンターとの通信を必要とするプリンターモデル固有のドライバー。この場合、プリンタードライバーファイルを使用して、既存のポート (LPT1:) を使用するローカルプリンターを追加できます。ポートを選択した後、[ディスク使用] を選択し、プリンタードライバーの `.INF` ファイルを選択します。

プリンタードライバーをインストールしたら、新しいプリンターが認識されるように WorkSpace を再起動する必要があります。

WorkSpace からローカルプリンターに印刷できない場合は、クライアントコンピュータからローカルプリンターに印刷できることを確認してください。クライアントコンピュータから印刷できない場合は、プリンターのドキュメントを参照するか、プリンターのサポートに問い合わせて問題を解決してください。クライアントコンピュータから印刷できる場合、詳細については、AWS Support に連絡してサポートを依頼してください。

その他の印刷方法

次のいずれかの方法を使用すると、Windows もしくは Linux の WorkSpace から印刷することもできます。

- 組織が Active Directory を介してプリンターを公開している場合は、社内ネットワーク上のプリンターに WorkSpace を接続できます。
- ファイルをファイルに出力し、ファイルをローカルデスクトップに転送して、アタッチされたプリンターにローカルに出力します。

WorkSpaces クライアントのトラブルシューティングを行います。

WorkSpaces クライアントで発生する可能性がある一般的な問題を以下に示します。

問題点

- Amazon WorkSpaces 登録コードが記載されたメールが届かない
- ログインすると、Windows クライアントアプリケーションに空白のページのみが表示され、WorkSpace に接続できません。
- WorkSpaces クライアントからネットワークエラーが返されますが、デバイスの他のネットワーク対応アプリケーションは使用できます。
- Windows WorkSpace へのログインに数分かかることがあります。
- ログインしようとすると、Amazon WorkSpaces Windows クライアントが「ログインページを準備しています」画面で停止します。
- ログインしようとすると、次のエラーメッセージが表示されます。「ネットワークがありません。ネットワーク接続が失われました ネットワーク接続を確認するか、管理者に問い合わせてください。」
- Amazon WorkSpaces Windowsクライアントアプリケーションのログインページが非常に小さく表示されます。
- 「WorkSpace Status: Unhealthy。We were unable to connect you to your WorkSpace。Please try again in a few minutes.」というメッセージが表示される。
- セッションを閉じただけで、ログオフしていないのに、Windows WorkSpace からログオフされることがあります。
- パスワードを忘れてリセットしようとしましたが、リセットリンクが記載された E メールが届きませんでした。
- WorkSpace からインターネットに接続できません。
- サードパーティのセキュリティソフトウェアパッケージをインストールした後、WorkSpace に接続できません。
- WorkSpace に接続すると、「ネットワーク接続は低速です」という警告が表示されます。
- クライアントアプリケーションで「無効な証明書」エラーが表示されました。これはどういう意味ですか?
- ウェブアクセスを使用して Windows WorkSpace に接続しようとすると問題が発生します。

- 「デバイスは登録サービスに接続できません。ネットワーク設定を確認してください」というエラーが表示されます。
- クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、クライアントを最新バージョンに更新できません。
- WorkSpace でヘッドセットが動作しません。
- Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできません。
- 入力した文字が間違えて表示されます。例えば、引用符 (' や ") を入力すると \ や | と表示されます。
- WorkSpaces クライアントアプリケーションが Mac 上で実行されません
- Mac で作業しているときに Windows WorkSpaces で Windows ロゴキーを使用できません。
- Mac で WorkSpace がぼやけて見えます。
- コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました
- 画面がちらついている、正しく更新されない、またはマウスが正しい場所をクリックしない
- Windows 用 WorkSpaces クライアントで、既にインストールされているバージョンに更新するようプロンプトが表示される
- WorkSpaces Windows クライアントの [デバイス] の下にビデオ入力デバイスが表示されない

Amazon WorkSpaces 登録コードが記載されたメールが届かない

WorkSpaces管理者に連絡してサポートを依頼してください。

ログインすると、Windows クライアントアプリケーションに空白のページのみが表示され、WorkSpace に接続できません。

この問題は、クライアントコンピュータ (WorkSpace ではありません) の VeriSign/Symantec 証明書の期限切れによって発生している可能性があります。期限切れの証明書を削除し、クライアントアプリケーションを再度起動します。

期限切れの VeriSign/Symantec 証明書を見つけて削除するには

1. クライアントコンピュータ (WorkSpace ではなく) の Windows コントロールパネルで、[ネットワークとインターネット] を選択します。
2. [インターネットオプション] を選択します。

3. [インターネットのプロパティ] ダイアログボックスで、[コンテンツ]、[証明書] の順に選択します。
4. [証明書] ダイアログボックスで、[中間証明機関] タブを選択します。証明書のリストで、VeriSign または Symantec 発行の有効期限が切れているすべての証明書を選択し、[削除] を選択します。失効していない証明書は削除しないでください。
5. [信頼されたルート証明機関] タブで、VeriSign または Symantec 発行の有効期限が切れているすべての証明書を選択し、[削除] を選択します。失効していない証明書は削除しないでください。
6. [証明書] ダイアログボックスと、[インターネットのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

WorkSpaces クライアントからネットワークエラーが返されますが、デバイスの他のネットワーク対応アプリケーションは使用できます。

WorkSpaces のクライアントアプリケーションは AWSクラウド内のリソースへのアクセスに依存しているため、最低 1 Mbps のダウンロード帯域幅を提供する接続が必要です。デバイスとネットワークの接続が断続する場合、WorkSpaces クライアントアプリケーションからネットワークに関する問題が報告されることがあります。

WorkSpaces は、2018 年 5 月の時点で Amazon Trust Services により発行されたデジタル証明書の使用を適用します。Amazon Trust Services は、WorkSpaces がサポートするオペレーティングシステムで既に信頼されたルート証明機関 (CA) になっています。オペレーティングシステムのルート CA リストが最新でない場合、デバイスは WorkSpaces に接続できず、クライアントからネットワークエラーが返されます。

証明書の失敗による接続の問題を認識するには

- PCoIP ゼロクライアント - 次のエラーメッセージが表示されます。

```
Failed to connect. The server provided a certificate that is invalid. See below for
 details:
- The supplied certificate is invalid due to timestamp
- The supplied certificate is not rooted in the devices local certificate store
```

- その他のクライアント ヘルスチェックは、インターネットの赤い三角形の警告が表示されて失敗します。

証明書の失敗を解決するには

証明書が失敗した場合は、次のいずれかの解決策を使用します。

- Windows クライアントの場合は、https://clients.amazonworkspaces.com/ から最新の Windows クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールします。クライアントアプリケーションは、インストール中に、Amazon Trust Services によって発行された証明書をオペレーティングシステムが信頼するようにします。クライアントを更新しても問題が解決しない場合は、Amazon WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
- その他すべてのクライアントについては、Amazon WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

Windows WorkSpace へのログインに数分かかることがあります。

システム管理者が設定したグループポリシー設定が原因で、Windows WorkSpace の起動後または再起動後にログインが遅延することがあります。この遅延はグループポリシー設定が WorkSpace に適用されている間に発生するものであり、正常です。

ログインしようとすると、Amazon WorkSpaces Windows クライアントが「ログインページを準備しています」画面で停止します。

Windows 10 マシンで WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションのバージョン 3.0.4 および 3.0.5 を起動すると、クライアントが「ログインページを準備しています」画面で停止することがあります。この問題を回避するには、Windows クライアントアプリケーションのバージョン 3.0.6 にアップグレードするか、管理者特権で Windows クライアントアプリケーションを実行しないようにします。

ログインしようとすると、次のエラーメッセージが表示されます。「ネットワークがありません。ネットワーク接続が失われました ネットワーク接続を確認するか、管理者に問い合わせてください。」

カスタムプロキシサーバーを指定した上で、バージョンが 3.0 以降の Windows、macOS、もしくは Linux の WorkSpaces クライアントアプリケーションから WorkSpace へのログインを試みると、「ネットワークがありません (No network)」というエラーがログインページに表示される場合があります。

- Windows クライアント - Windows クライアントでこの問題を回避するには、バージョンを 3.0.12 以降にアップグレードします。Windows クライアントでプロキシサーバーを設定する方法については、Windows クライアントの「プロキシサーバー」を参照してください。
- macOS クライアント - この問題を回避するには、カスタムプロキシサーバーではなく、デバイスオペレーティングシステムで指定されているプロキシサーバーを使用します。macOS クライアントでプロキシサーバーを設定する方法については、macOS クライアントの「プロキシサーバー」を参照してください。
- Linux クライアント - Linuxクライアントでこの問題を回避するには、バージョンを 3.1.5 以降にアップグレードします。このアップグレードが不可能な場合には、カスタムプロキシサーバーではなく、デバイスのオペレーティングシステムで指定されているプロキシサーバーを使用することで、問題を回避できます。Linux クライアントでプロキシサーバーを設定する方法については、Linux クライアントの「プロキシサーバー」を参照してください。

Amazon WorkSpaces Windowsクライアントアプリケーションのログインページが非常に小さく表示されます。

管理者特権で WorkSpaces Windows クライアントを実行すると、高 DPI 環境で表示の問題が発生することがあります。このような問題を回避するには、代わりにユーザーモードでクライアントを実行します。

「WorkSpace Status: Unhealthy。We were unable to connect you to your WorkSpace。Please try again in a few minutes.」というメッセージが表示される。

WorkSpace を起動または再起動したばかりの場合は、数分お待ちいただいてから、再度ログインをお試しください。

このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、次のアクションをお試しいただけます (WorkSpaces 管理者によって許可されている場合)。

- WorkSpace の再起動
- WorkSpace の再構築

WorkSpace を自分で再起動もしくは再構築できない場合、または再起動もしくは再構築後もエラーメッセージが表示される場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

セッションを閉じただけで、ログオフしていないのに、Windows WorkSpace からログオフされることがあります。

システム管理者が新規または更新後のグループポリシー設定を Windows WorkSpace に適用したことに伴って、接続解除されたセッションのログオフが必要なためです。

パスワードを忘れてリセットしようとしましたが、リセットリンクが記載された E メールが届きませんでした。

WorkSpaces管理者に連絡してサポートを依頼してください。WorkSpaces 管理者がわからない場合は、会社の IT 部門にお問い合わせください。

WorkSpace からインターネットに接続できません。

WorkSpaces はデフォルトではインターネットと通信することができません。Amazon WorkSpaces 管理者が明示的にインターネットアクセスを許可する必要があります。

サードパーティのセキュリティソフトウェアパッケージをインストールした後、WorkSpace に接続できません。

WorkSpace には、あらゆるタイプのセキュリティまたはファイアウォールソフトウェアをインストールできますが、WorkSpaces には、WorkSpace で開かれている特定のインバウンドおよびアウトバウンドポートが必要です。インストールしたセキュリティまたはファイアウォールソフトウェアがこれらのポートをブロックしている場合は、WorkSpace が適切に機能しないか、アクセスできなくなる可能性があります。詳細については、「」を参照してください。WorkSpaces に関するポート要件()Amazon WorkSpaces に関するお客様の情報。

WorkSpace を復元するには、WorkSpace に引き続きアクセスできる場合、WorkSpace を再構築します。それ以外の場合は、 管理者に WorkSpace を再構築してもらいます。次にソフトウェアを再インストールし、WorkSpace へのポートアクセスを正しく設定する必要があります。

WorkSpace に接続すると、「ネットワーク接続は低速です」という警告が表示されます。

クライアントから WorkSpace への往復時間が 100ms より長い場合は、そのまま WorkSpace を使用できますが、不満足なエクスペリエンスになる場合があります。往復時間が長くなる要因は多数ありますが、代表的な要因は次のとおりです。

- WorkSpace が存在する AWS リージョンから離れすぎています。WorkSpace を最大限に活用するには、WorkSpace がある AWS リージョンから 2,000 マイル以内である必要があります。
- ネットワーク接続に一貫性がないか、低速です。満足できるエクスペリエンスを得るには、ネットワーク接続の速度として 300 kbps 以上が必要であり、WorkSpace で動画を再生したり、グラフィックを多用するアプリケーションを使用したりするときは 1 Mbps を超えるキャパシティーが必要です。

クライアントアプリケーションで「無効な証明書」エラーが表示されました。これはどういう意味ですか?

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、SSL/TLS 証明書を介して WorkSpaces サービスのアイデンティティを検証します。Amazon WorkSpaces サービスのルート証明機関が確認できない場合、クライアントアプリケーションはエラーを表示し、サービスへの接続を防ぎます。最も一般的な原因は、プロキシサーバーによりルート証明機関が削除され、クライアントアプリケーションに不完全な証明書が送り返される場合です。ネットワーク管理者に連絡してサポートを依頼してください。

ウェブアクセスを使用して Windows WorkSpace に接続しようとすると問題が発生します。

Windows WorkSpaces は、ウェブアクセスクライアントからのログインを許可するために、ログイン画面の特定の設定を必要とします。Amazon WorkSpaces 管理者は、ウェブアクセスクライアントからの WorkSpace へのログインを許可するために、グループポリシーとセキュリティポリシーの設定を構成する必要があります。これらの設定が正しく構成されていない場合、WorkSpace にログインしようとすると、ログイン時間が長くなったり、画面が黒く表示されたりすることがあります。Amazon WorkSpaces 管理者に連絡してサポートを依頼してください。

> **Important**
>
> 2020 年 10 月 1 日以降、お客様は Amazon WorkSpaces Web Access クライアントを使用して Windows 7 カスタム WorkSpaces または Windows 7 自分のライセンス使用 (BYOL) WorkSpaces に接続できなくなります。

「デバイスは登録サービスに接続できません。ネットワーク設定を確認してください」というエラーが表示されます。

登録サービスでエラーが発生すると、[接続のヘルスチェック] ページに「ご使用のデバイスは WorkSpaces 登録サービスに接続できません。このデバイスを WorkSpaces に登録することはできません。ネットワーク設定を確認してください」というエラーメッセージが表示されることがあります。

このエラーは、WorkSpaces クライアントアプリケーションが登録サービスにアクセスできない場合に発生します。Amazon WorkSpaces 管理者に連絡してサポートを依頼してください。

クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、クライアントを最新バージョンに更新できません。

Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、最新バージョンのクライアントに更新する場合は、「WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新する」を参照してください。

Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、最新バージョンのクライアントに更新する場合は、「WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新する」を参照してください。

WorkSpace でヘッドセットが動作しません。

Amazon WorkSpaces 用の Android、iPad、macOS、Linux、または Windows クライアントアプリケーションを使用していて、WorkSpace でヘッドセットを使用できない場合は、次の手順をお試しください。

1. WorkSpace から切断します ([Amazon WorkSpaces]、[WorkSpace を切断] の順に選択します)。

2. ヘッドセットのプラグを抜き、もう一度差し込みます。ローカルコンピューターまたはタブレットで動作することを確認します。USB ヘッドセットの場合は、コンピューターまたはタブレットにローカルで再生デバイスとして表示されることを確認します。
   - Windowsの場合は、[Control Panel] (コントロールパネル) の [Hardware and Sound] (ハードウェアとサウンド) > [Sound] (サウンド) の下に表示されているデバイスを確認します。[Sound] (サウンド) ダイアログボックスで、[Playback] (再生) タブを選択します。
   - macOS の場合は、[Apple menu] (Apple メニュー) > [System Preferences] (システム環境設定) > [Sound] (サウンド) > [Output] (出力) の順に選択します。
   - iPad の場合は、[Control Center] (コントロールセンター) を開き、[AirPlay]

     ボタンをタップします。
   - Chromebook の場合は、システムトレイを開き、音量調整バーの横にあるヘッドフォンアイコンを選択します。オーディオ入出力に使用するデバイスを選択します。
3. WorkSpace に再接続します。

これで、ヘッドセットが WorkSpace で動作するはずです。それでもヘッドセットに問題がある場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

> **Note**
>
> 現在、DCV を使用する Linux WorkSpaces では、オーディオはサポートされていません。

Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできません。

バージョン 2.4.13 は、Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションの最終リリースです。Google は Chrome アプリのサポートを段階的に廃止するため、WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションはこれ以上更新されず、その使用はサポートされません。

Android アプリケーションのインストールをサポートする Chromebook の場合は、代わりに WorkSpaces Android クライアントアプリケーション を使用することをお勧めします。

2019 年より前にリリースされた Chromebook を使用している場合は、「2019 年より前にリリースされた Chromebook 用のインストール手順」を確認してから、 Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションをインストールしてください。

場合によっては、Chromebook に Android アプリケーションをインストールする作業を WorkSpaces 管理者が担当しなければならないことがあります。Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできない場合は、WorkSpaces 管理者に連絡してサポートを依頼してください。

入力した文字が間違えて表示されます。例えば、引用符 (' や ") を入力すると \ や | と表示されます。

この現象は、デバイスが WorkSpace と同じ言語に設定されていない場合や、言語固有のキーボード (フランス語キーボードなど) を使用している場合に発生することがあります。

この問題を解決するには、「WorkSpaces の言語とキーボードの設定」をご参照ください。

WorkSpaces クライアントアプリケーションが Mac 上で実行されません

Mac で古いバージョンの WorkSpaces クライアントアプリケーションを実行しようとすると、クライアントアプリケーションが起動せず、次のようなセキュリティ警告が表示されることがあります。

```
"WorkSpaces.app will damage your computer. You should move it to the Trash."
```

```
"WorkSpaces.app is damaged and can't be opened. You should move it to the Trash."
```

macOS 10.15 (Catalina) 以降を使用する場合は、macOS クライアントのバージョン 3.0.2 以降を使用する必要があります。

バージョン 2.5.11 以前の macOS クライアントを macOS デバイスにインストールすることはできなくなりました。これらのバージョンは、macOS Catalina 以降を搭載したデバイスでも動作しなくなりました。

バージョン 2.5.11 以前を使用していて、macOS の古いバージョンから Catalina 以降にアップグレードすると、2.5.11 以前のクライアントを使用できなくなります。

この問題を解決するため、影響を受けるユーザーは、macOS クライアントの最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。このクライアントは、https://clients.amazonworkspaces.com/ からダウンロードできます。

macOS クライアントのインストールまたは更新の詳細については、「セットアップとインストール」をご参照ください。

Mac で作業しているときに Windows WorkSpaces で Windows ロゴキーを使用できません。

Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを使用している場合、デフォルトでは、Windows キーボードの Windows ロゴキーと Apple キーボードのコマンドキーの両方が Ctrl キーにマッピングされます。この動作を変更して、これら 2 つのキーを Windows ロゴキーにマッピングするには、「Windows ロゴキーまたはコマンドキーを再マッピングする」を参照してください。これらのキーを再マッピングする手順を確認できます。

Mac で WorkSpace がぼやけて見えます。

WorkSpaces の画面解像度が低く、オブジェクトがぼやけて見える場合は、Mac で高 DPI モードをオンにし、ディスプレイのスケーリング設定を調整する必要があります。詳細については、「WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを有効にする」を参照してください。

コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました

コピーして貼り付ける操作で問題が発生した場合は、以下の内容を確認して問題の解決にお役立てください。

- 管理者が WorkSpace に対してクリップボードのリダイレクトを有効にしているか。サポートが必要な場合は、所属する組織の WorkSpaces 管理者または IT 部門にお問い合わせください。
- 圧縮されていないオブジェクトのサイズが最大 20 MB 未満であるか。
- コピーしたデータ型がクリップボードのリダイレクトでサポートされているか。サポートされているデータ型のリストについては、Teradici ドキュメントの「Understanding HP Anyware Copy/Paste Feature」をご参照ください。

画面がちらついている、正しく更新されない、またはマウスが正しい場所をクリックしない

3.1.4 より前のバージョンの Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを使用している場合、ハードウェアアクセラレーションが原因で、次の画面更新の問題が発生する可能性があります。

- 画面の一部で、黒いボックスがちらつくことがある。
- WorkSpaces ログインページで画面が正しく更新されないことがある、または WorkSpace にログインした後に正しく更新されないことがある。画面にアーティファクトが表示されることがある。
- マウスのクリックが、画面上のカーソル位置からずれることがある。

これらの問題を解決するには、Windows クライアントアプリケーションを、3.1.4 以降のバージョンにアップグレードすることをお勧めします。バージョン 3.1.4 以降の Windows クライアントアプリケーションでは、ハードウェアアクセラレーションはデフォルトで無効になっています。

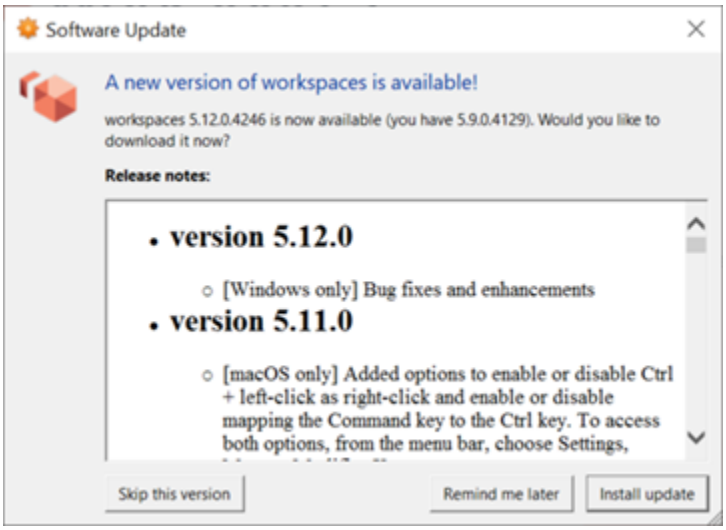
クライアントの使用時にパフォーマンスが低下するなどの問題が発生し、バージョン 3.1.4 以降でハードウェアアクセラレーションを有効にする必要がある場合は、「ハードウェアアクセラレーションを管理する」を参照してください。

Windows クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.3 以前を使用する必要がある場合は、Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にすることができます。バージョン 3.1.3 以前でハードウェアアクセラレーションを無効にする場合は、「Managing Hardware Acceleration (ハードウェアアクセラレーションの管理)」を参照してください。Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にすると、他の Windows アプリケーションのパフォーマンスに影響する場合があります。

Windows 用 WorkSpaces クライアントで、既にインストールされているバージョンに更新するようプロンプトが表示される

Windows 用 WorkSpaces クライアントのインストーラーでは、ユーザーは、自分用またはマシンのすべてのユーザー用にクライアントをインストールできます。クライアントが単一のユーザー用にインストールされている場合、同じ Windows マシンを使うの他のユーザーは WorkSpaces クライアントアプリケーションを実行できません。すべてのユーザー用にインストールされている場合は、同じ Windows マシンを使うすべてのユーザーがアプリケーションを実行できます。

Windows 用 WorkSpaces クライアントを起動すると、更新の有無が検出され、次の例に示すように、アプリケーションを更新するかどうかをユーザーにたずねるダイアログが表示されます。



ユーザーがプロンプトに表示されるバージョンに更新した後でも、このプロンプトが引き続き表示される場合があります。これは、複数のバージョンの WorkSpaces クライアントが同じコンピュータにインストールされていることが原因です。例えば、あるユーザーが WorkSpaces クライアントを自分用にインストールし、その後、同じ Windows マシン上のすべてのユーザー用にそのクライアントの新しいバージョンをインストールしたとします。更新の実行後もそのユーザーが古いバージョンのクライアントを開くと、引き続き更新プロンプトが表示されます。

ユーザーは、次のいずれかの手順を実行して、コンピュータから古いバージョンの WorkSpaces クライアントをアンインストールする必要があります。そうすれば、次回の起動時には新しいバージョンのクライアントのみが開きます。

コントロールパネルを使用して Windows 用 WorkSpaces クライアントの古いバージョンをアンインストールする

1. Windows スタートメニューを開きます。
2. 「コントロールパネル」を検索して開きます。
3. [コントロールパネル] で [プログラムと機能] を選択します。
4. [プログラムのアンインストールまたは変更] ウィンドウでスクロールし、インストールされているさまざまなバージョンの Amazon WorkSpaces を見つけます。
5. インストールされている古いバージョンを選択し、[アンインストール] を選択します。インストールされているバージョン番号は、[バージョン] 列に表示されています。
6. アンインストールを確認するプロンプトが表示されたら [はい] を選択します。

アンインストールが完了したら、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。

クライアントインストーラを使用して Windows 用 WorkSpaces クライアントを削除する

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションの起動時にソフトウェア更新プロンプトが表示されたら、[更新プログラムのインストール] を選択します。
2. インストーラの [Amazon WorkSpaces の設定] 画面で [次へ] を選択します。

   インストーラで、新しいバージョンの WorkSpaces クライアントがインストールされているかどうかが検出され、クライアントを修復または削除するためのオプションが提示されます。
3. [削除] を選択して、インストーラの新しいバージョンをアンインストールします。

   アンインストールが完了したら、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。
4. WorkSpaces クライアントを再度起動し、ソフトウェア更新プロンプトが表示されたら [更新プログラムのインストール] を選択します。
5. クライアントを自分用にインストールするか、マシンのすべてのユーザー用にインストールするかを選択します。ここで選択できるのは、Windows 用 WorkSpaces クライアントを最初にインストールしたときと同じオプションです。これにより、次回クライアントを起動するときに更新プロンプトが繰り返し表示されなくなります。

WorkSpaces Windows クライアントの [デバイス] の下にビデオ入力デバイスが表示されない

Windows N など、特定のバージョンの Windows オペレーティングシステムを使用している場合、Media Feature Pack が Windows にインストールされていない可能性があります。デフォルトでは、Media Feature Pack は Windows N にインストールされていません。インストールするには、「Media Feature Pack for N versions of Windows 10」を参照し、「Install Instructions」を選択して手順に従ってください。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。